

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年1月19日(金) 18:00～18:56
会場	観光情報センターぽっぽ
自治会名	本町第1自治会、本町第2自治会、本町アカシア自治会、本町団地自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、中島地域振興部長、藤沢教育部長、樋爪企画課長、田中企画課広報広聴・統計係長 10人</p> <p>【自治会側】 9人(男性6人、女性3人)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～ 樋爪企画課長
自治会長挨拶	回覧板は回してあるのですが、皆さんそれぞれお店があるので、後で参加するという方もおります。私が皆さんからいただいた意見を述べさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。
町長挨拶	大野町長挨拶
職員紹介	樋爪企画課長
資料説明 上田保健福祉部長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静内地区ごみ収集日の一部変更について 2. 東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービスの終了について
(質疑) 自治会員A	変更されるというのは、4月からということでしょうか。
上田保健福祉部長	4月からの変更ということで準備してございます。
自治会員B	静宝通り、中通りにごみがあるんですね。通いでお店に来ている方がほとんどでして、空き缶やペットボトルなどを帰宅する際に置いていくと思うのですが、ごみの収集に来ても持っていかけてもらえなくて、毎週3～4個くらい残っているんですよ。前にも役場に行ったときに話しましたが、潰れていても持って行かないし、ビンもキャップが付いていると持っていかないんですね。蓋くらい付いていても持っていかけてもらえないかなと思うんですが、お聞きしたいです。

<p>上田保健福祉部長</p>	<p>決まったルールがございまして、一か所を許してしまうと、なかなか統一を図れないことがあります。極力、ルールを守ってもらいたと思います。町としても、あらためまして商工会や飲食店業組合を通じてルールを守るようにとの案内をさせていただきたいと思います。お手数をお掛けいたしますが、ご協力をお願いします。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>紙に書いて守ってくださいと貼り紙もしているのですが、酔っぱらって、ごみをそのまま置いていくのか、どうかは分からないが、ごみ箱に入れなくて、ごみ箱の横に置いていく人がいるんですね。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>他の自治会でも同様の問題がございます。ペットボトルの中に吸い殻を入れているとか、キャップを付けたままとか、ルールを守らない方は、多くはありますがございます。それを収集してしまうと誤解も生みますので、きちんと見せるものを見せながらルールを守っていただきたいという方法を考えたいと思います。</p>
<p>懇談希望テーマ</p>	<p>①下水について（雨水排水からの悪臭）</p>
<p>自治会員B</p>	<p>古川に流れ込むようになっていのか分からないけど、夏場になったら排水溝の上にくると、ものすごいにおいがするんですね。それで、年に2回くらいは掃除に来ているようですが、もう1回くらい増やしてもらい、においのしない状態して欲しいと思います。一度、夏場の暖かい時期に町（役場）の人が来て歩いてみてもらいたいと思うんですね。他から来た人もあれだけのにおいがしたら、あまりいい気分にならないと思うんですね。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>道路排水の悪臭ということで、私のほうから説明いたします。静宝通り中通りの道路側溝からの悪臭については、職員も現地確認などをしております。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>おそらく下水工事をやって、みんな排水溝に流さないようにしているんだと思うんですが、古くからお店をやっている人は下水(排水溝)に流しているんだと思います。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>町でも未接続のところは確認しております。町広報やSNSなどを通じて下水道の接続をお願いしているところです。また、個別に未接続の方のところにお伺いまして接続をお願いしているのですが、経済的な面でなかなか難しい面があるようです。建設課で年に数回清掃していますが、夏のイベント、夏祭りなどがあるときには事前に清掃して、来るお客さんに不快感を与えないような形で努めているところです。まずは、原因となる下水道の接続をしていただかないと、それが解消されないというところなので、町としても粘り強く接続してもらえるように促してまいりますので、ご理解願います。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>わかりました。</p>

自治会員B

②空き店舗について（静宝通りの店舗）

僕も中通りに住んでから50年近くになります。静宝通り中通りができたときから分かっているのですが、今、空き店舗になっているところが、お店をやっていた人たちもほとんどが亡くなって、息子さんか、奥さんがやっている状態なんですよね。そうでなければ貸店舗にしてやっていたりするんですが、静宝通りについてはあまり気にしていないんだけど、中通りの方ほうであれば●●●さんあたりは10年から15年あたり前に旦那さんが亡くなって。娘さんも町外にいるらしいんですが、誰がやったかわからないけど建物の窓が割れていたりして、テープを貼ったりはやってはいるんだけど、そういう面において、どうにかならないかなと思っています。

それから、中通りの●●●旅館さんや●●●●さんのところ、町長さんも高校卒業したころ、よく来ていたって言うんでね。あの通りのことは、よく分かっていると思うけど、去年、●●●●さんのラーメン屋のところは、お願いして処理してくれたんで、私のところのお店屋さんも、なんぼかきれいになったんで大変喜んでるところだけど、ただ、●●●●や●●●●さんの辺りは、入らなくなってから20年、30年になるんだけど、ひどいところだったら玄関の戸が無くなって猫が出入りしている状態もあって、去年も●●●●さんのシャッターが風で壊れちまって、どうしようもないということでね、僕らがコンパネを持って行って、打って、外している状態なんでね。そういう面で、何か持ち主のほうにどうにか連絡つかないかなというのが僕のお願いなのですがね。

大野町長

実際、高校時代、あの辺をずっと出入りしておりましたね。昔の記憶を蘇らしてお話させていただくと、●●●●旅館さんがあってね、その隣には静宝館の映画館があって、映画館の向いにはパチンコ屋さんがあって、高校時代も含めてお世話になりました。そういう中で、昨年、●●●●●●さんの隣のラーメン屋のところは崩れかけて危ないということで、町のほうで、今の所有者というか権限をもっている方に連絡を取りながらやろうとしたのですが、なかなか連絡がつかないという状況もあるんですが、やはり危険だということで、町のほうで措置をしたんですが、基本的なお話をさせていただくと、自治会員Bさんもお存じだと思いますが、その方の持っているものを古くなったので役場でなんとかやりますよってなると、皆さんから貰った税金でやるということになるんですよね。本当に危険なものは人命救助や安全のためにやります。しかし、いろいろなものを作っていくと所有者の方の責任がそこで無くなるということで、今までやったものも料金が発生している訳でして、連絡が取れないと100%役場でもそこを回収できないということもありまして。猫が出入りしたり、防犯上危ないということは十分に分かりますが、やはり役場とするところにも限界がありますので、風吹いて飛びそうとか、ひび割れて崩れそうだったりとか、文句なくやってしまいますが、空き家対策という中で所有者の方にも話ながらやっていますので、先ほどのごみの不法投棄と同じでして、地道に時間をかけてやっていくしかないかと思っております。ただ、危ないものは言っておいただければやりますのでご理解ください。

自治会員 B

③古川に流れ込む雨水対策について

4・5年ぐらい前、町にお願いして、北海（ハイヤー）さんから駅のところまで草刈ってほしいとお願いして、刈ってくれたんですよ。

あのとき、業者の方が来たときに、僕らも班の人2人ぐらい来て、ごみを上げるなどを何か手伝ったりしてやってもらったんですよ。そのあと、あそこの区間だけ、年2回ぐらいやってくれまして大変ありがたく思っています。

4年ぐらい前、国道の旅館（晃月旅館）のところ、橋のところから水が溢れてアレしたもんで、下のところに水道なんか走っているのか、外路が二本くらい走っていて、そこにおそらくごみが引っかかってアレしたんだ（溢れた）と思うんですけどね。今思えば、アレはキョウセキのほうに抜ける川（真沼津川）、文化センターの裏ところは橋を改修して川幅を広げていますけどね。あの川も、結局、僕が小さいとき駒場で牧場をやっていた、その頃から、田原からずっとこっち側のほうの山側の川の水っていうのは古川に入っていたんですよ。今は●●●●さんのところへアレしているけども、その水が絶えず、結局、今も住宅建ってしまって家がいっぱいになっていますけど、元は、今の北海さん、農協のスタンドのところですけど、今は、もう無くなったけど池だったんですよ、あそこ。●●●●さんの辺りまで池が3つくらいあったんですよ。だから、そこを埋め立てしているから、そして、今の静宝通りも牧場だったんですけど、非常に低いわけなんですよ。水が出たらしょっちゅう牧草畑が水だらけになる状態だったんですよ。御幸通りも同じなんですよ。今の道の4階建ての住宅（道営住宅）があるところ、駅前今は印刷工場やってるけど、あそこも牧場であったんですよ。だからあそこもね、結局、雨降ったら水でもって、ずっといっぱいになってしまうような状態だったんだよね。

それをもって、田原のほうからくる水を、前の町長さんが目名川から作って大川のほうに流すようにして、そして神森からこっちのほうだけ古川に入るようにしてくれたわけなんです。だけど、神森からこっち側のほうの河川の水は、全部古川に入るようになっているんですよ。だから、高校前の藤沢組さんのところからくるのと、消防の前を通過して古川に入るのと、吉田牛乳さんのほうの町営住宅あるところの3本が古川に入るようになっているから、だから最近の雨だったら、この2、3年は、台風も横のほうにそれてくれて大した被害はないんだけど、200ミリも400ミリだと、いっぺんに水が溢れてしまう状態なのでね。それと藤澤組さんから農協さんのところまでの横断しているところまで、家が建ってしまって、草を刈ったり、木を刈ったりするのは、大変面倒かもしれんけど、あそこの水はけもよくしてもらわないと、前のときのように結局、仲川病院とこもね。昔、あそこは田んぼ畑だった、役場の裏の仲川病院のところへ抜ける道路ね、あそこらは、昔、高校の前までが田んぼ畑だったから、あそこも低いから、この前、水出たときは水でいっぱいになったということで、高校前の藤沢組さんの前から、あそこのところの排水の草を刈ってほしいということです。

水谷産業建設部長

町内に流れている河川ですけれども、古川であったりだとか、真沼津川であったり、これらは北海道が管理している河川になります。町が管理している河川は、藤澤組さんの裏から体育館の前に流れている、これが旧真沼津川というところでして、

	<p>真沼津川は昭和 46 年頃に大規模な改修があって真沼津川単独で海に流すように川を切り替えています。そういった中で古川も改修を進めて河川の流下能力を上げるようなところをこれまで改修事業が進められてきたというところで現在に至っております。真沼津川は、今、改めて改修事業をしているところです。</p> <p>古川は、掘り込み河川という河川になっているのですがけれども、平地を流れている河川というところでゲリラ豪雨というようなことがあると河川が増水しやすいということになります。その対応としまして古川の河口側にポンプをやって、排水機場にポンプ 3 台を用意して排水をしているというところで。なかなか、最近ゲリラ豪雨というものが排水機場の能力を超える雨が降ることがあり、この辺りでは静内産業さんの裏が溢水するということが過去にあったかと思えます。静内産業さんの溢水するような場所については、事前に大雨が降るような情報があれば、土のうを積んだりだとかして溢水しないような対策をここ数年は対応している状況になっています。</p> <p>河川全般の流下能力の向上というのか、そういう部分は、町が現地を確認したりして土砂がたまっていたりだとか、草が繁茂しているというような状況があれば、河川の管理者である北海道に状況を説明いたしまして、土砂の状況だとか草刈りをしてほしいというような要望して対応していただいています。現在、私も町内、現場見たりしますが、大きな堆積、古川もないですし、真沼津川はここ数年、土砂除去しております。</p> <p>また、古川については、古川の清流の会という団体があって、そちらの方々に年 6、7 回ぐらい草刈りをしていただいて、川の中のごみも年に 1、2 回撤去しておられて、町の職員も手伝ったりしています。町で管理の旧真沼津川のところで、こちらについても年に 1 回草刈りは実施しております、河川の中に、ごみだとか土砂がたまっていることが確認できた時点で撤去していますので、我々も現地パトロール、現地確認はいたしますけれども、住まわれている近隣のほうでもそういった異常があった場合は、建設課にご連絡いただければ、対応いたしますので、できるだけ被害がでないような形で取り進めておりますので、ご理解いただきたいと思えます。</p>
<p>意見交換 樋爪課長</p> <p>自治会員 C ・ワクチン予約について ・介護システムについて</p>	<p>三つほど、ご説明させていただきましたが、この内容で、まずはご理解いただきたいというところがございます。はい。最後に、四つ目ということで、皆さんとの意見交換の時間とさせていただきますと思います。町政に対するご意見、ご質問等ございましたら、どんなことでも構いませんので、ご発言、ご意見いただきたいと思えます。</p> <p>初めにお名前お願いいたします。</p> <p>今は、もう終わったことの感想ですけどね。我々老人は、ワクチンの注射のときの申し込み、あれがすごいストレスだったんですね。なかなかつながらなくて、それで私たちは、何町は何日、何町は何日って決めてもらって、都合の悪いときは変えてもらえるようなシステムだったらいいのにねって話していたんです。これがワクチンの感想です。それともう一つは、昨日、友達が、介護システムのことなんで</p>

<p>上田保健福祉部長</p>	<p>すが、役場の人が、すいません今が1番最高なんですから、最高なんですよって、もう強く言われてね。だから、これからどういうふうになっていくのかなあって。だから、私たちは元気でならなきゃなんないから、そういうように、老人に対して元気になるような、何かがあるのかなとか思って質問しました。</p> <p>ワクチンの予約状況でございますが、本当にご不便をおかけしまして申し訳なく思っております。なかなか今回のコロナのワクチンの関係は手探りで進めていたっていうふうな状況でございます。電話で予約電話しても、なかなか電話が繋がらないですとか、希望した曜日になかなか得られなかったですとか、そういったご意見等々いっぱいいただいております。今回の集団接種につきましては、来年以降はちょっとやり方が変わりますので、普通のインフルエンザの予防接種と同じようにですね、各医療機関で予約していけるような形になるはずですので、今後はそういったことはないのかなというふうに思っております。ただ、何かまた新しいものが出てですね。はい。そういった予約を取るような状況になりましたら、今日いただいたご意見というのを参考にさせていただいて、考えていきたいと思っております。ありがとうございます。</p> <p>それともう一つ、介護の関係ですけども、どういった話が伝わったのかちょっと分かりませんが、やはり介護員が、なかなか成り手がいないというのが、今のすごい悩みでございます。違う職種を選ばれて転職する方が、コロナのときにすごく多くて、なかなかそこが補充されないというところで、希望するサービスを満度に受けられていないという状況が全国的に起きているのかなと思っております。できれば、介護を受けないように健康な体を維持していただくというのが1番ですので、介護予防としていろんな体操ですとか、そういったものを催してございます。自治会ですとか、お集まりのときに、ここに来てやっていただきたいっていうふうな話があれば職員が出向いて健康体操ですとか、講習、講話ですとか、そういったものをやりますので、まずは介護を受けない体と気持ちをつくっていただいて、なるべくサービスを受けないで進めばそれにこしたことございません。もしかかサービスを受けるようになりましたら、今後、極力、サービスの低下っていうのはしないようにしていきたいと思えますけれども、なかなか人手が足りないというふうな現状も現実でございますので、そういったときには申し訳ないですけれどもご理解いただければというふうに思います。</p>
<p>自治会員D</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会について ・水銀灯について ・防犯カメラについて ・修理代金について 	<p>町営住宅に住んでいます。共益費と自治会があつて、この間、建設部の課長さんのところに行ったときに、共益費が住宅管理人共益費ってなっているので、全てのことは、住宅管理人なので、掃除にしても、ごみステーションにしても、草刈りにしても、全てを共益費が行うという話をされました。前会長が(自治会を)解散して、以前の副町長さんに私たちに自治会を立ち上げてくれないかと言われて、立ち上がった私たちなんです、それでは自治会は要らないんじゃないでしょうか。それを質問したいです。</p> <p>それともう一つ、水銀灯などが切れているんですね。それで建設部の主幹をお願いしたら、今は高いので、センサーを付けてくれると言われました。中央の玄関</p>

	<p>前の水銀灯、ガスの置場の裏側の水銀灯が2個切れています。それらをやってくると言ってやってもらえないんですよ。それと、花畑に糞をなげる人がいるので、役場も見たいので防犯カメラをつけてあげると言われたので、それも簡単に全部言ってくれるんですが何ひとつやってもらえないんですよ。それと裏玄関のワイヤーが切れ、それで火災訓練のときに直してくださいと言われました。直すと領収書を持ってきたらお金を払うと言われたが、それも払ってもらえません。払ってくださいと言ったら払えませんかと言われた。それはどうしてでしょうか。その3点です。</p>
水谷産業建設部長	<p>本町団地の公営住宅の共益費のところだったと思うんですけども、あくまでも共益費っていうのは多分担当課長からご説明あったと思うんですけども、住宅に関わる部分で、皆さんお住まいの人たちの中で積立てて、何かあったときの建物の共有部分にかかる費用に充てるというふうなところになっているかと思います。</p> <p>自治会員の件、私もあんまり承知してないんですけども。</p>
自治会員D	<p>3年前に前会長が（自治会を）解散したんですよ。そのときに勝手に共益費を使って物を買うので、前副町長さんのところ相談に行っていました。それは、本当は駄目なんですよと、みんなのお金で集めたお金だからみんなに相談しないと駄目ですよっていう矢先に、私たちが自治会を立ち上げるんでないかと思い、解散したと思うんです。それで、副町長もそれを分かったので解散したから立ち上げてくれないかといって言われて、そしたら自治会に行ってみんなに聞いてみますっていう形で、みんなに聞いて、どうしてもこの人に会長になってほしいと思っていた人が、ちょっと、役職が多くてできないので、●●さんやってみなさいと言われて、会長を務めることになった自治会です。</p>
水谷産業建設部長	<p>自治会の関係は、ちょっと所管していないものですから、後段の水銀灯が切れているというところで、公営住宅の中にある水銀灯ということですか。</p>
自治会員D	<p>駐車場とかに5から6ぐらいあるのですが、まず先に玄関前が切れているので、暗くなるから危ないので言ったんですよ。あと裏側の玄関側も切れています。</p>
水谷産業建設部長	<p>なるほどね。現在、水銀灯は生産されていなくて、在庫分しか使えないような状態です。水銀灯も悪い成分を使っているということで生産ができなくなっており、現在はLED化を進めているところです。LED化の絡みで付けていないのか、球がなくて付けていないのか私のほうで承知してないんですけども。</p>
自治会員D	<p>そのときは、高いので要するにセンサーを付けてくれるという約束でした。</p>
水谷産業建設部長	<p>センサーですか。</p>
本町団地	<p>本町団地の●●です。建設部の住宅管理の主幹から、1月12日に、球を変えると</p>

	<p> と思いますのでよろしく願いいたします。それと自治会員Bさんの駐車場の話。おっしゃるとおりその駐車場に車を止めれば、すぐに何かお土産買ったんですね、いろんなことできるんで大変良いと思うんですけども、今、柴田部長が言ったとおりですね。なかなかこの作りを変えると難しいのかなと思います。私も、年末に苫小牧に人をお迎えに行ったんですよ。苫小牧の駅南側と北側にそれぞれ出入口があるんですよ、苫小牧ですから。どちらもですね、車を止めて駅の中に入って人を迎えるような状態になってないんですよ。停めるところが本当はないんですよ。今、自治会員Bさんからお話ありましてね、そうだよなって、なんかちょっと止めて人を迎えたり、買物したりするのもいいよなと思ったんですけど、苫小牧でさえそんな感じになっていましてね。これなかなか難しい問題なのかなと思い出したところでございます。いろんな意見いただきまして本当にありがとうございます。古川につきましても排水機場に3年前に、機械、能力アップしております。そんなこともあって、我々も委託を受けて排水機場の水を出すような仕事も役場でやっております、道からですね、お願いされていますので、たくさんたまる前にですね、一刻も早く出すような、そのような工夫もしながらですね、安全を確保していきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。また、いつでも何かありましたらご連絡いただければと思いますし、特に最後にお年寄りの元気のお話ありましたが、お年寄りの元気は子どもと会話することだと思いますので、その辺の公園で遊んでいる子が悪いことしたら怒ってやったりですね、子どもと接触していただければというふうに思います。本日、本当にお寒い中、お集まりいただきましてありがとうございます。またお声をかけてください。ありがとうございます。 </p>
閉会	18:56 終了

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年1月20日（土）10:00～
会場	柏台会館
自治会名	柏台第1自治会、柏台第2自治会
出席者	<p>【町側】</p> <p>大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、中島地域振興部長、藤沢教育部長、樋爪企画課長、田中企画課広報広聴・統計係長 10人</p> <p>【自治会側】</p> <p>18人（男性10人、女性8人）</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	10:00～ 樋爪企画課長
自治会長挨拶	<p>皆さんおはようございます。お寒い中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。本来であれば、自治会の会長さんが来て、ご挨拶をすることでございますけれども、今日はどうしても出れない所用がございまして、私が代わって、簡単ですけどもご挨拶をさせていただきたいというふうに思います。早いもので、もう年明けて20日になりますが、皆様とお顔を合わせるのは初めてでございます。明けましておめでとうございます。考え返し新年を皆様、ご家族共々ご健勝でお迎えになられたこと、心からお祝いを申し上げたいというふうに思っております。</p> <p>さて本日は、例年実施しております。町まちづくり懇談会ですか。ということで皆さんにご案内差し上げましたところ、お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。町長様初め、町の職員の方々におかれましては、今日は土曜日ということもございまして、普通であれば、ご自宅で十分、お休みをいただいている曜日かなというふうに思いますけれども、町政、それから地域の住民のためにこうして休みを返上して、おいでをいただいておりますことに心から皆さんとともに感謝を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。それではですね、これから限られた時間ではございますが、町のほうからいろいろとご説明をいただいて、そして皆様のご要望、意見を集約して役場のほうに持ち帰って、もし反映できるものがあれば反映していきたい、という趣旨でございますので、どうか忌憚のないご意見を後ほど出していただければありがたいなというふうに思っています。また、今年1年、自治会の皆様には、ご協力・ご指導いただきますようお願いを申し上げまして、簡単ですけど、挨拶にかえさせていただきます。よろしく願いいたします。</p>
町長挨拶	大野町長挨拶

職員紹介	樋爪企画課長
資料説明 上田健康福祉部長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静内地区ごみ収集日の一部変更について 2. 東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービスの終了について
(質疑) 自治会員A	<p>すいません。ごみの収集についてなんですけど。結構みんな間違っってね、燃えるごみ・燃えないごみ間違っって、いつもシール貼られる方がいるんですよ。どなたか分かりませんがね。それで、以前に、新ひだか町ごみの分別パンフレットっていうのを出していただいたことがあるんですよ。これ見たら平成27年の3月20日、私はこれを参考にしながら出すんですけど、きっとこれ持ってる方は少ないと思うんですよ。これにはすごく詳しく細かく出てるんですよ。それでこれをまた出してもらえるといいかなと思うんですけど。やっぱ若い人なんかも新しく出てきて、こういうの持っていないと思うんですよ。それで、どうかなと思って余りにもちょっとシール貼られてる方が多いのでね。それをちょっと検討していただけないかなと思うんですけど。</p>
上田健康福祉部長	<p>はい。今、いただきましたご意見でございますけども、今年度ですね全部に配布するように、新たに作り直して配布する予定でございます。最近結構、外国人の方が増えたということもございまして、そういった外国語の表示ですとか、そういったいろいろちょっと工夫しまして改めてお知らせしたいというふうに考えてございます。</p>
自治会員A	<p>すごく便利なんですよね。分かりました。よろしくお願いします。</p>
企画課長	<p>他にご質問等ございませんでしょうか。</p>
自治会員B	<p>すいません。今のごみ収集の関係でちょっと追加なんですけど、ちょっと私聞いてなくて申し訳ないんですけども、燃えないごみの曜日が変更になってますけれども、これはいつからということですか。4月1日からってことですね。それとあわせてごみ収集の金網などの箱ありますね。その中で一応、大方のごみ収集箱には、プラスチック等で収集の曜日を記載するものがあるんですけども、こういったものを、一部において未設置のものというか無いものがあるんですね。そういった部分もありますので、プラスチック板といいましょうか、そういうものの設置についてどのように考えられてるんでしょうか。</p>
上田健康福祉部長	<p>そうですね、確認しますけどもそういったものをちょっと確認しながら対応する予定です。</p>
自治会員B	<p>よろしくお願いいたします。以上です。</p>

<p>企画課長</p>	<p>他にご意見・ご質問ございませんでしょうか。ごみ収集の関係と、住民票等の証明書のコンビニ発行について。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>第2自治会の●●といいます。ごみのことなんですが、ごみのかごに看板ですね。あれを付けるということで、役場のほうで各自治会に何枚必要かとそういう問い合わせがあったので、そのあともう10年ぐらい経つんですけど、全然進歩がないんですよ。それで、できればごみ収集の曜日が変わったことだし、そういう看板をごみステーションにつけると。そういうことを検討してもらえないかと。よろしくをお願いします。</p>
<p>上田健康福祉部長</p>	<p>今のご意見でございますけども、先ほどのご意見と同様なご意見だと思っておりますので、併せて対応していきたいというふうに思っています。</p>
<p>企画課長</p>	<p>他にごございませんでしょうか。よろしいでしょうか。はい。 では次に進みたいと思います。意見交換でございますが、町政に対するご意見、ご質問、どんなことでも構いませんので伺いたしたいと思います。せっかくの機会ですので。</p>
<p>意見交換 自治会員D ・地域内防犯灯について</p> <p>水谷産業建設部長</p> <p>企画課長</p>	<p>柏台第1自治会の●●と申します。柏台地区の新しく建てられた公営住宅がずっとあるんですけども、夜歩いてみると非常に暗いです。道路と道路の幅、ここを4本くらいあるんですかね、上がってくる道路。以前、古い住宅のときはちょうど中間ぐらいに防犯灯がついてました。今はもう、両端にあるかないかぐらいで中間にはついておりません。夜になると非常に暗いということもございますもんですから、できれば中間に設置するということを考えて要望をしたいんですけども、かなりお金がかさむかなとこんな思いをしていますが、一応要望として出しておきたいなというふうに思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>公営住宅関係の夜間の通路部分というところは、道路照明だとか防犯灯の設置っていうところと、あと、公営住宅の必要な部分について、毎年防犯灯の設置要望を各自治会さんにご案内させていただいておりますので、設置して欲しい場所を要望いただければ町の方で検討し、予算の関係もありますので年次計画になりますが対応しておりますのでご理解願ひします。</p> <p>他にご質問、ご意見等ございませんでしょうか。</p>

<p>自治会員 E ・ 通路の補修について</p>	<p>柏台第 1 自治会の●●といいます。今、照明のお話が自治会員 D さんからあったんですけども、それと関連してこの柏台地区は傾斜地ということもあります。その中で道路ですね。住宅と住宅の間がかなり傷んでいるところが見受けられます。見ますとバス通りのところから、公営住宅の方に向かって何本かのところは、非常に車で通るとタイヤがパンクしそうなどところがあるわけなんです。こういったところについてですね、特に行政の方として、確認をしていただいで整備をしていただければなというふうに考えておりますのでご検討方よろしくお願ひしたいと思ひます。1 個 1 個の関係で、終わったらこれはこの関係で終わったほうがよろしいでしょうか。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>町のほうでも大規模補修というのは難しいですが、穴ぼこや亀裂など危険な箇所などについては修繕等に対応しておりますので、危険な場所だとか町の方でも現地確認しながら随時補修等をしておりますし、なかなか行き渡らない部分もあつたりもしますので、そういったところがあれば、役場の方に情報いただければ現地確認し対応していきたいと思ひます。今回のところについては改めて確認し、必要に応じて修繕等に対応したいと思ひますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>自治会員 E ・ 道路管理について</p>	<p>道路それから傾斜のところの法面といいましようか、それから樹木等の管理について、それぞれ課によって違ふのかなと思ひますけれども、一般的にその道路とそれから、道路といいましようかそういったところは何課、建設課さんっていうふうに考えた方がよろしいですか。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>建設課の方で町道の管理をしており、何かあれば建設課の方にご連絡いただければとおもいます。町道以外のことについても連絡いただければ担当の方に繋ぎますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>自治会員 E</p>	<p>分かりました。</p>
<p>自治会員 F ・ 防犯灯管理について</p>	<p>今話した街路灯と防犯灯の違いが今まであつたんですよね。それが全部、町の方で対応していただけるんですか。例えば、今言つた町道で暗い場合、今までは町道は全部役場の方で見てくれたけど、その他の個人の住宅の中やその他は、防犯灯として自治会でお金を出して付けていたんですよね。それを今は役場の方で全部やっただけのわけですか。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>道路照明については、防犯灯ですが 10 年ぐらい前の年度ははっきりしませんが、当時は自治会の方で対応していたんですけれども、今現在は町の方で設置するようにしており、管理の方も先ほどお話ししましたが、自治会において設置して欲しい箇所については、年度初めの頃に各自治会に要望を伺ひ、現状を</p>

<p>自治会員 F</p>	<p>確認しながら設置するなどの対応しておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>自治会員 G ・ 柏台地区の避難 受入について</p>	<p>申し訳ないです。別な関係でちょっと確認したいことあるんですけど、よろしいでしょうか。ご承知のとおり元旦に能登半島地震ございましたよね。その関係で、いろいろテレビ等で見ていると、すごくライフラインとかそういったものについて、すごく問題が多々山積している状況なんですけれども、この新ひだか町も浦河沖地震等を考えたときに、やはり災害になる可能性が高いと思います。</p> <p>そしてまた、この柏台地区としましては、津波等の心配はないわけですが、逆に反面、住民の方の受入れをする場所の一つになろうかと思えます。そういう中においては、この柏台会館も使われるのかなというふうに予測しているわけなんです。そういった場合、施設そのものの老朽化しておりますし、そしてここに上ってくるのにおいても駐車場の関係だとか、それから収容人数だとか、それを受入れするトイレとか、そういった関係のものが、いろいろ必要になってくるかと思うんですけども、これは町の方といたしまして、もし災害が起きた場合、想定の中において、この柏台地区はどのぐらいの収容人数を設けるのか、また、駐車場の確保、そういったものについての青写真のものがあれば、ご説明していただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>総務部長の柴田と申します。座って失礼いたします。</p> <p>今、お話があった地震並びに津波の発生時の避難につきましては、町内各所に一時避難場所、これは一時的に自分の身を守る場所、その他、ある程度津波が引いた後に避難する避難所として町内各所を多数指定しております。</p> <p>ただ、実際に発生した地震によってどうなるのか、道路がどうなるのか、橋がどうなるのか、水道、電気等がどうなるのか、その辺は予測が非常に難しいところがございます。そういうことで一概に津波のときは柏台へというような決めはしてございません。そのときそのときで、避難が必要な人数ですとか、例えば火災ということもありますので、その辺が回避できる場所などを見ながらですね、町の方で最も適当と考える避難所を指定していくこととなります。もちろん大規模になればですね、学校施設とか、大きな体育館があるようなところを選ぶでしょうし、小規模であればこういう生活館などを選ぶこともあると思いますけども、そこは臨機応変に判断していくことになると思います。</p> <p>ただ私も1月1日、能登地震が発生したとき、戸惑ったんですけども、いざ、あれだけの規模の地震が起きたときには、皆様もご不安ですけども、我々も、自分の家族、親兄弟等がどうなっているか分かりませんし、もっと言えば我々自身もどうなっているか分かりませんので、まずは一義的には、自分の身は自分で守るという意識、もう近くの高台、もし鍵がかかっていたらガラスを割ってでもいいので、まずは自分の命を守るところ、加えて、隣近所の助け合</p>

	<p>い、ここが機能しなければ、命は救えないかなというふうに思っております。そこで、何とか助かった命を我々が避難所という形で、食料、あるいは、飲料水ですとか、あと生理用品・衛生用品等を配られるように、一定の備蓄の準備はさせていただきます。</p> <p>ただ、これが例えば、町民の大半が避難するような状態になったときには、正直、不足する数でございます。そのために、今、公的機関ですとか、民間事業者、今大体38ぐらいの企業団体等と連携をとりまして、食料品ですとか飲料水、また電気ガス、燃料等々を調達できる関係性を構築してございます。ただ、これとてですね、全ての機関が円滑に動けるかどうかは正直分からないところでございますので、そういうものを可能な限り最大限活用しながらですね、皆様の命・生活を守っていくということに全力を注いでいきたいと考えてございます。今、柏台生活館の方につきましては、特段、避難所として整備しようというような整備計画はございません。ただおっしゃるとおり、いざ逃げたときには、不足するものがあるんじゃないかというのは、常に我々も意識しながら、また、今回の能登地震で何が困ったのかというところも、よくよく勉強しながらですね、必要な備えはしてまいりたいと考えてございますので、どうかご理解いただきたいと存じます。</p>
<p>自治会員G ・各地域の避難マニュアルについて</p>	<p>いや一応、分かりました。ただ先日テレビで言っていましたけれども、緊急避難っていう部分において、それぞれその地区において、同じ新ひだか町においても、入船地区だとか本町だとか、末広とかそれぞれ場所によって、その状況によって、それこそ1・2・3というふうなそういうレベルがあるかと思えます。そういう中において、ちょっと私は不勉強なんですけれども、それぞれ、入船地区が起きた場合には、入船地区のどこそこの方は緊急避難しなさいとか、そういうマニュアル的な部分の、例えば、駒場であれば駒場地区の人はどちらのほうに行きなさいとかっていうような感じのですね、そういう防災マニュアルっていうかそういう、示し方といいましょうか、そういったものを、町民の方のほうに、お知らせいただければなと思うのと、過去の例ですけれどもここは平成15年のときでしたか、そういったときにおいても、災害のときに、やはりこちらの会館のほうに来て、避難していた方などもいます。そういう中で、やはり住民の方、それぞれ承知し得ない部分もあろうかと思うし、やはり津波だと思ったら高台登ってというのは、誰しも考えることですし、そういう中においてこの柏台地区が避難場の第1線ではなく、第2、第3線という部分はあろうかと思えますけれども、何かしらちょっと分かりやすいような示し方で、もう一度町民にお知らせいただければ助かるなと思うんですけども、その点よろしくお願ひしたいと思えます。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>はい。今のお話ですけども、今まさにおっしゃったようなことを踏まえまして昨年2月に防災ハンドブックっていうものを全世界帯に配布をさせていただきました。これには津波シミュレーションというものの中で、最大津波の到来する高さですとかを想定して、このエリアは5メートルまで来るよ、10メートル</p>

<p>自治会員G ・防火水槽の設置 について</p>	<p>まで来る予測だよということを、色で示しております。あわせて、その周辺のいわゆる一時避難場所になり得るところですとかをお示しさせていただきましたので、こういうことを自分はもし起きたらどうしたらいいだろうということ、これを見ながら、自分の身を守る場所をイメージしておいていただくことから始めてもらうしかないのかなということで、町の総務課の防災担当のほうで、いろんな自治会ですとか、小学校中学校、子どもたちも含めてですね、防災講話というのを継続的にやってございます。実際に地震が起きたとき、皆様がどこにいるのかっていうのは、正直分からないと思います。自宅におられることだけではないと思いますので、そういう意味も含めて、こういうハンドブックを見ながらですね、あそこに高いところがあるんだっていうのを、意識していただきたいと思いますし、町内のホテルですね、ある程度の高層階のホテルとは、避難できる協定も結んでおりますので、そういうところの3階、4階、5階等に避難していただくことも可能かと思えます。柏台の皆さんにとっては津波到来の心配はございませんので、ご自宅にいる限りは皆様の生活は大丈夫かとは思いますが、まち場にいるときに起きるかもしれませんし、その辺はこのマップをご活用いただきまして意識していただきたいですし、当町の防災講話についてお声掛けいただければいつでも飛んでまいりますので、遠慮なくお声かけいただければというふうに思います。</p> <p>この話は、もう何年も昔から話しているんですよ。役場でも申し送りでも絶対あると思いますよ。ですから今、私、昔のときこういう話をしたんです。今、水道も35年も経ちました。この送水管が柏台に上がってくる。この施設が地震が来ていかれたときにどうするんですか。消火栓は3基ぐらい増えたんですけど、防火水槽的なものも一つ必要でないかということでお話ししたんですよ。それから、今、地震、津波など何かありましたら、絶対柏台に避難して来ると思うんですよ。真歌とかそんなところへは行かないと思いますよ。ですからそのために、多目的ホールみたいなものを一つ欲しいなということは、私も前から言っているんですけど申し送りはございませんか。お願いします。これ防火水槽だけはもう、今、復旧するために一つぐらい欲しいんじゃないかと思うんですよ。清水丘だってそうだと思いますよ。住宅がこれだけ混んで、それに、上がいかれたときには、やはり消防車で4,000リッターのタンク車が3台もあるから大丈夫だって言いますが、もし、ここだけでなくほかのところになったときどうするか。各町の中でも防火水槽ってものを設けてるってことだと思いますよ。だから、柏台は自転車を漕いでいるところもあるんですから、ああいうところにひとつ防火水槽をどうですかとお話したはずですよ。それが何十年たっても駄目です。それから向こうの海岸側の道路が上がってくるところが自動車が通る。そうしたら、子どものものでもいいから防火水槽をお願いできませんかというお話もしたと思うんです。もう一度検討してください。お願いします。</p>
------------------------------------	---

柴田総務部長	<p>各地区いろいろ回らせていただく中で、ご要望というのは様々なものがございます。町の財源にも限りがありますし、対応として、防火水槽を置かなくても、対処のしようがあるという現状の中で整備してないものはしていないところがございます。もちろん、改めましてのお話ですので、再度、持ち帰って、情報は共有したいと思いますけども、ご要望どおりいくということは確約できませんので、その辺はご理解いただきたいなというふうに思います。</p>
自治会員G	<p>だから、それいつまでっていうことになったら、災害はいつあるかわかんないってことを言っているんですよ。そのために一つ火事になった時になったときに、消防車で水を積める車が3台・4台あるというが火事、そういうふうになったときのために防火水槽的なものを一つ設けて欲しいということを行っているんですよ。</p>
柴田総務部長	<p>ご要望を否定しているわけではありません。</p> <p>ただ、防火水槽を設置するという方法、また、それ以外の方法を考えたときに、今はそれ以外の方法があるという判断のもと設置してないんだと思います。ちょっと消防の職員ではないので、推測も含めてお話しておりますけども、お気持ちはご理解いたしますが、町とすればそれを知らない、いざ何かあってもしょうがないということではなくて、消防も様々な連携体制もっておりますし、いざというときには総力を結集して、消火等に当たる準備行為はしておりますので、何とかご理解いただければなというふうに思います。</p>
大野町長	<p>今、防火水槽の話ありましたよね。東静内で火事があった時、結構最近の出来事なんですけど、あのときに東風がすごく強かったんですが、僕、●●さんの言われるように思ったんですけど、これは治まるかなあというふうに思ったんです。</p> <p>そのときに、東静内地区のケースですけども、あそこでもやはり水を引っ張るのが大変だったんです。国道を渡して水を引っ張ったりですね、かなりの本数、消防団ね。そのときに今、防火水槽ってお話ありましたけど、今、大きなですね、小さい子どもがプールありますよね。いやね、大きいやつがあるんですよ。あれを開いて、それに今度ミキサー車、ミキサー車の中、コンクリじゃなくて、水を入れてミキサー車でそこに水を入れて、それをホースでポンプアップし、消火するっていう方法がある。ですから、今その防火水槽っていう概念といいますかね、確かにあった方がいいです。そういう地震とかで火災が起きたときには、むしろこの柏台地区よりは、下の方がもうあんだけ建物が密集してたら、延焼始まっているっていうふうに思いますね。そうなったときに防火水槽よりはそういう、何かツールで機動性を持って動けるようなスタイルそれの方がもしかしたら良いのかもしれないなあというふうに感じてます。防火水槽が各地にできればそれは良いことなんですけどなかなかそうはいかないんで、そういうところもコンクリート会社の方々と協定を結びながら、実際に走らせてもらってますんで、そういう対応になるのかなあと思っております。</p> <p>ただ、災害が来たとき、地震が来たときに、自分自身がもしかしたらその時</p>

	<p>間帯によっては家から出られないかもしれませんね。やはりそうなると、動ける人たちが、積極的に助け合いながら避難誘導したりすることがやっぱり大切だと思います。できる限りそういう臨機応変に対策体制を組みながら対応していきたい。恐らく、災害対応マニュアルどおりいきませんから、現場にいる人の判断、それが1番大事になります。マニュアルどおりにはいかない。ただそのマニュアルを頭の中に入れとけば、違う条件に対応できるという。皆さんもさっきマップですとかハンドブックの話もしましたが、時間があるときにはもう1回見て、こんなもんかというふうにですね。考える機会、今回の災害を機にそういった形になればいいと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
<p>閉会挨拶 大野町長</p>	<p>ご心配の話、いろいろ出ましたその中で一つごみステーションのところに何曜日との表示をすること。曜日が変わりますので当然やはりそういうところは我々が調査しながら対応してかなきゃならないかなというふうには思っております。やはり、ごみステーションというのは、利用される人たちの気持ちによってですね、変わると思っております。まずは、ごみステーションをきれいにしなければ、投げる場所を守らないで投げってしまうという感じでありますから、皆さんご苦労されているかと思いますが、実際いろんなことをやられてると思いますが、まず町でその看板を設置し、ちょっと調査させていただいて対応させていただきます。</p> <p>あと災害についてですが、私、昭和57年の浦河沖地震の当時、震度7でしたがそのとき私、浦河におりました。浦河に住んでいたところよりは実家である静内末広町2丁目なんですけど、実家に帰ったら地震で台所にあった冷蔵庫が茶の間に飛んできていました。当時、ちょっと家空けて、両親もちょっと出かけていたもんですから家にいなかったんですけど。家の中にいたら、例えばもう足の裏がもうスリッパでも履いていなかったら歩ける状況ではなかった状況でした。地震というものはそういうものだというふうに感じてます。そういう中で津波が来るんで逃げるんですが、逃げられる状況かっていう感じになるんですよね。ですから皆さんもそういう少なくともそういうことになる。そこを意識しながら、生活をしていただければ、決して困ることはない、自分1人じゃないですから、みんな同じことになってますから、その中でやっぱり助け合うということが必要だというふうに思いますので、そのような気持ちでですね、災害のない年を今年1年願っておりますけども、災害が来たときにはお互いが助け合うということが大事だと思っております。よろしくをお願いします。どうも今日はありがとうございました。</p>
<p>閉会</p>	<p>10:46 終了</p>

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年1月21日（日）10:00～
会 場	花園生活館
自治会名	高園自治会
出席者	<p>【町側】</p> <p>大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、中島地域振興部長、藤沢教育部長、樋爪企画課長、田中企画課広報広聴・統計係長 10人</p> <p>【自治会側】</p> <p>17人（男性13人、女性4人）</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	10:00～ 樋爪企画課長
自治会長挨拶	<p>おはようございます。久しぶりに大勢の方々が出席してのまちづくり懇談会を開催でき、まことにおめでとうございます。今日はまたお忙しい中、役場の係の方々、また、町長はじめ部長さんに来ていただきましてありがとうございます。</p> <p>今日はよろしく願いいたします。新型コロナウイルス感染症の影響などで自治会の活動も思うように、ここ4～5年できなかったわけでございますけども、かつての日常を取り戻すことができることは非常にうれしく思います。皆様にとっては、希望に満ちた新しい活動ができるよう、ご祈念を申し上げます、挨拶にかえさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
町長挨拶	大野町長挨拶
職員紹介	樋爪企画課長
資料説明 上田保健福祉部長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静内地区ごみ収集日の一部変更について 2. 東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービスの終了について
(質疑)	特になし
意見交換 自治会員A ・ゴミ袋について	<p>自治会の●●です。よろしく願いいたします。本当に素朴な疑問なんですけれども、先ほどのごみがちょっと関係してくるんですけども、燃えないゴミ袋なんですけど、開くとすぐ内側に何か、ただ持ち手も、もう一つの横のほうも内側に入るんです。何でかなと思って。外側に出してもまた内側に入るんです。これは何、本当に素朴なんだけどこれはどういうわけかなあとって。</p>

	<p>女性の方そういうありませんか。ないですか。私だけですか。あるでしょ、よかった。あるって言ってくださいました。すいません。以上です。</p>
<p>上田健康福祉部長</p>	<p>申し訳ございません。私も普段、燃えるごみ袋を使ってるんですけどなかなかそういった状況じゃなかったの、どういう状況なのかなあと思ったんですけども、ちょっと、今までの古いごみ袋のときもそういう事ありましたか。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>いや。今のになってから。</p>
<p>上田健康福祉部長</p>	<p>新しい袋が広がってからのかなとか何かそういうことですか。はい、私ちょっと作り方にもよるかもしれないので、ちょっと内部でちょっと検討させていただきます。今、作ってる・作ってしまっているのはちょっとどうしようもないんですけども、今度、新しく作る際には、そういった点をちょっと工夫しながらやりたいと思いますので、お願いいたします。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>はい、すいませんありがとうございます。すいません。</p>
<p>企画課長</p>	<p>はい。他にどんなものでも構いませんので、お願いします。</p>
<p>自治会員B ・ゴミステーション 看板について</p>	<p>●●といいます。よろしくお願いします。 ごみの関係だったんですけども、今、ごみ箱にですね、収集日ですとか、看板が付いているんですけども、ちょっと古くてですね、もう、見えないところもあるもんですから、むしろこの変更に合わせてですね、そういうごみ箱に設置できるようなそういう曜日、ごみの収集日ですね、そういったものを付けていただくことができないでしょうか。</p>
<p>上田健康福祉部長</p>	<p>はい、ごみのステーションは設置してある看板、かなり古くなっているところもあると聞いてございます。ですので、今回、収集曜日が変わるということで、その変更しなきゃならないんですけども、ものが新しくなるのか、それとも変更になる場所だけを貼り替えるのか、ちょっと何とも言えないんですけども、いずれにしても、対応したいというふうに考えてございますので、ただ、一遍にできるかどうか、難しい部分もございまして、その辺は順次やっていきたいと思っておりますので、ご理解のほどお願いいたします。</p>
<p>自治会員B ・コロナワクチン接 種補助について</p>	<p>ありがとうございます。 もう1点なんですけど、ごみじゃないですけども、コロナの関係で、国のほうの補助が3月いっぱい注射をですね、なくなるということなんですけれども、今後はどうしても我々自治会活動においてもですね、中心になるのが、高齢者というふうになってきてるもんですから、その中で前のインフルエンザと同じような形で町のほうの補助の形でですね、続けていただけることはできな</p>

<p>上田健康福祉部長</p>	<p>いかを検討をお願いしたい。要望として聞いていただければ。</p> <p>はい。コロナの予防接種の関係でございますけども、こちら第5類に変わります。インフルエンザと同じような扱いになるというふうなことでございます。ただ、接種費用につきましては、かなり高くなるというところで、一応、今考えてる部分が、65歳以上の方、それと疾患を持っている方っていうのがインフルエンザもそうなんですけども、そちらも一定の額の助成をしたいなというふうに考えてございます。ただ、全額助成するというのはなかなか難しい部分もございまして、一定の負担を求めながら、できる範囲でお手伝いをしていきたいというふうに考えてございますので、ご理解をお願いいたします。</p>
<p>企画課長</p>	<p>ほかにございませんでしょうか。はい。今、マイク回しますね。はい。</p>
<p>自治会員C ・ゴミ不法投棄対策 について</p>	<p>花園の●●と申します。私はお墓の通りの1番上の方の住宅に住んでいますが、あそこから新冠に抜ける道路ありますよね。上り坂になってるんですが、あその間にですね、ごみが多く投げられているというのがありまして、これからの雪解けで、ごみが更に目立つってというような格好になりますのでね、私の近所の方が、以前、犬の散歩をしながらごみを片づけていただいたんですが、高齢ということもあって、今はやめてしまってるというような状態なんですよね。それで、ごみを捨てないような看板を立てていただけないかなと、いくらかは改善になるんじゃないかなと思ってるんですが、そういうことはいかがかと思ってお話ししました。</p>
<p>上田健康福祉部長</p>	<p>はい、私のほうからお答えさせていただきます。ごみの不法投棄につきましては、なかなか改善が図られないというところで、普段、皆様の目の届かないところでかなりの投棄がございまして、町では気づいたことや看板の設置はしてございます。ただ看板の設置だけではなかなか収まらないというふうなところもございまして、来年度からになりますけども、監視カメラのほうを何か所か設置しまして、重点的に対策を講じていきたいというところでございます。具体的に検挙っていうのはちょっと警察じゃないので難しいことですが、ある程度の実績を上げながらですね、抑止力を図っていきたいというふうに考えてございますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>企画課長</p>	<p>はい。よろしいでしょうか。はい。ほかにご質問、ご意見等ございませんでしょうか。なければこのまま町長の挨拶で締めてしまうということになります。</p> <p>本日は教育部、保健福祉部、産業建設部、総務部、それから地域振興部というところで、様々な分野の部長職が出席しておりますので、それでは自治会員Dさまお願いいたします。</p>
<p>自治会員D</p>	<p>自治会の中で、今までずっと活動した中で、ご覧のように話して云々とか、墓</p>

<p>・墓地の管理について</p> <p>上田健康福祉部長</p>	<p>地の関係とか、普通の自治会としてずっとやってきました。コロナの間はそういう活動がほとんどできないという状況でありました。墓地の花壇の方も、もうほとんどほったらかしで管理ができないような状態になっております。札幌から来た方がこの花壇について話をされたが、そういう時期になりますと花がないということで本当に私たちも寂しい思いはしますけれども、この墓地の花壇についてどのように考えているのか伺いたい。</p> <p>はい、私のほうからお答えさせていただきます。今、コロナの関係で、なかなか人が集まって作業するというのができない状況がここ数年続いてございました。</p> <p>これから、5類に変わったからといって感染しないというわけではございませんので、その辺を注意しながらですね、前のような、活動が復活できればいいことだなと考えてございますので、その辺、状況を見ながら皆さんにご協力をお願いするというふうな流れになってきております。ただ、できる範囲で町のほうでも対応していきたいと思っておりますけれども、状況を見ながら、皆様をお願いしたいというふうに考えてございますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>閉会挨拶 大野町長</p>	<p>今、ごみ袋の話を●●さんの話から始まったんですけど、私ごみ袋、申し訳ない。使用する機会が少ないもんですから、両方やってもらっているもんですから、実はごみ袋をですね、国内で製造するものとかですね、やっぱり海外から入れるものとかですね。ごみ袋を変えたときにちょっといろいろありましてね、昔と違うのかもしれない。上田担当部長が答弁したとおり、そういう部分もきちっと確認しながら今後は新しくやっていきたいというふう思います。それと同じくごみの関係、看板のお話がありました。私も全く同じ考えでありまして、昨日、柏台の方で、同じ懇談会を持たせていただいたときにも、そのようなお話がありましてね、全部一遍にできるかはこれは別ですけども、やはり現場を確認して古くなって見えないのは、きちっと取替えていこうというふうに進めたいというふうに思ってます。何よりもごみが集まっているごみのところをきれいにしなければ、やっぱり使う人、こんなもんでいいんだなって汚いまま投げられても悪くなるばかりですので、その辺はしっかりやりたいなというふうに思ってます。順次になるかもしれませんが、ご理解をいただきたいというふうに思います。</p> <p>それと、不法投棄のお話ありました。先ほど、監視カメラの話をお話をちょっとさせていただきましたが、私、去年とあるところをとある団体の方々が、不法投棄のものを全部取っていただいたんですね、ボランティア活動で。もうそれから何か月もしないうちにまた不法投棄が始まったということをお聞きして、投棄してる人を見つけてみんな捕まえようか、そんなこと思ってないんですけども、やはりそういうところにはきちっとしたものを、カメラをつけて、1件でもですね、そういう行為があるよということが、こういうことやったら捕まる</p>

	<p>んだよということが分かれば抑止力になるだろうというふうに思っていましたね。ちょっと、本当はそんなことやりたくないんですけども、そういうことを表に出しながら、不法投棄っていうものをなくしていきたいというふうに思っています。</p> <p>街中におきましても、特にマスクですよ。僕もまず、この辺に入れたりしており、何気なしに落ちることもあるけども、落ちてるのではなくて完全に投げてるんだっていうような場面も目にするもんですからね。そういうことも含めまして、しっかりとそういう周知をしていきたいなというふうに思っています。</p> <p>最後に花壇のお話ありました。町の中いろんな花壇があります。今、予算査定の時期でありましてね。あそこの花壇をどうする、自治会の方々もできないわっていう話もあり、いやけどそのままやめとくわけに行かないよねっていう話を役場の中でもしてまして、できる限り自治会の皆さんとも協議しながら、お手伝いいただけるものをお手伝いしていただくような形でですね、やはり作れるところはきちっと作っていくというようなことをまた進めたいというふうに思っていますので、そのときにはご協力お願いしたいと思っています。今日、本当にごみですとか花壇ですが、我々の日常の直結するところです。そこについて、ご意見いただきました。予算査定もちょっと数日、来週もやる予定でございますので、新しい年度に載せるものは載せた中で、しっかりと対応していきたいというふうに思っていますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。本日は本当にありがとうございました。</p>
閉会	10 : 25 終了

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年1月25日(木) 17:30～18:50
会場	東西生活館
自治会名	東西連合自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、藤沢教育部長、中島地域振興部長、渡辺地域振興課長、森多地域振興課長補佐 10人</p> <p>【自治会側】 12人(男性11人、女性1人)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開会挨拶	17:30～ 渡辺地域振興課長
連合自治会長挨拶	<p>改めて新年明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。</p> <p>初めに、東西生活館には、町長をはじめ、関係部署の方に大変お世話になりました。新しい立派な生活館を造っていただき、本当に全員で感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。</p> <p>また、若い世代も、青年部は東西青年部、それから老人クラブも東西きずな会、そして、今年の1月7日に、新しく東別と西端の自治会が合併されまして、東西連合自治会と名称が変わりました。</p> <p>今度は、私が1番年寄りでございますけども、役員の方は若返りをもって、自治会を結成することができました。自治会は、何としても町との付き合いはしなければならないという事で、今後とも、皆さんには色々とお世話になりますけれども、よろしく願いをいたしたいと思います。本日は、お互いに忌憚のない、意見を出していただいて、有意義な懇談会にしていただきたい。そして、東西連合自治会、そして新ひだか町がより一層良くなるような、意見交換会をしたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
町長挨拶	大野町長挨拶
資料説明 上田保健福祉部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静内地区ごみ収集日の一部変更について ・ 東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービス終了について
質疑	特になし
懇談希望テーマ	<p>①町政全般に対する意見要望</p> <p>特に説明なし</p>

<p>意見交換 自治会員A ・広報の配布数の 変更について</p>	<p>自治会で広報を配らせていただいています。今日はうちの地区に18部来ましたが、それを20部にしてもらいたいというお願いです。</p> <p>今までは、余分にあつことから、名簿上一戸になっているが、二世帯で別々だから2冊欲しいと言われたら渡していました。</p> <p>配布の時は、自治会長と班長で配布しているため、破損等の予備もいただきたい。</p>
<p>渡辺地域振興課長</p>	<p>今回東西連合自治会になって、世帯数をいただいたので、一戸二世帯のところでは、1部ということになっていると思います。</p> <p>20部という事で、承知いたしました。</p>
<p>自治会員B ・街灯等の設置に ついて</p>	<p>今日皆さん来たら分かったと思うんですけども、前の生活館の時は街灯が付いていたんですが、真っ暗闇で何とか一つ設けて欲しい。</p> <p>もう一つ、春立から入ってくると、お墓を通って、●●さんの間で結構事故があつて。鹿にぶつかったとか、車の事故があつて、自治会要望として街灯を1つ2つ設置してもらいたいという要望が出ているんですよ。道道なんですけども、街灯をつけるっていうのは、なかなか面倒なもんですかね。何とかして欲しいと言われているのでお願いします。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>産業建設部長の水谷です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>2点ほどありまして、まず、街灯ですが、道路照明と防犯灯と大きく分けて二つありますが、道路照明の方は事故防止関係で設置する関係が多く、大体、交差点や横断歩道がある所、急なカーブがあるところ、事故防止的な所に道路照明は多いです。防犯灯については、夜間に人が歩いて事故と怪我の無いようにというところと、防犯上の観点で設置するというようなことになっておりますけど、防犯灯については、毎年度、6月、7月ぐらいになるかと思いますが、各自治会の方に、防犯灯の要望調査を上げております。これは静内地区だけでして、三石地区についてはその都度、自治会から要望をいただいています。今回東西地区なので、静内地区と同じ取扱いでやると思いますが、6月7月ぐらいに防犯灯の設置要望を各自治会のほうに案内差し上げています。そこで、設置してほしい場所をあげていただければと思います。予算の関係もありますので、多数あれば年次計画などの方法もあります。また、設置条件があるので、その辺を見ながら設置はできるようになっております。</p> <p>もう一つ、道道の墓地のところ鹿が飛び出てくるということですが、先程も言ったとおり、道路照明の事故防止等があれば設置できるんですけども、なかなか今現在は、新たに道路照明をつけるというのはなかなか難しいのが現状です。ただ事故の状況、後でまた詳しく聞かせていただいて、北海道（土現）には、現状をお話させてもらって、その辺の可否も確認しながら思っています。また、道路照明で難しければ、防犯灯で対応するという事もできると思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>

<p>自治会員C ・高校の授業料及び給食費の無償化について</p>	<p>まずは、要望を上げていただきたいというところでお願いいたします。</p> <p>●●と申します。今、全国的に少子化と言われておまして、各自治体でも少子化対策をやっていると思う。今新ひだか町で高校の授業料も一部無償化していますが、所得制限があるんですよね。何とか所得制限の部分無くしていただけないかなというところがあります。あと、給食費についても、無償化にしようというようなお話というのはあるんでしょうか。こういうことは、本当に将来に対しての投資だと思って、町でもぜひ取り組んでいただきたいというふうに思っております。この地域で沢山の子どもを安心して育てられるような環境づくりをぜひ考えていただきたいなと思います。以上です。</p>
<p>藤沢教育部長</p>	<p>はい。子どもの関係ですので、私、教育委員会の藤沢と申します。</p> <p>ご希望に沿える答えにならないと思うんですがそこをちょっとご了承いただきたいんですが、まず、最初の高校の授業料の無償化については、確かに所得制限がありまして、かなり、授業料の無償化になっていない方がいるというお話は聞いております。ここにつきましては、国などで議論されているというふうに聞いておりますので、その状況を見てからの対応になると思っております。</p> <p>財源的については、高校の授業料の無償化の部分については、町のお金は一切入っておりません。ですからこれは、国や道が基本的には実施する事業と我々も考えておりますので、そこはご理解いただきたいと思っております。それ以外の部分で、今、通学費の助成や高校の英語試験の助成というところで、町として対応させていただいております。町としましては、そういう後方支援の部分については、今後も、色々な場面で力を入れていきたいというふうに考えておりますので、高校の授業料無償化については、そういう事情がございますので、町として動くということは無いですが、色々なところの事情を見まして、要望だとかという形で対応して参りたいと思っております。</p> <p>また、学校給食費の問題ですけども、実は、町民からも、議会の方に請願が出されていまして、明日1回目の常任委員会が開かれます。町の教育委員会としましては、給食費の無償化については、国でも色々今議論がされておりますので、その動向は見ていきたいと思っておりますが、給食費を無償化するためには、現金でいうと1億円ほどの財源が必要となります。賄い材料費で値段が相当上がっているということもあって、大体1億円ぐらいの財源を捻出しなければならぬという状況がありますので、町単独で実施するというのはなかなか今難しいかなと思っておりますし、全道的に言いましても、20市町村ぐらしか実は学校給食の無償化は行っていないという状況がございます。ここについても、国で今議論されているところもありますので、その動向を見ながら、対応していきたく思っております。ただ、本来であれば、給食費の値上げというところも実は考えていかなければなりません、今の物価高騰ということもありますので、ここについては、給食費の値上げ分については、頑張って値上げをしないような対応は、引き続きやっていきたいというふうに考えておりますので、ご理解いただきたいと思っております。いずれにしましても今の高校の授業料</p>

	<p>の無償化についても、学校給食についても、国である程度のラインが出てくると思います。その部分につきましては、我々もいろんなところで議論をさせていただきながら、町民や議会の意見を聞きながら、対応をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。</p>
<p>自治会員D ・東西生活館の避難所指定について</p>	<p>東別地区の●●です。おかげさまでこうやって東西生活館ができましたが、以前の生活館は、避難所指定されていたと思いますが、今の生活館は避難所指定されているのでしょうか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>総務部長の柴田と申します。今のご質問なんですけど、確認しなければならない部分がありますが、もともと東別生活センターを津波のときの避難場所として指定してございました。恐らくこの位置関係からして、この場所を、避難所の一つとして指定する場所にあると今認識してございます。今、防災計画上的変更手続までが進んでいるかどうか、確認してこなかったものですから、明確にお答えできませんが、位置的に考えても、津波の避難場所になるものと考えてございます。</p>
<p>自治会員D</p>	<p>今のところは、毛布などの備蓄品が置いてないですが、何かあったときに持ってくる認識でよろしいんですか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>町の備蓄品につきましては、町内数か所に分散して今置いておきまして、各避難所に分けて置くという対応をとってございません。それは、災害の内容によりまして、どこにどのくらいの避難者がいるのかですとか、例えば、今回の能登の地震でも、ご覧になったとおり、その時に、道路が通れるかですとか、火災が発生するなど、様々な状況を踏まえまして、最適な避難所を町で指定しまして、そこに備蓄品を集めてくるというような形で考えてございますので、分散して生活館ごとに置いてしまいますと、それを回収しなければならないような事態にもなりますので、現状、生活館に置くということは、想定はしていないところでございます。</p>
<p>自治会員B ・農業従事者への住宅の確保について</p>	<p>今この部落には新規就農が多く入っている。これからも入る可能性があって、ほとんどの新規就農はミニトマトをやっているんです。それでパートさんですけども、今年から外国人も入っている。その中で、派遣社員が入るという話を聞いてます。派遣社員が入ってくると、当然住むところが無いということで、大変困っているという話を聞いているんですが、町の方ではそういう話を聞いていませんでしょうか。</p>
<p>自治会員E</p>	<p>今、自治会員Bさんから話がありましたけど、町の方でもある程度押さえていておられると思うが、実はもの凄くパート不足なんです。これは農業ばかり</p>

	<p>では無く、他の業種も皆そうだね。実は農協も心配して、派遣会社に来てもらって、今年は説明会もやっている。人手不足は想像以上厳しい。今は外国人の技能実習生を入れている人もいるんだけど、技能実習生入れるということは、大体年間で1人300万円かかる。本当に農家が必要とする期間というのは、大体6か月なんです。ですが、入れた以上は当然仕事がなくとも給料は払う。それで最近本当に必要な時期の6、7、8、9月この4か月ぐらいを何とかいい方法がないかっていうことで、農協もかなり前向きになって、今やってくれていますが、派遣会社からは、何人と言ったら何人来るんです。ただ時給が1,800円ぐらいする。こういう実態をまずやっぱり町でも、覚えていただきたいなど。これに対して、町から応援するとかそういうことじゃなくて、今自治会員Bさんが言われたように住む場所がないことには、駄目なんです。派遣会社から送ってもらうときに、その人の入る場所を用意してくれと。そこで、ちょっと暮らしの体験型住宅地がありますよね。これは決して、悪いとは言いませんけども、特に農業関係、例えば町の方にしても、農業以外にしても、経済的な面から非常に困っている。何とか体験型の住宅を、うまく使えるような方法を可能であれば、そこで町で考えてもらえないかなと思っています。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>収穫時期のパートさんが足りないという実態実情については町も把握しております。静内ハウス団地の研修生の方も同じような状況で、なかなかパートさんが見つからないという事で、町も大変苦慮しています。今、派遣会社の方々に依頼すると、労働力は来るけれども住むところがないということなんです。新規就農関係で、町では促進対策住宅を持ってしまして、規則で設定してるんですけども、この辺は新規就農に関わる就農者だとか、研修生、体験就農と、就農する方の支援をする方が住める状況となっております。昨日、担当している農政課の中でも、労働力の確保というところと、言われている住宅の関係で、打合せをしたところで、今日その辺の確認をさせていただきました。</p> <p>ただ、ハードルが高い部分だとか、問題が問題ですので、なかなかすぐに答えは出ないので、今後は国の方も、そういった他地域からの労働力確保というところの制度の方も検討しているようなので、国の動きも確認しながら、町としても取り組めるようなことであれば、取り組んでいきたいと思っておりますし、そういった労働力の問題、住宅の問題というところもあって、担当課の方でも色々調査研究を今しているようなところですので、このままにはしておけないとは考えていますので、協議していきたいというところと、新規就農者住宅についても、臨時的に住めないかというところも検討もしていきたいと思っていますので、時間はかかりますが、検討は進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>自治会員E</p>	<p>こういうことを大野町長に相談したら、なんとかなると言ってくれるんですよ。あんまり担当部署で難しく考えているんじゃないかなと思うんだけど、そういったことはないですか？</p>

大野町長	担当部長真面目ですからね。正直な話、この6月から9月までの4か月間、どれぐらいの人が派遣で来る感じがありますか。
自治会員E	結局、住む場所がないから。この地区だけ10人ぐらい。
大野町長	どれぐらいの人が来るのかによって、この地区だけで10人ぐらい。向こうの静内地区も、入ってきますよね。20人から30人の感じですか。
自治会員E	受入れするところがあればかなり利用すると思う。
自治会員C	昨年なんですが新規就農のところを、臨時でちょっと借りていた。あそこも今全然使わない物件があるんですね。中がボロボロと言っていましたけど、直せば使えるところって何棟かありますよね。
大野町長	<p>町の中には、職員住宅や、教職員住宅もそうですし、更には公住の空いている所など、いろんな物件があるんですね。それには、それぞれタガがはまっている。そのタガのところを整理すればできないことはないと思います。その時に1番問題なのは料金をどうする、という話なんです。だから、それは農家の方々も入ってくるから、農家の方々からもらいますよ。あるいは派遣で来た人達からもらいますよ、1つ屋根の下に3人入ってもいいんだったら3人で分けてくださいよという仕組み作りだけなんです。あとその物件にタガがはまって利用できないようなものもあると思います。これ以外に使うことができないところをどう整理するかだけなんです。全体像が出れば、それは農協とも打合せしながら、こういうところを利用できないかとか、ああいうところを利用できないかという提案はできると思うんで、そこもちょっと詰めてみます。</p> <p>体験住宅はですね、移住の方々はかなり来てまして、昔は、リタイアした人たちが季節のいいときだけ来るというような、ホテル代わりと言ったら語弊ありますが、そのような利用の仕方をされてた面が否定できないんですけど、最近ちょっと変わってまして、40代から30代の人達が来てまして、実際に体験して借家を借りたり、中には家を建てたりという人もいたりして、利用の形が変わってきてかなり混んでるんです。だからその利用を、今10棟ありますけども、そこはちょっと難しいと思うんですけど、前段で言ったようなものは沢山あるはずなので、そこを整理しながらうまく使えればいいなと思います。ただ、通って来なくてはいけないので、そこは確保してもらわなければならない訳ですけども、それについては農政の方に言って、農協とも打合せしながらどれぐらいのボリュームがあって、どういう受け皿を作って、どんな利用の仕方をしてもらうかをちょっと詰めます。</p>
自治会員B	大至急やってもらいたい。
大野町長	自治会員Bさんが元気なうちにやります。

自治会員B	<p>俺が町長だったらすぐやる。</p> <p>今の行政は縦割りだとか横割りだとか、なかなかあっち行けこっち行けと、これがダメだ。1つにしてしまえ。これがややこしくて、もう長引くんだ何でも。これ考えないとだめだ。</p>
大野町長	<p>今ね、昔と違って、それは皆さんその職員の方々の自覚の問題なものですから、自分で始末できなくても、やっぱり相手に相談したら始末できるかみたいな、そういう感覚になってくれればいい訳で、徐々に進んでますから。昔より柔くなったと思います。</p>
自治会員E	<p>こっちの部署ではそうしてあげたいけど、こっちの部署ではだめだとか、そのへん様子をみてあげないと。</p>
大野町長	<p>職員はそうしてあげたいと思ってる。思っているけれども現行の法律の中では無理だなと。そこの無理なところをどう理由を付けて使うようにするか。あるいは無理なものも、あたって解決することが大事なことで、それはチャレンジし続ける。</p> <p>全然話違いますけど、2、3日前のテレビで、災害になった時に、線路を渡っちゃ駄目だなんてあんな馬鹿な話ないですよ。災害起きたら、線路渡って逃げるの当たり前ですよ。それはやっぱり国の方でもそういう見解を出すまでに何年もかかっている訳ですよ。あれ見てもナンセンスな話しをしていると思ったんだけど、あれとはちょっと違いますけども、やっぱりそういう決め事の中で動いてると、そういう事があるので、そこは町として何とか解決策を見いだしていきたい。</p>
自治会員E ・病院の今後について	<p>実は医療の関係ですが、実は私は東別なんだけど、恐らく1番三石の町立病院を利用している、●●さんと自分は。そのくらい三石の町立を利用しています。それで三石の町立で私はもう30年近く、毎年胃カメラの検診とエコー検査を必ずやっている。それと、大腸検査も三石でやっている。今の八木橋先生はかなりそちらが得意でね、自分らも安心して病院にかかっている。広報なんかではよく、病院の再編のことは詳しく出てるんだけど、三石地区では説明会をやってるじゃない。ただ自分らは文書で見ただけであって、本当にこの先どうなるのかなあというところを、少し聞かせてもらえれば勉強なるんですけど。</p>
上田保健福祉部長	<p>三石国保病院の今後なんですけど、今は入院病床をもった中での運用となっておりますが、今後、病院の経営集中改革プランの中で、静内病院、三石国保病院合わせて、経営改善を図っていく計画の内容になってございます。三石国保病院につきましては、その計画の中で、入院病床を廃止しまして、入院機能というのは静内病院のほうに集約するという位置づけの中で、三石国保病院については、診療所として外来に特化した病院にしていきたいと考えてございます。外来ですが、今後、なかなか病院に来られないという方も多数出てくると思いま</p>

	<p>す。そういった方も想定しまして、外に出て行き、診療したいというところで、そういった病院を目指して、今後整備していきたいと考えており、令和8年度末までに、新しい病院を完成させまして、令和9年から新しい病院で稼働していく、というような計画を持ってまして、できれば、外に出て行く訪問診療ですとか、そういったものについては、もう開始しておりますので、ドクターと患者さんと2人のお話の中で、訪問診療に切替えましたというご本人の希望があれば、随時そちらの方に切替えていく、というふうなことを今やっておりますので、そういったものに変更していきたいと考えてございます。何かあればバックアップの病院としましては静内病院で、対応するというごことご理解いただければと思います。</p>
自治会員 E	<p>説明いただきまして理解しました。実は私は家の方で、95歳の母親がいるんですよね。今介護の関係で大したお世話になっていますが、恐らく静内ほどこの訪問介護を含めて、やっている町村は無いのかなとそう思っています。だから、やはりその病院が今診療所っていう形になっても、これから、とにかく高齢になってくるんですよね。だからその訪問の方を、介護をやっぱりやってもらえば、恐らく不自由無いのかな。無くなると不自由な気がするんだけど、最後やっぱり自宅にいる時にどうしてもらえるかなと、そういうことだと思います。それともう一つ医療関係で、先日道新に大々的に出ましたが、実はうちも徳洲会でいろいろ介護サービスを受けています。これが、今の場所から、無くなるというような話もつばらね、当然代替え地としてあそこにね、高砂の方に建てる計画だったやつが、いろいろ問題あって駄目だと。これが新聞見たら、静内町内に限らず新冠の方も視野に入れてる様な言い方をしたんですよね。これ、実際に、どういった捉え方した方がいいのかなと思ひまして。お願いできますか。</p>
上田保健福祉部長	<p>分かる範囲内になってしまいますが、基本的には、報道で出ている部分でしか私ども承知していないというのが大部分でございます。新しい病院、今199床でやっていますけども、それを250床まで増やした中で新しい病院を建てますという計画というのは、無しになると思います。今の診療科目で199床という病床の中で、違う場所で建て替えをしたいという考えであります。その中で、この地区以外の新冠町さんも含めた中で探していきたいという報道が出てございます。徳洲会さんの方と少し話しましたが、基本は新ひだか町で考えていきたいと、ただ新ひだか町の中で適した場所が無い場合については、新冠町も含めて、広範囲で探していきたいという考えでございますので、基本は、まずは新ひだか町、その中で選定をしていきたいという考えでございます。</p>
自治会員 E ・徳洲会病院について	<p>実は新冠に同級生がいますね、新冠では大歓迎だと。あそこの診療所、あれが累積赤字で30億にまでなっている。このままやったら恐らく40億になるだろう。是非とも来て欲しいとたいした力入っているんですよね。そして温泉の上のあそこの町有地に、造成すれば幾らでも建てるという話で。ただ、今のこの車社会の時代だから、車を何らかの形でバスも走らせてもらえば、さほ</p>

<p>上田保健福祉部長</p>	<p>ど不便は無いと思うんだけど、町としてはやっぱり新冠に行ったら大損失だと思う。これは我々町民が心配する以上に、町も心配していると思いますが、なるべくなら新冠に行かないで、周辺に留まっていたいただければなと思ってます。</p> <p>はい、考えは私も一緒でございます。極力できれば、町内に残っていただきたい。町内にこんな空いている土地ありますよというお話をしながらですね、この町に残っていただきたいという考えではあります。ただ、選ぶのは、徳洲会病院になりますので、そこがどこを選ぶのかというのはちょっと分からないんですが、町としてただ見てるというだけではなくて、色々な会話をしながらこの町に残っていただきたいということを伝えていきたいと思っております。</p> <p>なるべく残るように頑張ってください。</p>
<p>自治会員 E</p>	
<p>自治会員 B</p>	<p>負けないで頑張ってください。新冠に行くとなれば新ひだか町に入る金は大分違うのではないかな。人口減ったら国の交付金も減っているいろんなことも加味したら相当大きなものになるのではないかな。多少新冠で固定資産税、2、30万要らないって言っても、そんな問題でなく、新ひだか町にとっては結構な損失になるんじゃないのかな。</p>
<p>大野町長</p>	<p>徳洲会病院が、他の町に行った時には、固定資産税とか、法人としての税金ですとか、あるいはそこに勤めてる方が、引っ越しすると影響はありますよね。でも、そういう影響よりは、この町もそうなんですけど、管内的にも新ひだか町は中心地にある、なおかつ救急は、徳洲会だけじゃこの辺の救急は全部捌ききれないんですよ。ですから徳洲会と静内の町立病院で捌いて、東の方は、浦河日赤ありますけど、そういう面もあります。地域としてどう考えるんだっていうのが1番大事かなって思っています。</p> <p>おっしゃる通りうちの町から無くなったら、町長何やっているんだと皆さんに怒られますので、僕もそんなつもりはないですけども、極力この町に、徳洲会が残って欲しいと思ってますから、それなりの動きだとかそれなりのアプローチはしますが、もっともっと大きな目で見ると、この地域として医療構想どうするんだと言った時にも、僕は、今、浦河日赤も大変な状況になってますので、将来的に浦河日赤の方がもっと大変になってきた場合には、ここから東の方々もうちの町の病院である程度ケアしなきゃならなくなるんです。その時にやっぱり徳洲会って核になるんですよ。そういうことを色々考えると、地理的にも真ん中にある私どもの町で、うちの町から西のほうは、極論を言えば苦小牧に真っすぐ走ったほうが早いんですよ。新冠は別ですけどね。日高町あたりだったら、苦小牧の高規格でまっすぐ行った方が早い、そういう面もありますので、そういうところも含めながらしっかりと徳洲会さんにはですね、お願いをしていきたいと思っております。</p>
<p>自治会員 B</p>	<p>三石病院は新しくするんでしょ。何処に建てるの。</p>

大野町長	<p>今ですね、三石地区の方々で6名出ていただいて、どこに建てるか、という検討委員会を立ち上げたんですよ。それで、第1回目は先週会議を開いています。その時は、三石の方々と、それから、北海道科学大学の副学長さんをお願いして来ていただいて、その方は工学部の方で、まちづくりですとか、あるいは防災の観点ですとか、そういうノウハウがあることから、その方も入れながら、地元の人達と三石の連合会長さんも入っていますけども、そういう中で今お話を進めています。早ければ年度内に決めていただいた中で、来年すぐさま、場所が決まれば6年度で実施設計をかけて、7年8年の2か年で、建物を建設する予定です。先程担当部長も話しましたが、9年度の頭から、早くできれば早く前倒しでオープンしますけど、そんなことで考えています。やはりベッドを無くすに当たっては、三石地区の皆さんから反対意見、説明会でも反対の意見をいただくんですけども、これはやらざるを得ないというふうに思っていますし、反対する意見の中でも、例えば足をどうするんだとか、救急の時にどうすんだろうとか、色々な質問があるんですけど、そういうところにはきちっとした対応策をしながらやっていきたいなと思っています。恐らく、年度内に場所は決めていただけるだろうと思っています。</p>
自治会員B	<p>なるべく、低い所じゃなくて津波の関係があるので高い所に持って行った方がいい。今からの建物は、官公庁も全部そうだけど、高い所に持って行かないきゃやっぱり駄目だ。低い所では駄目だから高い所に建てる様にして貰った方がいい。</p>
自治会員E ・漁業者について	<p>恐らくこれは漁業者から本来出ないきゃならん声だと思うんですけども、浜、非常に今厳しいんですよ。やっぱり海水温度が上がったりして。豊浦の方で今、陸上養殖をもう本格的に始めている。今、春立小学校があります。ここ、なかなか手を挙げて入ってくる事業者がない。あそこら辺りをうまく使えば、陸上養殖なんかだったら、体育館もあるし、すごく面白いと思うんですよ。漁業者からはそういう声はあんまりないんですか。</p>
大野町長	<p>漁師の方々は、今、赤潮の被害から始まってですね、海水温の上昇によってかなりダメージを受けています。赤潮被害で、国が15億だと思いますけども、被害対策の予算を組んで、それぞれ、漁業者の方が被害状況の調査ですとか、資源調査をする時にお金を出すような形で、少しずつお金は落ちているんですけども、アキアジは去年の3割以下ということで、平時に比べたらもう2割ぐらいしか獲れていない話になっていますけども、そういう中で今、陸上養殖の話は、水面下で何件か計画されている話だと聞いています。ここで公にすることはまだできませんけども、そういう考え方を持っている方はおりますけども、それは漁師さんから自発的に出てきている様な話では無いです。外からの話が多い。その時に当然建屋があるのは、学校になりますので、学校を利用しようかという話はあるんですけども、まだ現実問題として具体的に、ここでこれをやろう、あれをやろうということまではなっていない。恐らく漁師さん達は</p>

<p>自治会員C ・資格の助成について</p>	<p>やるとしてもですね、漁協さんが中心にならないと、なかなかできないだろうと。そうした場合に、今、漁協さんも水揚げが落ちていると、やっぱり漁協自体が経営厳しいですね。日高地区に今、保冷施設の大きい加工場を作りましたから、そういうものも動かしながら、また違うとこにというのは、漁協さんとしても辛いのかなと思いますので、そこはうまく外からのお金ですとか、外から入ってくる人、企業さんがいれば、そこと地元の両者をマッチングして、新たなものを作るという事はできるかなと思いますんで、まだ水面下ですけども、具体的になるように、私もちょっと話はしていきたいなと思います。今、2種類ぐらい、魚種は別ですけども、耳に入ってきていますね。</p> <p>通年雇用促進協議会さんから、資格の取得に関わる助成っていうのがあるんですよね。これは、季節労働者に限定されておりまして、私も実は昨年、どうしても仕事上フォークリフトの免許が必要で、取得しました。私自身が、新冠にピーマン出荷しているということもありまして、新冠の農家の方がリフトを運転しているので、農協の助成あるのかと聞いたら、新冠町からの助成を受けていると言っておりまして、農業者の人に対してのそういう助成は新ひだか町の場合は無いんですかね。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>町としては、講習会とかは、やっている。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>新冠町はやっている。</p>
<p>大野町長</p>	<p>新冠町がやっているかどうかというのは、僕、承知していませんけども、新ひだか町としてはやってないです。通年雇用促進協議会、それは厚生労働省の流れの中で作った段階で、ターゲットを絞りそこに対してはやっています。農業をやっている方々が資格を取る時に、町として助成をやっているかっていうと、やってないですね。</p> <p>新冠がどんなやり方をしているのかは僕分かってないんで、そこはちょっと聞いてみたいと思います。</p> <p>話変わりますが、ピーマンを作っているんですか。こっちで。(はい)へえ。【…聴取不能…】(1:01:17)</p> <p>それ、ピーマン今年良かったでしょ。【…聴取不能…】(1:01:23~1:02:08)</p>
<p>大野町長</p>	<p>今、実験センターで、例えばミニトマトでも何でもそうですが、連作障害があつたり、あるいは、手間がかかるから、作型を変えて、やらない時期を作って、やらない時期のところには何かを作って、手間がかからないもの何か無いか、ということで、今実験をやらせてます。それが、1年目やって、結構できたんですよね。また来年も、それをやると言っていますが、そのものに限らず、違うものを入れながら、作型を少し変えて、手間がかからないようなものを、尚</p>

	<p>且つ、農薬だとか肥料だとかをやらなくてもいい、そういうものを、第2の作物っていうふうには言えないかもしれないけど、そういうものをちょっと研究して欲しいと言って、今年からやってもらっているの、皆さんも、何か要望あったら、こんな研究やってみて欲しいと、農政のほうに言っていただいて、どんどんやった方がいいと思うんですよね。</p>
<p>自治会員E ・今後の作物について</p>	<p>実はね、昨日新冠のピーマン生産者と一緒に、懇談会やってきたんですけど、新冠では、例えばこの今の状況がいつまで続くかという保証が無い。それで、サツマイモ、全量ホクレン出荷で、苗はホクレンから。これを既にもう模索している。だから、町長言われる様に、三石の実験センターもね、例えば静内のハウス団地でも、そこら辺り次の作物を研究して、こういったことが必要だ。</p>
<p>大野町長</p>	<p>それやらないと、絶対駄目なんですよね。やっぱり現状維持のままやっていたら、絶対駄目ですよ。ちょっとずつでもいいから変化を求めて、チャレンジする、そのチャレンジが、農家の人たちが全部お金出して、チャレンジするのは博打だよと、それは実験センターあるんだからちょっとやってみて下さいと、そんなような機能分担しながら作り上げていくことが必要だと思う。</p>
<p>自治会員E</p>	<p>もっとう、なんていうか、気温が上昇すれば、例えばピーマンももしかしたら頼りないかも知れない。サツマイモならいいかも知れない。もう、既にそういう目的で採っている。</p>
<p>大野町長</p>	<p>落花生作っている所もある。落花生なんて北海道では無理だと思っていたんだけども。そういうものというのは、農家の皆さんが自分で研究して、少しの補助を使って、作る事も重要です。やってみただけでできそうだから、これ作型改型やるために機械がどのようなものがあるとか、そういう研究やってみてくれやって、そういう事っていうのは農政の方でやって、勉強していった方がいい。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>昨日たまたま、農業士の集まりもあって、僕も行ってましたが、ピーマンに関しては、良かったのは新冠だけだったんですよ。同じ道内でも、空知管内、上川管内、前年度対比で言ったら、70%、80%だそうです。気温のことを言うと、新冠がすごく良かったと言ってまして、そこよりも2度ちょっと高い所が、もう既に駄目になっているので、普及センターの所長さんも言っていましたが、8月に関しては、4℃ちょっと高い状態でした。そこからもう、2℃も上がってしまったら、ピーマンも厳しくなるというような話があったんで、だから今言われたように、他のものも模索するというのも、大事じゃないかな。今年もそうなる可能性も、往々にしてあるかなという話です。</p>

<p>自治会員E ・畑地化につて</p>	<p>実は先日、●●さんから、ちょっと厚真の方の情報を聞かせて貰ったんですけど、今この畑地化の関係で、これ、4年後なんですね。これどういった方向でね、進めて行くか。これはもう、農家の人が勝負を、それから農協も入れて、もうある程度考えて行かなかつたら。駄目ならそれで終わりだから。厚真の話を●●さんから。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>厚真は、畑地化になっているのが900町歩なんですよ。900町歩畑地化したということで、町長や組合長はもう真剣になってやめてくださいっていう、頼んで歩いたって言うんですよ。それでもやっぱり畑地化に、900町歩。何を作付するんだって言ったら、全部かぼちゃを作付けする。あとは、離農。畑地化になってお金が入ったら離農する。あそこは地震の関係で、全部田んぼを整地したんですよ、国のお金で。それでもう、やめる形にして、離農が多くて、全部かぼちゃになった。これ、新ひだか町では全体的に、畑地化は何町歩ぐらいになっているんでしょうかね。</p> <p>新ひだか町の場合は、畜産関係があるから、ほとんどの人がもう、牧草だよ。だけど将来的にこれ、牧草もそんなに要らなくなってくると思うんだよ。やはり、地域にしたらやっぱりハウスになってくる。手っ取り早いのが1番ハウスだから、金になるのがハウスだから。これからやっぱりいろんな作付け考えていかなきゃならん時代に入っているんだね。町のほうにも色々と、農協さんもそうだけど、勉強していただきたいと思うね。</p>
<p>自治会員E</p>	<p>●●さんは農業委員会の会長という立場で、先々非常に心配している。これは恐らく町の部分で心配していると。自分らが思えば、今回の畑地化の支援というのは、技能給付金だなあと。特にね、高齢化している人達というのは、この機会にもう管理できなくなるんですよ。</p> <p>それで、やっぱり今、再生協議会なんかで、十分検討されていると思うんですけどね。やっぱり農家の人も困難みたいなんですけど、やっぱりやる時期があるんでないのかね。まだ、お金出ているうちはいいんだけどね。これ相当みんな生産者、農家の人も不安だし、やっぱり町も不安だし、農協も不安。どういうふうな方向に行くのか。</p> <p>●●さん言われたように、厚真みたいなケースもある。だから、かぼちゃ植える、あそこで約半分かぼちゃ植えるらしいんだけど、それは収穫するのはほぼ目的でないもんね。放任する。そうってしまったので、あそこは激甚災害であれだけ整備して、新しくなりましたってすぐやっぱそっちの方向に行くのはちょっと、行政としては困る。これからの課題ですね。畑地化のあとどうするか。</p>
<p>大野町長</p>	<p>1番必要なのは、さっきおっしゃったとおり、農家の人たちが地区ごとに集まって、そこに農協と町が入って、ここの農地の作付利用をどうする、ということ、今これ農事組合ってあるんですか。例えばそういう単位で、現場まで行って農協中心になってやらないと駄目だというのが一つですね。それは農政のほうにも、従前から話してあるんで、今までは、大きな牧場さんが牧草刈る</p>

	<p>のに、買い取ったり借りたりしながらやってきたけど、もちろんそれでは済まなくなりますから、それ農政の方にオーダーしてありますので、農協さんと一緒にやると思うんですけど、何よりも、農協さん自体も、やっぱり人がいないというのがあって動けないんですよ。だから、そのの所はみんなで動ける、動けないは別にして、こういう集まりなら、こういう集まりの中で、みんなで話したら、何かいい知恵も出るし1つの方向に向かうような、まとまりもできるんでね、そういうことを続けていくことが必要かなというふうに思いますけどね。</p>
自治会員 E	<p>町にしても農協にしても、振り回されるんだよね。去年の12月28日に畑地化のお金が入った。急にその通達が来てね、やんなさい。それをやる現場のほうかね、混乱すると思うんだよね。限られた人の中で期限決められてやんなさいっていうやり方。本来、これは、許されることではないんだけど、仕方なくやっていると思う。やっぱり町長言われたように、やっぱり地区ごとで集まって、将来のことを語る、そういうことがやっぱり必要だと思うね。</p>
自治会員 F	<p>春立小学校で、外国人を入れるとかというのはどうなのか。あそこを改装して、使うことはできないんですか。</p>
大野町長	<p>春立小学校は、3年ぐらい前から話が来てる人がいるんですよ。けども、その方の都合によって、延びているんですよ。延びているので、誰か使う人いらいますかと、募集はしてるんですけど、実はそういう方がいる物件なんです。だから、今おっしゃったようにあそこを改装して、何か、ちょっと木製のベッドでも作りながら、食堂みたいな作って、自分たちで自炊でみたいな、そんなイメージで使うということはやぶさかではないのかもしれないけども、それを町営でやるかという、そこはちょっと抵抗があると。</p>
自治会員 F	<p>個人がやるって言った時に何か補助みたいなのは。</p>
大野町長	<p>一定程度の人を雇って行くと、町の企業立地促進条例があって、そういうところでやることもできるし、今創業支援と言って、新たな商売をやる人たちに支援金を出すような補助金も去年からやっていて、今年からちょっと多めにやっているんですよ。何かそういうものに合致するようになれば、出る可能性はあります。</p> <p>でも、あそこでかいし、暖めることだけ考えても、大変ですよ。</p>
自治会員 F	<p>外国人10人規模であれば、教室二つで多分足りるんですよ。</p>
大野町長	<p>町としてみれば色々なことは発想できるんですよ。さっき言ったように宿泊施設にして、みんなで自分たちでご飯食べてやるような建物を造って、そこから仕事に行くというのもあるんだけど、如何せん大き過ぎるから、あれは3年ぐらい前から欲しいと言っている人に、何とかお渡ししたいなと思います。</p>

<p>閉会挨拶 大野町長</p>	<p>ありがとうございました。住民の皆さんの言ってることは分かりますんで。ただ一つだけですね、さっき農業の話をしましたけども、これだけブランド化したミニトマトを、これだけの、全国で出してるものがあるもんですから、そこを捨てていくということは、私は皆さん無いと思いますけども、次のものを探した時にそれがブランド化する、というまでには何年もかかるもんですから、そこを上手にですね、増やしていくような形を作りながら、やっぱり今のあるものを大事にするっていうことも、諦めずにですね、進んでいただきたいというふうに思います。ブランドっていうのは大事です。1回無くすると、それをもう1回再構築するためには、少なくとも20年はかかるんだろうというふうに思いますので、できる限りそこを大事にしながら新たなものに取り組んでいただきたい、というふうに思います。本当にざっくばらんな意見交換をありがとうございました。私も勉強になりましたので、また、職員とともにですね、一生懸命前に向きながら仕事をしていきたいというふうに思います。本日はありがとうございました。また、日曜日、顔出しを致しますけどもよろしくお願い申し上げます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>
<p>閉会</p>	<p>18:56 終了</p>

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年2月5日(月) 18:00～19:55
会場	梟舞生活館
自治会名	梟舞連合自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、藤沢教育部長、中島地域振興部長、渡辺地域振興課長、森多地域振興課長補佐 10人</p> <p>【自治会側】 14人(男性9人、女性5人)</p>
資料説明	東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービス終了について
懇談テーマ	<p>① 旧三石温泉跡地の利用について</p> <p>② 三石国保病院について</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開会挨拶	18:00～ 渡辺地域振興課長
連合自治会長挨拶	<p>皆さん、お晩でございます。</p> <p>先月に連合の総会がございまして、この新しい年に向かって、町との懇談を是非したいという皆さんの御要望で開催することとなりました。町がいろいろと考えて、それぞれの意見を聞いた【……聴取不能……】我々は、いろいろ悩みながらも、これからどう、有意義な地域にしていけるかと考えています。我々の道しるべを示していただければ幸いですと思いますので、よろしく願い致します。</p>
町長挨拶	大野町長挨拶
資料説明 上田保健福祉部長	18:08～ 東静内郵便局と本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービス終了について
質疑	特になし
懇談希望テーマ	<p>① 旧三石温泉跡地の利用について</p> <p>② 三石国保病院について</p>
連合自治会長	<p>まず1点目の旧三石温泉跡地の利用について、という項目ですけども、跡地というよりも、以前私どもの連合自治会としての要望意見で、旧温泉、新しく下にいきました蔵三さんの前身ですけれども、この建物について、一つ、解体</p>

	<p>をして、きれいにしていただきたいなという要望意見ということで、出しておりました。即、という訳にもいかんし、アスベストだとかいろいろな問題があるんで、早急に、それらをクリアして解体していただきたいという要望、意見を申し上げていた関係上、それ以降、これを含めてどういうふうに進めるのかなということで、当連合自治会の総会において、再度ということで、いろいろ聞いてみましょうということで、まず1点、テーマとして申し上げます。</p> <p>2点目については一昨年から国保病院の計画を、いろいろ掲載しましたけれども、それについてどのように進展しているのか、あの説明から、どのようになっているかということ、再度、詳しく説明をしていただきたいという要望がございましたので、この2点をテーマとして提案を致します。よろしくお願ひ致します。</p>
<p>懇談希望テーマ 柴田総務部長</p>	<p>① 旧三石温泉跡地の利用について</p> <p>総務部長の柴田と申します。私の方から1点目に、ご質問がありました旧三石温泉の今後の予定と申しますか、町で今進めていることをですね、お話ししたいなと思います。着席のまま失礼致します。</p> <p>今、連合自治会長からもお話あったとおり、旧三石温泉につきましては、平成17年に蔵三ができた時から、ずっと手付かずの状態が残っておりまして、長年、解体して何かに利用できないのかというようなお話をいただいて参りました。町としましては、早くですね、きれいにしてという気持ちもありながらも、なかなかあれだけの建物を壊して、何かを建てるというのには、莫大なお金がかかるということで、なかなか、手を付けられずに、これまで、参りました。そんな中で、日本全国で様々な、地震災害、津波等が発生する中で、この津波の避難に関わる整備をする時に、国から有利な財源を得られるチャンスと申しますか、そういう機会に巡り会いまして、町としましては、それを活用できないかということで、これまで検討を進めて参りました。</p> <p>現在、町で考える計画としましては、今、旧三石温泉の施設を全て解体してですね、地震・津波発生時に、車でも避難できるような、駐車スペースを備えた、避難場所として整備できないかということで、計画を進めてございます。うまく国に認められますと、3分の2程度が、国の財政負担で整備ができるということで、町としましては、何とか、国のほうに認めてもらえるような、計画を作るべくですね、昨年、北海道庁の関係機関とも、協議しながら進めてございます。今イメージしているものを皆様と共有するとすれば、一度、今、上に建っているものを全て壊して、そこを広々とした、駐車場として整備するとともに、備蓄品を倉庫ですとか、トイレですとか、そういうものも備えた中で、対象としましては、皆さんもちろん入っているんですが、旧三石温泉の足元に介護施設もございまして、温泉の宿泊施設、キャンプ場施設等々で、外から来る方も、多く滞在されている。そういうことを踏まえた時に、そういう方々が緊急に車でも逃げられるような環境を整備したいというものでございます。また、国道を走っている車につきましても、緊急的にそこに避難車を寄せられるような、そんな場所にもしていきたいと考えてございます。</p> <p>とはいえ、今、正直に現状を申しますと、まだ国からですね、認められてい</p>

	<p>ません。今、要望活動等も順次行っておりますけども、これが国に認められた暁には、町としましては、次年度令和6年度に、設計をさせていただきまして、その後、令和7年度に今の古い建物を解体して、令和8年度にきれいに整備をして、お使いいただけるような状況にしていきたいなということで、今、取り組んでございます。まだ具体的に、規模ですとか金額ですとか、まだお話できるような段階ではないんですが、何とか6年から3ヵ年で、このお話を、形にしたいなということで、動いておりますので、報告申し上げたいと思います。私からは以上です。</p>
自治会員A	<p>今日はどうもご苦労さまでございます。ありがとうございます。私も、旧三石温泉のところ、大変以前から気にかけていたんですが、今の説明ですと、上にある建物のことで、下の宿泊施設でございますよね。それはどのように、そのまま置くんですか。</p>
柴田総務部長	<p>はい。今の話は、恐らく1段下がった所の宿泊施設。この事ですよ。今、国の方との協議の中では、その1段下がった所については、町として、車が入れるように整備する所と関係無い所ですよ、というようなお話の中で、そこについては財政支援を受けられなさそうなお話をいただいています。となれば、町が自らの単独経費を使ってでもやるかどうかという判断になってくると思いますが、今率直な気持ちとしては、この機会にきれいにしたい、というのが率直な気持ちでございます。今後、国からどれだけの財源が得られるのかを見た中で、その宿泊棟の部分まで、町でやるとしたらどれぐらいの負担になるんだろうか、ということ、はっきりさせた上で、必要な予算を議会に上げていく、ということになります。現時点ではまだ、認められなさそうだというお話が、逆に無いものですから、はっきりとしたことは言えないんですけども、何とか、あそこだけ残って、というような状況にはしたくないなという気持ちで取り組んでいるところでございます。</p>
自治会員A	<p>ありがとうございます。その下の建物は、残した方がいいと思うんですよね。というのは、車だけで移動される方ばかりではないと思うんです。それで、そこをどういうふうな、もう長年ですから、ちょっと改修しなきゃなんないと思うんですけども、そこで何て言うのかな。人々が、そこで避難できるような、そういう場所にするということで、私は壊すというよりも、使える方法で、考えられた方がいいのかなと、下の部分ですね。それとあそこ下の部分は民間の方が建てた訳ではなかったですか。全部町が建てたんだっただけでしょうか。宿泊のところ。</p>
柴田総務部長	<p>今、細かい資料は持って来ておりませんが、全て町の所有になってますので、町の方で建設したものだ、と認識してございます。</p>
自治会員A	<p>ありがとうございます。そうしますと、先ほどのご説明ですと、上の部分は、建物というものは何にも計画は無くても本当に車がたくさん駐車できるという、</p>

<p>柴田総務部長</p>	<p>そういう感じなんですか。</p> <p>イメージとしては、現在の計画とすれば、基本的には今おっしゃったとおり、建物をきれいに壊して、軽舗装をして、車が入って止められるようにするというのが一番なんですけども、そこに、今、考えているのがですね、まず、トイレを整備するのと、あと、一定の備蓄品を受けるような倉庫を造るのと、冬場のことも考えまして、ある程度人数が入る避難施設も置きたいなど計画してございます。そういうものを建てるために壊させてくれ、というお話の中で今やってるんですけども、今、冒頭におっしゃられた、元の宿泊施設なんですけども、私も何度か行ってますけども、なかなか老朽化が激しくて、果たしてこれを再利用できるんだろうか、というのは正直難しいところがあるのかなと思っております。もちろん、使えるものであれば、使う方向性も検討はしてみたいと思っております。現状としてはちょっと難しいかな、と思っております。</p> <p>昨年アスベストの調査をしまして、アスベストもそれなりに入っているということで、解体もそれに配慮しながらやるんですけども、部分的に残してどう使うのかって考えた時には、ちょっと難しいかな、という認識でおります。今のご意見はちゃんと承って、帰りたいと思います。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>ありがとうございます。この件について、もう1点だけお尋ねなんですけれども、この7年の期間の間に、この施設を民間業者にでも譲渡するんですとか、そういうことというのは、町の中で検討した経緯はあるんでしょうか、どうなんでしょうか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>過去の資料を全て持って来ていないので、恐らく当初は、他の民間の方に使っていたきたい、という動きもあったんだと思います。ただ、その後、経年劣化する中で、とても再利用するような状況ではなくなってきておりますので、少なくとも10年、15年の間に、民間の方に活用して貰うような動きをしたことは、記憶してないです。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>② 三石国保病院について</p> <p>三石国保病院の関係でございます。私、保健福祉部長の上田の方でご説明させていただきます。この計画につきましては、町の公立病院経営強化プランというプランでございますけども、令和4年の7月の最初の説明会でスタートを切ってございます。そのあと、いろんなご意見、要望等々いただきまして、そういったものの中身を整理し、議会の中でもいろんな議論がなされて、最終的に、昨年10月に、この三石地区のみで、経過の報告と、プランの内容を改めてご説明させていただきました。</p> <p>その後の動きですけども、今、このプランにつきましては、内容を精査しまして、国の方に提出するという段取りになってございます。国の方では、この</p>

	<p>プランの内容を精査しまして、修正等があれば直した上で確定、という計画の中で位置付けをさせていただきます。あと、10月の説明会でも、お話ししましたが、建物の建て替え、というお話をさせていただきました。その中でスケジュールも説明させていただきましたが、今建物の建て替えについては、新しくどこに建てたらいいのか、という場所の選定をさせていただきます。こちらにつきましては、一般町民等も入りまして、選定委員会を立ち上げた中で、いろんな意見を出して、今検討している、という段階でございます。それが、1月17日に第1回目が行われ、次に第2回目ですけれども、2月21日に予定してございます。この2回目を経まして、3月6日、こちらを今最終回と予定しまして、その中で意見を整理して、町の方に意見を上げていくという流れになっています。町の方では、いただいた意見を踏まえて新しい建設場所を決めていく、という流れになります。それをできれば年度内に行いたい、というところで今、実施してございます。</p> <p>年度明けて、この令和6年度となりましたら今度は建物の実施設計等々に入っていきます。実施設計を行った上で、令和7年、8年度、この2か年をかけて、新しい建物を建てていく、という流れになりまして、令和9年の4月に新しい新たな診療所として、スタートしたいという流れで作業を進めてございます。プランの中身につきましては、これまで説明してきた中で変更はございませんので、改めてご説明致しませんが、今決まっている状況、流れというのは、今、ご説明したとおりでございます。以上でございます。</p>
自治会員A	<p>それでは、病院の件についてお尋ねします。先般も、私の方からお話しさせていただいた経緯があるんですけども、財政の関係から言いますと、三石の町立と静内の町立の赤字ですね。その部分は金額的には静内の方の町立が多いと伺っているんですが、実際のところ、静内の町立をどういうふうにかえたらいいか、というようなことは検討されてこられたのでしょうか。まず、そこを一点お尋ねします。</p>
上田保健福祉部長	<p>静内病院の検討というところで、その検討の度合いといいますか、中身というのが、どの程度のことを想定されているか、わかりませんが、静内病院の方につきましては、無くす無くさないという議論はございませんでした。静内病院は残すという方針でございます。一応、三石地区の病院の病床をまとめた中で、静内病院の方に入院病棟を集約するという流れでございます。</p> <p>三石地区の病院につきましては、無床の診療所として、基本的には外来の強化、それと、訪問診療、訪問看護、こういった部分を主に実施して行く。という中身でございます。その理由というのが、どうしてもその人員の関係、経営状況ではあるんですけども、人員の関係で、うちの病院だけの問題ではないんですけども、全国的にドクターが不足している、看護師が不足している、医療従事者が不足している、こういった問題というのが全国で起きております。当町においても、なかなか厳しい状況でございます。いつも、看護師ですとか、ドクターですとか、そういった方々を募集していますがなかなか応募が無い、ということで働きかけもしておりますが、なかなか見つからない、という現状</p>

	<p>でございます。ですので、そういった医療従事者を集約するという目的もあるんですけども、そういったものを整理しながら、地区から医療を無くさないというのを第一目標に掲げまして、そういったスタッフを整理しながらも運営をしていきたい、と考えてございます。</p> <p>経営状況ですけれども、今、静内病院の方は、黒字に近づいてきている、という状況でございます。これはコロナの交付金等々があったという理由もありますけれども、そういった状況にあると、三石国保病院の方はなかなか苦戦している、というところで、赤字が多く出る見込みでございます。このプランにつきましては、そういった三石国保病院の赤字を圧縮していく、というプランを考えておりますので、それに向けて実施していきたいという考えでございます。</p>
自治会員 A	ありがとうございます。静内の病床は、何十床ですか。
上田保健福祉部長	入院は 58 床です。
自治会員 A	58 ですか。現在はどの程度埋まっているんですか。
上田保健福祉部長	今で言いますと、大体平均で 36 から 38 程度の入院患者がいます。一応、40 床を目標にやっておりますので、それに向けて努力しているという状況でございます。
自治会員 A ・徳洲会病院について	<p>そうですか。三石の国保病院だけのお話じゃなくて、その他のことでちょっとお話ししようかなと思いますが、病院関係なので、今ここで触れたいと思うんですけども、徳洲会病院、先日も北海道新聞に載っておりましたけれども、地盤の関係で、予定していた所から変更になるような、そういうメッセージが新聞には載っていたんですけども、そこを私見まして非常に残念に思いました。それが本当にそういうふうを実施されるのかどうか、そこまで私、分かりませんが、もし、自分の町じゃない所に変更になるということであれば、税収も自分の町には落ちないということもありまして、そこら辺も以前に質問させていただきましたが、徳洲会病院がそういうことで何年か前から、大きな施設を計画するという中で、町としても、民間の病院さんともコミュニケーションを図りながら、どういう形でも自分たちも協力させて欲しい、そういうことでお話し合っているのは設けていたのかどうか、ここの国保もかなり古いですから、当然人口も三石の中で、減ってきていますし、診療所という形も、仕方ないのかなあという部分はあるんですけども、どうもそこには、この合併の時のことが、蘇ってくるんですね。そういうこともあって徳洲会病院との、そういう兼ね合っているのは、お話の中では、されているのかどうか、そこら辺も、国保病院だけではないんですけども、もし良ければ、教えていただきたいと思います。</p>
上田保健福祉部長	この計画を作る前に、日高徳洲会病院だけということではなくて、町内の医療機関、そちらの方の院長先生等に、お話を伺っておりまして、その中で、町

	<p>立病院の存在といいますか意義っていうのは、一定程度認められているということでございます。町内の大きな病院では日高德洲会病院ですが、そちらの方にも行ってお話をしている、という状況で、コミュニケーションを取っている状況にはございます。今、日高德洲会病院の方が、199床というところで、100床程度増やしたいと考えていたようですけども、今回の報道等で見ると、現状維持という内容でございます。それを踏まえてどうこうというお話というのは特にしていないんですけども、町の方で協力できる範囲については、存続に向けて協力していく、という状況でございますし、町と致しましても、どうしても救急の受入れの部分で、徳洲会病院が大きな存在でございますので、その辺で協力体制で一緒にやっていきたいという考えでありますので、それを含めて、コミュニケーションを取っていきたいという考えでございます。</p>
<p>自治会員A ・三石の有床診療について</p>	<p>はい、ありがとうございます。三石が診療所になった場合には、基本的には、診療所でも、入院室というのは何床か置いてもいいという決まりがあったんじゃないでしょうか、どうなんですか。そこら辺ちょっと知識的に分かってないんですけど、教えてください。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>有床診療所は認められています。ですので、有床診療所という方法もあるんですけども、有床にすると、どうしてもスタッフを揃えなきゃならない、という問題が出てきます。現状を申し上げますと、中々きちっとやりくりするのも大変な状況でございます。看護師も不足してまして、何とか入院、現状の入院を維持する、今の外来を維持するというのが手いっぱいな状況でございます。検査技師も、1人おりますけども、平日の時間内しか勤務できないという状況にありますので、どうしても夜間とか、休日、そういった場合の救急の受け入れというのはできないという状況でございます。なので、そこで、有床で残すのが可能であれば、当然そういう方向でいくんですけども、なかなか難しい、厳しいということで、内部で検討させていただきましたので、無床の診療所としてやっていきたい、という考えでございます。</p>
<p>自治会員A ・三石診療所の用地選定について</p>	<p>進めているのであれば、私どもが、こういうふうに、ああいうふうにとお願いをしても、進めているんでしょうから。この件について一つ、町立病院の場所の件ですけども、世の中のいろんな方々のお話を伺うところによりますと、遠いうちじゃないうちに、大きなものが来るのではないのかという、そういう、津波だとか災害のことですけども、そういうお話も耳にすることあるんですが、やはりそういうことも、当然、計画される皆さんは念頭に置かれて、場所の選定とかは当然、低いところよりも高いところが安全という、そういうことも視野に入れながら進めていただければと思います。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>用地の選定につきましては、地域振興課の方で中心になって、今動いているんですけども、そのメンバーの中に、北海道科学大学の副学長という専門の先生もいらっしゃいます。その先生は都市計画がメインでございますので、そういった防災に強いまちづくりですとか、そういったものが専門だと思っております。</p>

	<p>で、それは、メンバーにいる町民の方々のご意見もありますので、その辺を踏まえた中での答えを導いていくのかなと思っておりますので、私どもは、答えに対して、可能であればそのようにしますし、例えば、選んだ場所が民地であって、その民地の場所で売ってくれないということになれば、いざ場所を探さなきゃならないという状況もありますので、その辺というのは結果を見ながら、検討していきたいと思っております。</p>
<p>意見交換 自治会員B ・防災について</p>	<p>昨年度も、町の防災減災、対策について質問したんですけど、なかなか予算の関係で、この梺舞地区で一番住んでいる人間として、心配しているのは津波なんですね。津波の一時避難所としてその梺舞の墓地と、旧三石温泉が今、問題になっている。その2ヶ所が指定されて、何とかそこに、冬場のそういう津波なんかを想定して、暖房だとかそういうものを用意してくれないかということで、聞いたんですけど、どうも、一次避難所は三石地区、去年配付したあのハザードマップを見ると、結構あるんですよ。そういうことで、予算の関係でそういうものはできないと。そういう答弁だったんですけど、ところが、今年正月早々、能登半島沖地震が起きてですね、石川県の知事が、想定外のことが起きているという。そして、石川県は、安全な所です。だから、企業もたくさん来てくださいというような、そういうPRをしていたと思うんですけど、どうもそういう安全神話というのは、もう科学的なデータに基づくと、考えられないというか、だから、いつ、こういう地震だとか津波が起きて、ある程度の備えというかな、そういうものが必要でないかなと、思っているんです。</p> <p>能登半島地震を受けて、北海道の防災会議で、1月の16日にですね、冬場のそういう寒冷地のことについて、市町村に検討するよにといい、そういう通達が、出たということを見まして、それに対して、町はどのような対策を取っているのか。寒冷地ですね、当然段ボールだとかそういう毛布の備品だとか、そういうものがあると思うんですけど、そういうことについて、どういうふうを考えているのか、それが1点です。</p> <p>もう1点ですね、昨年度、この防災のハンドブックができたことと、避難訓練を、この梺舞地区で10月に、町で、新ひだか町で唯一、ここの地域だけ避難訓練を実施してもらったという、そういう経緯があります。参加した人のアンケートによると、非常に良かったと、いろんな段ボールベッドだとか、そういうものを作ったりと良かったですね。実際に、梺舞の干場で、歩いて、どれぐらいかかるのかだとか、総じて大変良かったという、そういうアンケート結果が出ていました。それで、2点目の質問ですけど、新年度の防災・減災対策について、町として、ハード面だとかソフト面で、どんなことを考えているのか、それについて伺いたいと思います。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>防災担当なので、私、総務部長の柴田の方からお答え致します。大きく、ご質問2点あったかと思うんですけども、まずこの梺舞の墓所ですね、避難については昨年も私、同じご質問をお受けして、私が答えたと思います。それで、この問題を考える時に、まず大前提として頭の整理をしていただきたいんです</p>

けども、一時避難場所というのと、避難場所というのがございます。この梶舞墓所は一時避難場所なんですけども、一時避難というのは、一時津波から身を守るために、高い所にちょっと逃げるといった場所でございます。これは町が指定しているものでも、確か30近くありますし、指定していないものを含めると、無数に町内に点在してございます。そこには、長期間寒さを耐え忍んで滞在するという想定をしていないものですから、そこに皆様が長時間、暖をとってそこで過ごされるということを、現状では想定はしてございません。津波が引いたその瞬間から、町がその規模によってどこを指定するか分かりませんが、正式な避難場所というものを指定して、そこに、現状、先ほど寒さ対策の話もありましたけども、一定数の毛布ですとか、発電機、ストーブ等々、それを集約しながらですね、皆様の避難生活を支援できるような体制を整備してございます。もちろん、全町民が逃げるといった想定は、そこまでの備えができていないんですけども、一定数の住民が避難して来る準備はしてございます。そういう意味で、予算の問題、というのは確かにあるのかもしれませんが、そもそも第一時避難場所に長期滞在する想定をしていないものですから、そこに、今後も暖を取る施設を整備するという計画は、今の段階では、多分考えないだろうと思ってございます。なので、御理解いただきたいとしか言いようがないんですけども、まずは、津波到達まで十分な時間があればですね、その墓所に逃げるのではなくて、もっとこちらで言えば、本桐の方に逃げるですとか、市街地に行く余裕があれば、三石中学校・小学校に行くとかですね、より安全な方に移動していただきたいと思うんですけども、今回の能登地震をみても、本当に短時間のうちに津波が来るということで、もうそんなとこまで行っている暇がない、そういう時に、ああいう高いところに一旦逃げただいて、水が引いた後に、移動していただく、というようなイメージであります。

それと2点目の、新年度の防災対策ということですけども、先ほど、1点目でご説明した部分とも少し重複しますが、梶舞地区でいいますと、まず旧三石温泉跡地を、車でも避難できる場所にするための、設計まで何とか漕ぎ着けたいなと思っています。これは当然国に認められなければ、全額町で手が出るような、数億単位のお金がかかって参りますので、国の支援が取ればということですけども、何とかそこまで行きたいなと思っております。

あと、継続的にやっております、防災啓発等のソフト面ですけども、今、ここ一年に相当な数の自治会さんを回ってですね、防災講話ですとか、避難訓練のお手伝いですとか、その際に自主防災組織の設立ですとか、そういうものを呼びかけながら来ておりますけども、やはり、殆どの地震を見ましても、役場職員だけが安全ですぐ動ける状況にあると想定する方がおかしな状況でございまして、全員が被災者になった時に、誰も手伝いや助けに行けないようなケースというのは、当然起きてしまうと思います。そういう時にはやはり、自分の身は自分で守るという、自助とか良く言いますが、そういうことの意識をポツポツでも高めていかなければならないと思っていますのと、もう一つ、皆様、ご近所の、例えば足の悪い高齢者の方ですとか、そういう所を近所の力で救っていただくような、そういう動きが無ければ、多くの命は助けられない

<p>自治会員 B ・旧梶舞小の避難所 利用について</p>	<p>んだらうと思っています。もちろん役場とすれば、できる限りの対応策は平時に考えておりますけども、やはりなかなか平時に考えた通りにいかないというのも事実でございますので、その辺は、誤解はして欲しくないんですけども、いい意味で、役場を当てにしないぐらいの気持ちを持たれていた方が、多くの命を救えるのかなと考えてございます。ということで、1点目については今後も今のところ一時避難場所に暖房施設とかの考えは持っておりませんし、2点目の防災対策については、これはもう永遠の取組みですので、尽きることなくやっていきたいと思っておりますし、こういう機会の皆様を聞きながら、不足する部分はどんどん補っていききたいと思っておりますので、何とかご理解いただきたいと思っております。</p> <p>去年と同じ様な答弁ですよ。それでこの梶舞自治会の総会でも、公助というかな、そういう感じで当てにできないと。今回の能登半島地震でも、国のなんというかな、データを基にして、それを待ってて石川県知事が想定外のことが起きたと、そういうことで何か言ってますけど、新潟県の知事は、国のそういう指針を待たないでね、自分たちの県で、もう取り組んでいたっていうね。それ避難の何ていうかな、想定計画というかな。そういうことをなさっている。それで、自治会としてはどうしたらいいだろうかという、公助は当てにできないというか、それから、共助っていうか、地域住民を、どのようにしてね、障がい者だとか、老人だとか、そういう、弱者と言われる人たちをどのようにしてやるのか、という辺りも自治会で話題にもなったんですが、梶舞小学校は津波の避難所ではないんですよ。一旦この漁港だとか、この辺に住んでいる人たちはまず、墓地に逃げてくださいと。それから収まったら、避難所の本桐の生活館だとか、美野和の生活館の方に、逃げるというかな。だけど、今回の能登半島のあれを見ると、道路は寸断されちゃうしね、こんなことでいいんだらうかという、そういう危険感を持っているんですよ。この梶舞小学校は、津波の避難場所、避難所ではないんですよ。大雨と洪水の避難場所に、このマップを見るとなっているんですね。その高さがちょっと分からないもんですから、墓地等、三石、旧三石温泉では、高さは三石温泉が高いというようなことをちょっと聞いたことあるんですね。この何とかそういう暖房だとか寒さをしのぐために、この旧梶舞小学校の2階でもいいから利用できないかと考えているんですけど、その辺はどのように考えてますか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>はい。おっしゃるとおり、実際の様子ほとんど、結構不安が募る一方かなと思っております。私も見ていて、あれがうちの町で起きたらどうなるんだらうと思ったらなかなか対応できないことが多いのかなと思っております。今具体的には、梶舞小学校なんですけども、あの場所は今、津波のシミュレーションで言いますと、最大10m未満の津波が来ますよ、ということですので、恐らく、そこで3階にも届くぐらいの津波が最大来るとなりますと、あそこを避難場所として、町が指定することというのはちょっと考えにくいかなと思っております。梶舞共同墓地につきましては、津波のシミュレーションでは津波は来ないという、色で言えば白地の所になります。高さ、旧三石温泉とどっちが高いかというのと、</p>

	<p>ちょっと今、数字持ってませんけども、旧三石温泉が標高 23m というので、多分あちらの方が高いのかな。ちょっと今感覚ですけど、思っております。それで、梟舞で大きな地震が起きて、そこで津波警報なんかが出ると、恐らく時間的な余裕はほとんど無いので、もちろんご自分の身とご家族、余裕があれば近所のお年寄りなりを連れて、墓所にまず行くのが精いっぱいなのかなと思います。一度波が来て、引いた後に、今度は道路の状況ですよね。ここでは橋も、どうなっているか分からない状況なので、最悪、徒歩で、できるだけ奥に行くような状況というのは、容易に想定できるかなと思います。町としましては、影響を受けた住民の数ですとか、そういうのを瞬時に把握できる状況じゃないですけども、ある程度想定の中で、収容できる規模、機能を持った場所を避難場所として指定して、そこに、食料ですとか風呂ですとかを寄せて来てですね、何とか、皆様の避難生活、避難環境を整えていくということになる、と思っております。お答えになっているでしょうか。</p>
<p>連合自治会長</p>	<p>もう日本全国至る所、いつ地震が起きてもおかしくない。津波が発生するかも知れない。特にこういう海岸線では、津波はもう必ず来ると、そういう想定の下でやらなきゃならない。そういうハード面ばかりじゃなくて、今おっしゃられたようにソフト面で、自分の命は自分で守るという自助、それをまずベースにして、連合自治会として、どんなことができるんだろうかという観点で、去年は避難訓練だとか、そういうことをやらせて貰いました。連合自治会としてもどうすべきかということ、考えていかなきゃならないかなと考えています。ありがとうございました。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>今後も、地域の方でこういう防災について、考える機会ですとか、話し合う機会がありましたら、いつでもお声掛けください。うちの防災担当スタッフが同席させていただきまして、必要であれば講話もしますし、皆様と一緒に知恵を出しながら、例えばお手伝いが必要な方の避難計画をみんなで作ってみたりだとか、そういう所は、そういう仕事ですから、すぐにお邪魔させていただいて、ご協力したいと思いますので、いつでもお声掛けいただきたいなと思います。</p>
<p>連合自治会長 ・連合自治会内でも地区によって事情が異なる</p>	<p>3月11日、これを契機に防災の機運が町内一斉に高まったと思います。そういうことで、うちの地区も手を上げてやったんですけども、訓練も3年経てば忘れるという流れで、ようやく火がついて、●●さんの行動が去年出たんですよ。そういうことで、去年の総会で、今年はやってみましょうかということになったので、お願いしてやらせていただきました。地元で薄れた防災意識に、ようやく火がついた状態なんですよ。でも、この気持ちはどう進んでいくかということは、やはり焦るな！焦るな！でいかないと、最初からポンとね、答えを出すよりも、機運を高めて、周りを引き込んで次の段階を踏んでいった方が、より効果が上がるのではないかな、と自分は思います。</p> <p>地域、地区によって、この災害に対する感覚や受け止め方が違うんですよ、連合の中でも。地盤が良ければさほど揺れないだろうとか、泥炭地に行ったら、</p>

<p>自治会員C ・梟舞地区の地盤と避難場所について</p>	<p>それこそね、(基礎杭を?) 1mも埋めても吹っ飛ばすような揺れになるんですよ。そういうことを考えたらね、その地区、コミュニティで考えてくれと。逃げる場所もどうなのかということで、周りの人を引き込んで考えて行動しましょうや、というのが今の段階ですよ。</p> <p>(連合自治会の地区で) 集まって来て、最終的にこんなことにしましょうという、その話はするけれども、やっぱり地区、地区で(判断を)お願いをしたいなと思います。</p> <p>●●と申します。今日はどうもご苦労様でございます。今、会長の言ったのが本当だと思いますよ。何事も。私もここで生まれて、ここでもう84年おります。そしたら、梟舞の地盤というものは、もう十分知っております。なぜ墓所が避難所になるのかと、それが不思議でどうもならない。なぜかというのは、この間の地震、1番最後の地震の時には、●●●●さんで勤めておりました。そのとき本場から、墓所の方にも、牧場ありますので、来た時に一番感じたことは、その隣の住宅、●●さんの間の道路がもう30cmほど割れております。それで、深さも1m程ありました。そして墓所に向かって、まだ100m程行った辺りでもまたそのような現象、それは、先ほど会長も言われたとおり、地盤が地盤なんです。墓所の上り口までが谷地なんです。ですから、ここで地盤のいい所というのは、国道を境にして、浜側の地盤が良いです。山側は全部、泥炭地だと思って差し支えないと思う。ですから、墓所が、避難場所に一時本当に近くの者が逃げるんなら差し支えないんです。ただ、●●さんとかの所がどこに逃げようとしてるのか私分からないんですけど、逃げるとしたら墓所じゃなくて、できれば、ここから国道に、神社に上るか、それと本桐入り口から本桐に向かった●●●●さんの牧場の上に行く、というのが一番地盤のいい所なんです。ですから、もし冬でも、夏でも夜、地震が来た時には、墓所に行くということは絶対俺はやめて欲しいと思う。ですから、除雪も今いらぬし、何もいらぬけど、個人的にどこに逃げるかっていうの、先ほど役場の方からも説明あったとおり、それが一番大事だと思います。それで、今先生の家建ってるあたりが海拔8mなんです。それから道路、上になりますと、結構高さもあるし、あそこまで万が一、波が来た場合、梟舞全滅、特にこの小学校でも、柱だけ残る位だと私は思っています。ですから、それだけ遠くに行けるぐらいだったら、やはり場所のいいところまで逃げる。近かったらほとんど車も乗れないはず。電信柱は倒れ、また線も垂れ下がって、ほとんど彷徨しかできない。ですから、余り墓所のところの避難所というのは、私は昔から見てて芳しくないと思うんですけど、これは私だけの考えだけど、皆さんどう考えるか分かりませんが、できるだけ避けた方がいいと私は思います。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>はい、今のお話、多分その通りだと思います。私、ここに住んでいる訳ではなくて、役場という中で、例えば、標高ですとか、その数値を見ながら設定をしている訳ですけども、今指定している所よりもいい所がある、あそこがいいってというのは、皆さんのそれぞれの経験値の中で、お分かりになっている所があるのかなあとと思います。そこは、役場としても、いや、墓所じゃないから困</p>

<p>自治会員D ・防災行政無線について</p>	<p>りますということではないんですが、今、町として指定している所の中で、こういう高い所があります、ああいう高い所がありますという情報としては、どんどん出していきたく思いますし、これを2ヶ所3ヶ所と、増やしていくこと自体はいいことだと思うんです。ただ、現実的には民間の土地を勝手に指定できないですとか、いろいろありますけども、そういう情報をどんどん教えていただく中で、この一時避難所マークが増えていけば、皆様が、地震が起きた時にどこにいるのか、より良い逃げる場所としての情報が増えますので、いいことかなと思いますので、今後いろいろ教えていただきながら、このマップも充実させていけたらいいのかな、と思いながら聞いていました。</p> <p>私の個人としての意見ね。町に聞きたいことがある。それというのは、防犯のチャイムがありますが、それが、去年の何月か分かりませんが、鳴ったんだよ。チャイムは、避難の時に鳴るもんなんだけども、どうしたのかなあと、座ったまま立ってなくなってしまったんだよ。それで、何事もなく終わったんだけど、その内容も聞こえないの。それで、何かあったんでないのかしらと思って心配していたら、そのまんま流れなかったからね。そしたら今度また、2、3日したらまた鳴りました。そうしたらね、私も、もうびっくりして、ようやくだったけど、内容を聞かないと分からないと思って玄関まで出たの。そしたら何とね、漁協の、昆布入札と時間と日にちを放送してたの。それはね、町が、漁協に委託したのか。町で関係が無いものか。それは私聞きたいの、やっぱりね避難の時には必ず昔からあれを流すようになってるの。そしたらね、もしチリで地震が起きて、津波がここに来たって町長さんも前にも話してくれましたよね。それなのに、そういうことと公私混同になったら、私たちはね、歳いってるから、もういいようなもんだけども、まだこれからの若い人たちがね、公私混同になったらさ、あれを、どうして町で漁協に委託してるのか、そこをはっきりしてもらわないと。避難のあれは流してもいいの。だけどね、その拾い昆布の入札の日にち流すってことは、非常に良くないと思うよ私。それでね、熊が出たとか、そういう時に流して貰いたい。あれはどこに委託してんだろう。役場でないよ。どうなんだろう。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>はい。ちょっと幾つかお話あったんですけど、防災無線のことだと思いますので、私の方から、お答えさせていただきますけども、実は、役場の防災無線は、今事実として、漁組と共用してます。町と漁組と一緒に使ってます。ちょっと事情がありまして、電波法という法律がありまして、電波法の中で、電波は市町村に一波しか、お分けできないとか振り分けられませんということで、役場で一波、漁組で一波で、周波数を貰えれば、別々に無線組むことも物理的には可能なんですけども、なかなかそうはいかないということで、同じ一波の中で、漁業者に対する連絡もしてますし、我々防災の連絡もしているということで、今、自治会員Dさんのお母さんにはちょっと紛らわしい情報周知になってしまっているんだと思いますけども、事情としてはそういうことなんです。なので、漁業の関係の放送は漁組の方でやって、役場から委託とかではなくて、漁組が独自の判断でやってる放送でございます。一方、さっき熊の話もありま</p>

<p>自治会員D</p>	<p>したけども、どの段階になれば、広くですね、無線で周知すればいいのか、というのはなかなか判断も難しいんですけども、町とすれば、全域に不安をおおるような放送ではなくて、実際に熊が出没したエリアを見極めながらですね、危険が及びそうなエリアに、例えば広報車を走らせたり、パトロールしたりということで、皆様の安全を守っているのが実態です。なので、広く放送ということは今してはいないんですけども、町としては、そういうエリアを見極めながら、危険の周知をしているということで、ご理解いただければなあと思っております。</p> <p>それはね、分かるんだけど昔からね、漁協の個人的なあれを放送するものではないと思ってたから、やっぱり避難の時に使うものだと思ってるから、もうびっくりしましたよ。だからね私は、もうこれからもそういうことの無いようにしてもらいたいと思って今意見出したんですけども。もう昔からね、そんな避難とかそういうふうに使ってたけども、津波とかね。もうその時聞いた時にショックでしたよ。びっくりと心臓にも悪かった、インターホンが鳴った時に、もう本当にね、残念なことだった。だからね、そこを町もよく考えてね、そんな、鳧舞の自治会の総会の時でも、ちゃんと紙に印刷して回してるでしょ。漁協の拾い昆布のね、人数が何人いるか分からないけども、例えば今携帯も出てる、そんな大事なインターホンを鳴らして放送するまででもないと思うよ、私。だから、そこら辺はよく町長さん考えてください。</p>
<p>大野町長</p>	<p>本当びっくりするというのはね、分からない訳ではないですよ。僕も、爺さん婆さん鳧舞にいたからね、子どもの頃来たら、黒い電話の有線の所から音が鳴る訳ですよ。きっとご存じの方いると思うんですけど、ああいう電話が、各漁師の家にはあってですね、そこから漁組の方がきつとですね連絡事項で入れてくると思うんですよ。受話器を置いていても、音が出てくるような黒い電話だったんですよ。昔はそういうやつで、いろんな連絡をしていて、その後、防災無線のタワーをつけてね、そのタワーで連絡するようになったと思うんですよ。例えば北朝鮮からミサイルが飛んで来ました。弾道ミサイルが飛んで来ましたとなったら、アラートと言って自動的に、喋って無いですから、音が鳴りますから、ピーッ、ピーッって、だから、そういうことになった時に、これやばいぞと思ってくれれば、多分いいですよ。ですから、そういう漁協が使っているというのは業務上ですね、必要なその内容は別ですよ。内容は別ですけども漁協さんが使うというような仕組みになってるんで、そこは理解していただいて、本当にびっくりする時には、聞いたこともないような音、鳴るはずですから、そこだけ注意してくればいいのかなと思います。あと、先ほどから、災害の話がずっと出てましてね、最後の時に、僕お話ししようかなと思ったんですけど、ついでだからお話ししますけど、僕ら母親から教えてもらったのは、地震があつたら、まず、戸を開ける。次は、戸を開けて逃げられないんだったら、トイレに入る。その次に外に出れるんだったら林に入れて言われたんですよ。津波の時には川には絶対近寄るなって、この四つだけですね、子どもの頃に言われて、今でも覚えてますよ。今もう時代が違うし住宅事情も</p>

	<p>違うしね。そんなことは全部適用する訳じゃないですけども。やっぱりそういうものを皆さん地域の中で、若い人たちにも、そういうことを教えながら、隣にこの防災意識というのを高めていくことがすごく重要ななと思っています。本当に能登半島のやつを見ていると、あれを想定するとか想定しないとかそういう次元の問題ではなくて、ああいうふうになったら何もできないんですよ。1人じゃ何もできない。やっぱり助け合うことが必要だというふうに思いますんでね。先ほど連合自治会の中で、それぞれ地区によって違うでしょうというお話が会長からもありましたけど、まさにそのとおりだと思いますんで、皆様方集まって、何か相談する時には、役場の防災の方に、そういう担当の職員がおりますんでね、ぜひ呼んでいただいて、その中に入って一生懸命、勉強会なりをしていただければと思っていますんで、よろしくお願ひします。母さんよろしいですか。よろしくお願ひします</p>
大野町長	<p>熊はね、出たところにみんなハンターさんとか出てもらって、そこで巡回してチェックしていますから。だから母さんの家に、「ピン、ポン」熊が出たよ、っていかない限り大丈夫ですから。熊出たところはね、すぐハンターさんが行って、ハンターさんずっとね、調査してくれるんです。それで例えば学校が近くにあって、町の広報車を出して、熊が出ましたよとか、あるいは教育委員会では、やばい時には父兄に迎えに来てくださいとか、そういうふうになってますから、母さんの家に「ピン、ポン」って熊出たよ、となったらその時本当に大変ですから、それ以外大丈夫だと思って、はい。</p>
自治会員D	<p>そんな時に流さないでね。とんでもない。昆布の出荷のあれを流さないで。</p>
大野町長	<p>いや、だから、昆布の放送の音と、本当にダメな時の音って違いますから。</p>
自治会員D	<p>それがね、最初に流す前に、部落に回覧が回ってるなら分かるよ。いきなり鳴ったら、何か起きたと思う。やっぱり、昔からそうだった。</p>
大野町長	<p>今時代変わっているから。音が変わっているから、よろしくお願ひします。</p>
自治会員A ・徳洲会病院の 移転について	<p>すいません。先ほどの関連してるんですけども、徳洲会のお話、ちょっと1点質問させていただきます。どの程度まで町の方で把握してるか分かりませんが、静内町内の一番最初の計画した所でない、同じ静内の中の所なのか、全く静内外の所になるのか、そこら辺は把握してらっしゃるのかどうか。</p>
上田保健福祉部長	<p>基本的には報道が出ている、新聞に出た程度しか、町の方では押さえていないというのがまず一つ。あと町の方に、今の場所が駄目だということで、どこか良い場所ありませんか、という相談はありました。ありましたので、町の方で、例えばこんな場所どうでしょうか、というご案内はしています。ですので、今の徳洲会さんの方に提示している、という段階でございます。あと新冠町さんの名前も出ていたんですよ。新聞の中で、そちらというのは、直接</p>

	<p>しゃべった訳ではないんですけども、基本は、新ひだか町静内地区の今の病院のある近くといたしますか、あの辺りでどこか探したい。ただ、場所が無かった時には、新冠町さんも含めて広域に広い範囲でいい場所を探したい、というお話はいただいております。それで今の段階は、町の方からですね、こういった場所どうでしょうか、という提示をしている状況でございます。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>そうすると、どうでしょうかね、という場所はどうなんですか。地盤ですとか、高さでいうとちょっと高い所ですとか、どういう所、町の土地なんですか。民間の土地でもね、何とか町の方も頑張っって、隣町ですから、距離的にはそんなに変わらないと思うんですけども、やっぱり税収がかなり変わってくると思うんですね、よその町さんに行かれてしまうと。何だったら三石に来て欲しいな、高台の所の土地があるんで。いや私自分で考えていましたけれども、あの高い場所、ここは安全らしい。そうすると今診療所云々っていうお金を使うのもどうかなあとか、一人でちょっと考えていたんですけども、ぜひ、その辺はね、頑張っって欲しいなと思います。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>はい相談を受けている場所というのが、どうしてもその新ひだか町の、静内地区の今の病院がある場所の近くが本当はいいなという所で、ただ、一定のすごい広い面積が必要になりますから、その面積が入るような場所で、町の土地だとか、民間の土地だとか関係無くですね、そういった場所が、ある程度一定以上の地盤のいい所、あと、浸水の区域もありますので、そういった所の情報もあわせてお示しさせていただいて、うちの町としては残っって欲しいです。当然残っって欲しいという気持ちがありますので、そういった協力をしながら、その中でまた徳洲会さんの方から、こういったことをどのようにしようという相談を受けた時には、町としては全面的に協力していきたい、という考えでございます。</p>
<p>自治会員A ・いじめについて</p>	<p>もう1点、お尋ねしたいんですけども、本当に私たちの時代とは変わっって、社会の流れが変わり、人と人とのコミュニケーションも変わり、随分変わっって来たなというのは痛感しております。職場の中でもいじめ。ご本人がいじめられている、というふうに思えば、大変なことになることもたくさんあると思うんですね。先日、職員の方もお亡くなりになられたようですけども、学校関係の子どもさん方の中でのいじめ、学校に行けなくなっているですとか、家庭の問題もあるんでしょうけれども、あと職場の中でのそういうことなど、どうなんでしょうか。ざっくばらんに教えていただきたいと思います。</p>
<p>藤沢教育部長</p>	<p>はい、教育部の藤沢でございます。学校のお話がありましたので、学校の関係については、私の方からお答えさせていただきます。いじめに関する対策については、各学校にお任せして、早期に発見して、早期に対応するというやり方しておりますし、これにつきましては、早期発見することを、子どもたちの様子をまずはつぶさに見ていながら、どういう状況なのか、というところをまず発見することが、いじめの対策になるのかな、というところがありますの</p>

<p>柴田総務部長</p>	<p>で、うちの教育長からも各学校長と共に、子どもたちの様子をよくよく見るようにということで、指導させていただいているところでございます。また、重大ないじめが起きた場合については、学校に任せるだけではなく、教育委員会サイドも作業に入って行って、指導主事なんかもおりますので、指導主事の指導だとか、それから、教育委員会自らが学校に入ってヒアリングをするような対策を取っていく予定でございます。</p> <p>職場のお話があったんですけども、これはいじめとか、そういうことではなくて、職場の中で、最近の言葉で言うとハラスメントというようなことがたくさんあると思いますし、同じ事象でも人によって感じ方も違いますので、一概に何か決まりを決めるとかいうのは難しいんですけども、近年ではメンタルがやられて、長期に休む方なんかも結構いらっしゃいますので、色々コミュニケーションを取ることを大切にしています。</p> <p>具体的にいうと、例えば役場に入った新人職員、これについては、入った時は仕事分からないという不安の中で、中には厳しい言い方をする先輩上司もいるようなこともあると思いますので、そこは、今、制度的にですね、面倒を見る先輩をつけて、毎月のように「どうだい仕事？」という様なコミュニケーションを取りながら、職場に馴染んでいって貰うという工夫もしていますし、私ども総務課、人事サイドではですね、個別に困っていることも含めて、人事のヒアリングというものをやっています。そこで、今、職場の中で抱えてるストレスですとか、そういうものも含めてお伺いしながらですね、職場としてできることはやっているという様な感じで、これが、いじめとは直結しませんけども、職員が元気で働けるような環境づくりには、努めているところでございます。</p>
<p>自治会員A ・町長在庁日について</p>	<p>私の方から最後になりますけれども、町長さん、副町長さんお見えなので、一つ提案なんですけれども、大野町政が始まって以来、以前の町長の場合は三石の方に毎月でしたか、来て、時間を取って下さって、そういうスケジュールを作っていただきました。現在は、そういう状態は無いようなんですけれども、町長だけではなくても副町長さんもいらっしゃいますので、どんなものでしょうね、何か月かに1回でも、三石の庁舎の方に、顔を見ながら、座談しながら、座談が仕事に大いに生きる場合もあると思いますが、いかがなものでしょうか。提案なんですけれども。</p>
<p>田中副町長</p>	<p>以前やっていた町長在庁日だったと思いますけど、たしか月1回木曜日の午前中、やっていたかと思うんですけど、実は私は以前に三石勤務時代に地域振興課長をやっておりまして、担当やっておりました。実は、いらしてくれる方がですね、いなくなってます。町長、副町長に来ていただいたんですけど、すいません、今日は誰もいません、という日がですね、何か月も続きまして、そのうち大野町長に変わられてですね、あまり効果は無かったかなということで、その時にそういう経緯もあってですね、やめたのは、これ事実としてあるんです。ただ、改めて、もし私で良ければ時間を見てですね。私、実は合併してす</p>

<p>自治会員A</p>	<p>ぐ位に3年、●●さんは良くご存知だと思うんですけど、最初建設課に3年勤務しております、そのあと1回出て、次に地域振興課長としてちょうど庁舎建てる時に担当になって、でき上がったら戻されちゃったんですけど、5年ほど務めております、実は新庁舎が大好きなんで、ぜひ、時間があればですね、機会をみて行けたら行くようにはしたいと思いますが、なぜ無くなったか、というのはそういう事情もございますので、ご理解いただけたらと思います。</p> <p>ぜひ、いらしてね、皆さんとお話できるような機会を。それと町職員の皆さんにもだいぶ何年も前に私、デスクワークばかりしてても、なかなか町民の良いこと悪いこと、なかなか見えないんだよと。だからグループを作って、こっちの課1人あっちの課1人っていうふうにして、グループ作って今日はこっち方面へ行こうか、あっち方面行こうかと言って、そして、お宅の家にお邪魔して、いろんなお話を聞かしてくださいというふうにしたら、お茶飲みながら、お茶やお茶菓子ぐらいは出すよと、そういうふうにして、庁舎内ばかりにいるよりも、やっぱり外の空気を吸いながら、町民と忌憚のない話をするという機会をぜひ作るように、職員の皆さんへ働きかけなさいっていうお話しをしたことあるんですよ。そういうこともちょっと頭の中に入れて工夫されると、職員の皆さんも働きがいがある以上、活力が出るかと思えますので、これもあわせてお話しさせていただきました。ありがとうございます。</p>
<p>自治会員B ・防災行政無線について</p>	<p>さっきの自治会員Dさんのね。無線のことなんですけど、やっぱり今の時代は、弱い人だとか、障がいを持ってる人だとか、そういう人に配慮しなきゃ駄目だ。もう、それで、その無線で、ビクビクする人もいます。現実にね。漁協の広報か何か知りませんが、その人たちと打合せをして、例えば放送する前に何か違う音楽を流すだとか、そういう工夫なんかをできないでしょうか。そういうことにちょっと配慮して貰いたいと思っているんですけど、どうですか。</p>
<p>大野町長</p>	<p>漁協さんとお話しすることはできると思います。今おっしゃったように、何か音楽流してからお話しして欲しいだとか、そういうことというのはできると思います。部長さんの方と、担当の方で話しするように言っておきます。ただその結果どうなるか、というのは、また別な問題ですけど、話だけはさせて貰う様に考えたいと思います。</p>
<p>自治会員E ・温泉券について</p>	<p>ちょっとついで話なんですけども、温泉の無料券ってありますよね。町長は貰ってはいない？ 若いもんな。ということでね、全体的に、幾らぐらいあれ出ているんだろうね。予算として出て、そして、実際はどれだけ回収してるのか、ということを知るんだっただけでも、こういう仕事やっていると予算余りするから、これにちょっと使おうかっていう、横長しの悪い癖があるんですよ。ですから、予算がこれだけでも、ここで浮いたから、次いでにこれをやろうとかという話も、上になればさ、悪い頭使うんだよね。</p>

大野町長	<p>役場の場合、全然それは無いです。僕も予算付いて、安く上がったら次のやつ何か使おうと。できればいいですけど、そういうの全部取っておいて、3月に、いろんなところで赤字額が出てきますよね。そのためにみんな取ってあるんですよ。だから、自治会員Eさんみたいな使い方、僕もしたいんですけど、できないんですよ。</p>
自治会員E	<p>なるほどね。ですから余るということは、要するに、正常にこのぐらい使われるだろうということで予算を立てて、出しました。でも実際は使われません。これだけ余りました、という端的な話でいいんだろうかね。</p>
上田保健福祉部長	<p>すいません。お時間いただいてありがとうございます。</p> <p>予算ですけども、今の70歳以上の高齢者の方、それと、障がいをお持ちの方、そういった方を対象にしていまして、年24回の券を発行させていただいています。予算的には、1,517万8千円が、令和5年度の当初予算になってございます。令和4年度の当初予算が1,370万円ですので、大体、対前年で140万ほど増やしている、という状況でございます。これが、対象の方全員が満度に使うという様な予算取りというのは、基本的にはしておりません。ですので、全員がもし使うとなれば、追加の補正予算をしなければならないという部分もありますし、例年だと、大体このくらい使うだろうという見込みの中で、予算取りしていますので、基本は余らないように積算上は一応なっております。</p>
自治会員F ・授業料の無償化 について	<p>今、授業料無償化という、テレビ等でよく言われていますけど、これ総理大臣変わった時には、無償化というの変わらないで、50年も100年もそのままいって貰えるのか。いや財源無いから、来年やめますとか再来年やめますとかいうなら、子どもを思い切って産むこともできないんですよ。それで、これ総理大臣変わったら、いや違いますよって言われたらもう大変なことになるんで、そこら辺ちょっと教えていただければと思っております。</p>
藤沢教育部長	<p>授業料の無償化ということで高校のお話だと思いますので、直接所管ではないんですけど、お話しさせていただきたいと思います。現在も、高校の授業料の無償化は行われております。ただし、所得制限がありますので、全ての方が、授業料無償化という形にはなってございません。これを今、国では、私立高校も全て含めて授業料の無償化について、子育て支援というところの視点で、今協議をされております。これが、総理大臣が変われば、どうなるかというところは、何とも言えませんが、現行の所得制限のある授業料については、恐らく簡単には無償化が止まるということはないと思いますので、現状の維持になるかと思えます。国では、今、先ほど自治会長さんがおっしゃられたとおり、子ども子育ての政策を相当やるということで、予算も積極的に計上されているようでございます。それにつきまして、当町も財政的にはそんなにいい町ではありませんので、補助金とかもよくよく調査をさせていただきながら、うちに見合った補助金を獲得しながら、子ども子育ての政策を、教育委員会も含めて、</p>

<p>自治会員E ・「申請」手続きについて</p>	<p>やっていきたいと考えてございますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>関連質問というよりもお願いなんですけど、学校で言えば、子ども支援だとか、いろいろな項目がたくさんありますよね。道でも、例えば、牛乳とお米を出している。確かに言葉を私は聞くんですけども、実際に親に、どういうふうに通じが行って、申請されているのか。うちらにしたら、そんなのあるの？という人もいれば、貰ったという人もいるし、その情報ってよく聞いてみたら、スマートフォンでどうだとか、いろいろあるんですよ。町からも色々な広報が出てます。内容も分かります。よく読む人はよく分かります。その気があれば申請もします、ということで、チャレンジ精神旺盛な人は、これにアタックできれば、支援を受けられる。でも、広報は流されるけれども、キャッチしなかったら、支援を受けられない。支援だとか、援助だとか色々出されるんだけど、本当に支援が届いているのか。本当に必要としている欲しい人にちゃんと伝わって、貰える段取りができているのだろうか、というふうにちょっと不安なんです。昔だったらとにかく申請だ、ハンコ押せ、という（紙ベースの申請）方法だったけども、今は、何かすれば違う方法で、つまり我々の分からないような方法で、これで申請できますよって、かざせばできるようなこともあるんで、誰もが分かる様な申請の方法をお願いしたい。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>子ども関係が結構最近多いので、私からお答えしたいんですけども、基本的に今、子育て世代ですとか、そういった3万円ですとか5万円ですとか、10万円ですとかっていうお金に、主に国の方でメインで動いている事業があります。こういったもので、対象者の方には、基本的には町の方からご案内します。例えば、子ども子育ての関係ですと、うちの町の保健師が、生まれた子どものところには、必ず面談しますので、お会いした中でお話をしながら、こういうものがありますよ、と制度やサービスについて、ご案内をしています。直接、案内をしています。それに対して、サービスを受けている、受けていない、というのを確認していますので、受けていない方については、どうしましたか？というような、案内もしています。</p> <p>基本は申請型で、町民の方から申請していただいて初めて町で中身を確認して出せるというもの。それと最近、国で行ったプッシュ型とって、1回対象だった人には、町の方から強制的に出しますという、そういった2種類のものが出ています。</p> <p>申請型というのはなかなか気づかれない方もいらっしゃいますので、そういう方については、過去のものにあれば、そういった対象だった方については、町の方から案内を出して、これに該当すると思われるので提出してください、という案内を送っていますし、そういったもので、来ていないところには、また再度、案内をして、というような流れがあります。事前に準備が整ったものについては広報の方で案内しますし、間に合わないものについては町のホームページで発信しています。若い方であれば町のホームページを携帯電話でもちょっと見ていただければ、そういったものをやっているというのは確認できま</p>

<p>自治会員 E</p> <p>上田保健福祉部長</p>	<p>す。町ではそのような準備はしてございます。</p> <p>対象者への案内漏れは無いですよ、ということでもいいんですね。</p> <p>今までのお金の給付、5万円ですとか10万円給付ですとか、100%じゃないんですね。貰えるものというのは、ご自身が辞退するという場面もあります。でするので、そこを無理していやいや、ということにはなかなかならないものですから、そこは、本人の意思として受け取らないことを示された、ということで、うちの方は整理します。ただし、1回案内してそれで終わりということではなくて、2回、3回と、アクションは起こしております。</p>
<p>閉会挨拶</p> <p>大野町長</p>	<p>広範囲にわたりまして、ご意見いただきましてありがとうございました。</p> <p>懇談テーマにありました、特に三石温泉の跡地のお話ですけども、あそこは僕が町長になって、もうすぐ丸6年になるんですが、当時からですね、実は国道が走っているもんですから、風が吹いた時に、物が飛んだりしたらすごく危険だなと思っていたんですよ。それでぜひともあそこを壊したいと思っていて、壊すにしても、やっぱり億単位の金が必要だということで、そういう経過の中で、国の方で、近年、いい助成って言いますか、ちょっと理屈をひねって説明すれば対象になるのかなということで、年が明けましたが、一昨年から国にチャレンジし始めまして、何とかいけそうかな、という段階になっています。それでやっぱりあそこをきれいにして、先ほどから一時避難場所ということで、お願いしていますけども、あくまでも一時避難場所ということで、急場しのぎの場所を作ろうと計画してまして、今度の3連休の1番最後の日、12日ですけども、北海道の方からも声がかかりまして、13日の日に東京の方に、一緒にみんなで要請しようよということで、道内の町村、数町村と一緒に東京に行って、ぜひともお願いしたいと、私の立場からも、お願いする予定であります。ですからうまくいけば、そんな感じで、6、7、8年には、工事が全部終わって整理されるということ、私自身も期待しておりますので、その実現に向けて頑張っていきたいと思っております。</p> <p>あと防災の関係については、いろいろ議論が深まったように思います。</p> <p>徳洲会のお話は、担当部長からお話しましたとおり、町内においても、町有地、民間の土地含めてこういう土地があります、とご紹介をさせていただいています。それを個別具体的に、ここであの土地、この土地ということは、土地所有者の方にも何も言っていない段階でお話をしているということもありますので、それは私の方、あるいは役場の方からもお示しすることはできませんけども、徳洲会さんに、ぜひともこの管内のど真ん中である新ひだか町の静内地区の所で、今までやってきていただいている訳ですから、今後ともやっていただきたいという思いは一緒ですので、町としてもできる限りそういう動きをしているということ、ご理解していただきたいと思います。</p> <p>本日は大体2時間ということでお邪魔しました。また何かありましたら、私が来られない時は副町長が来ると、さっき言っていましたので、声をかけてく</p>

	れればと思います。 どうもありがとうございました。
閉会	19:55 終了

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年2月6日(火) 18:00～19:27
会場	延出基幹集落センター
自治会名	延出連絡協議会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、藤沢教育部長、中島地域振興部長、渡辺地域振興課長、森多地域振興課長補佐 10人</p> <p>【自治会側】 10人(男性8人、女性2人)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～ 渡辺地域振興課長
自治会長挨拶	お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、町長さんをはじめ、職員の皆さんには大変お疲れのところ、ありがとうございます。今日はよろしくお願いいたします。
町長挨拶	大野町長挨拶
資料説明 上田保健福祉部長	・東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービス終了について
質疑	特になし
意見交換 自治会員A ・防災について 柴田総務部長	<p>18:07～</p> <p>今、町長さんの話(挨拶)の中から、災害のことが出たので、災害のことでお聞きしたい。災害が起きた時に、恐らく、町としては、災害用の備蓄品がどこかに集められているのかなと思うんですが、我々は見ただけではないです。それがどこにあって、どういうふう到我々の地区に分配されるのか。</p> <p>今の能登を見ていると、後手後手に回っているように見えるんですよ。北海道もいつ起きるかわからないという予測が出されているので、その辺はどうなっているのかお聞きしたいです。</p> <p>総務部長の柴田と申します。</p> <p>防災担当ということで、今のご質問にお答えさせていただきます。</p> <p>まず備蓄品のお話ですけども、保管場所を申し上げますと、三石地区につきましては、三石中学校横に防災倉庫がございまして、そこに食料ですとか、飲料水、衛生用品、トイレ等々、発電機も含めて一定数の備蓄をしております。実際それを</p>

	<p>どう使うかということにつきましては、恐らく災害の規模ですとか、どの地区にどれぐらいの方が影響を受けているのかという事を情報収集した上で、適切な広さの場所を町が指定することになると思います。例えば、延出地区だけが被害を受けているような状況がもしあれば、恐らくここが避難所になるのかと思いますが、その場合は、ここを避難所として指定して、今は感染対策などいろいろ気を使う時代ですから、間仕切りですとか、段ボールベッドですとか、そういう長期間滞在する環境を整えて、必要な食料等を持ってくるという考えです。</p> <p>我々の想定としましては、一定数の住民が3日間ほど食事ができるような状況を想定しながら用意していますけれども、その想定を超えることというのは多分、今回の能登の地震を見てもあるのだと思います。その場合に備えまして、例えば、静内地区のイオンなど、そういうスーパーマーケット等と連携をとりながら、調達をしながら国や北海道の追加支援を待つというような感じになるかと思いますが。現状は三石中学校の所に、ある程度の数を備えているということでご理解いただければと思います。</p>
自治会員A	<p>備蓄品が置かれている場所は分かりました。しかし自分たちが70何年間、ここで生きてきて、この道路が冠水して車が走れなくなった状態が何度かあります。その状態のときに、例えば津波だったら、一気に川を押し上げてくるだろう。それから、雨災害だったら牧野の方からの水の量はすごく多いです。そこを車で運搬すると言ったら運搬できない状態になると思うんですよね。だったら、各地区にといますが、もう少し考えられないでしょうか。</p>
柴田総務部長	<p>おっしゃられることはよく分かります。他の地区でも一部備蓄品を各地区に分散をして置いてくれないかという声もいただいたこともございます。ただ、実際に何が起きたときに、恐らく対応できるスタッフの数も限りがございますし、我々として、被災しないとは言いきれないところがございますので、やはり、集中して避難ケアに当たることになるだろうと思ってます。そのときに、備蓄品を分散してしまうと、必要な数を回収して回るという作業や時間がかかってしまいますので、そちらのほうがリスクが高いというふうに思っておりますので、1か所に集約した上で、災害対応に当たりたいというのが今の考え方でございます。</p>
自治会員A	<p>災害は我々が考えられないようなことが起きるんだよね。そののどこを、どうこうすれと言う訳ではないんですけども、例えば、消防署にしたって、庁舎にしたって、波でかぶるような場所にあるでしょう。自分達のほうが逃げなきゃなんない格好でしょう。そこら辺をよく加味して、なるべく早い手段を取っていただきたいと思います。以上です。</p>
自治会員B	<p>今災害の質問がずっと出ていたんですが、ちょっと考え方が違うんじゃないかなと思う。スタッフが足りないとか何とかって、実際になったら、役場の職員であろうと誰であろうとみんな被災者なんだよね、だから、避難した人自身がやらなきゃならないという、そういう気持ちや考えでいかなかったら駄目だと。そういう考えを植付けていかなきゃ駄目じゃないかなと私は思います。どうですか。</p>

柴田総務部長	<p>はい、まさにおっしゃるとおりでございます。我々、住民の皆様にお声掛けさせていただいているのは、町でも一定数の備蓄はしてますけども、数にも限りがございますので、皆様ご自身もご自宅に備蓄品をリュックなどにある程度のもを揃えていただきたいというのがお願いベースの呼びかけでございます。</p> <p>もちろん災害が起きた時に、特に今回の能登を見ましても、あれだけ緊急切迫した状態で、公的機能が皆様の下まで届くというのは考えづらいことがございますので、まずはご自分で、身を守る、そして、一定数の備蓄をお持ちいただくのが、安全安心と思っております。とは言え、公的な部分の公助と、自分を守る自助というものが合致しなければ、多くの命は救えないかなという認識でおります。</p>
自治会員B	<p>さっき、スタッフが不足しているとか、あまり人が集まらないとか、それで間に合わないんじゃないかと言ったから、私はこう質問したのであって、被災者も自らやらなきゃならんということなんだよ。だから、例えばここに備蓄品があれば、被災者が動けばいい話で、わざわざ役場の人がこうだということもないし、自治会長だっているんだし、そういう考え方を植付けていかなかったら間に合わないと思います。今回の能登のようになった場合、1月1日に集まる訳ないし、自衛隊員だって、そんなに集まらなかったでしょ。大体2万4千人確保しなきゃならんところ、今現在全国で2万2千人ぐらいしかいないはずですね。そういう意味で言ったのです。</p> <p>そしたら、例えばここで川が氾濫して逃げるとなったらどこへ逃げればいいのか。</p>
柴田総務部長	<p>はい、結論から申しますとそのときの状況によると思います。</p>
自治会員B	<p>だから、最悪の状態での話をしているんです。</p> <p>10年ほど前だったかな、三石川の川の水がいっぱいになって、延出川の川もいっぱい、この裏に用水路が走っているんですが、用水路は全然使ってないけれど、何キロも先から水を集めてここにくる。その結果、この水がはけない。三石川もいっぱいだから。だから●●さんのところに水が流れて出たよね。そういうこともあるんです。だからそういう意味でどこへ逃げればいいのかという話です。</p>
柴田総務部長	<p>繰り返しになりますけども、一口に洪水と申しましても、その時にどこまで水がどの程度来ているのかというのは災害によって違います。その時に、最も適しているところを指定することになるんですけども、今この地区で言いますと、想定しているのは、旧延出小学校と延出生活館を洪水の指定緊急避難場所ということで指定しておりますので、基本的にはこの二つの中で、どちらを開けるかという判断になると思います。もしくは両方とも開けることもあるかと思えます。</p>
自治会員B	<p>それは、旧延出小学校と延出生活館だよ。普段から鍵は自治会長とか、近くの人が預かっているのだろうか。小学校の鍵は誰も預かっていないはずですね。</p>

柴田総務部長	<p>管理人がいる所は管理人さんが持っていると思いますけども、旧延出小学校は管理してる方が持っているものと、役場が持っているものとありますので、そこはどちらかが早く到着した方が開ける形になるかと思います。</p>
自治会員B	<p>例えば、そういう状況になったら、恐らくこの道路は通れなくなると思います。昭和 50 何年頃の洪水があった時は、蓬莱山のところが、山から水が来てあそこがストップしたんだよ。通れなかったんです。あの頃、土建屋に働きに行っていて、現場から早く来いと言われてたけれど行けなかったんですよ。</p> <p>役場からも来れない。津波なんかあったら特にそうだよ。そういう時にどっかに鍵とか預かってなかったらと思う。</p> <p>例えば、もう一つ山越えた辺訪川だよ。こここのところは、しょっちゅういっぱいになっているんだよ。みんな逃げているんだわ。それ分かっていないんじゃないかなと思って。結構最近でも逃げてるはずですよ。</p>
柴田総務部長	<p>おっしゃってることは分かりますけども、極論究極な状況になったときには、恐らく、ガラスを割ってでも入る必要性があれば入るんだと思うんですけどね。一般的には、鍵を持っている人が一刻も早く、現地に到着してあげるのが理想です。</p>
自治会員B	<p>だから、鍵をどっかに預けるとい考えはないのかい。ちょっとおかしいんじゃないの。</p>
柴田総務部長	<p>保育所でも鍵を保管していらっしゃることなので、複数の手法があるということで、ご理解いただけたらと。</p>
自治会員B	<p>誰も分かってないんだよ。保育所で預かっているということは誰も自治会の人には分かってない。今初めて聞いたよ。</p>
自治会員D	<p>今、自治会でどこの鍵は誰が保管しているのか、仮にその人が来れなかったらどうするのかという次の次まで考えないと、防災は最悪を考える。さっきからその規模に応じて考えると言っているが、それじゃ間に合わない。災害対策は最大の被害を前提にして考えるのが筋道じゃないの。この段階だったらこういうふうを考えますなんて生ぬるいよね。</p>
大野町長	<p>今のお話の中で、川が溢れるという前提でお話しされていますけども、雨の予報はかなり高度になっていまして、溢れてから避難指示を我々出すようなことはないですよ。ですから、気象庁とも連絡をとりながら、危ない時に、この場所に避難してくださいと我々はアプローチをするわけですよ。その時には、通常はもう鍵を開けていてですね、そこに、来てくださいというアプローチをするんです。</p> <p>今皆さんが頭の中で1番描かれるのは、津波のとき、あれは突然地震が来るので、津波もあつという間に来ますから、その時と大雨の時の対応は違うだろうと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>先程、担当部長がお話ししていましたが、本当に避難が必要になればあらかじめ、その段階に応じて皆さんに、ここに避難してくださいというアプローチをしますので、その辺は、そういうアプローチで大丈夫なのかなと思いますけども。</p>
自治会員B	<p>それは甘いね。気象庁の発表っていうのは、こんな小さい辺訪川が氾濫したからって全然発表なんかしないよね。</p> <p>昔ね、三石の街は全く雨は降ってなかったけれど、家に帰ったら流されたとか、いっぱいになっていたという人がいるんだよね。そうだよな、●●さん。実際にそうなんだわ。三石川は何でもない、延出川も大丈夫だけど、辺訪川はそういう事がある。そういうのは気象庁がどうのこうのそんな問題ではないと思う。その地域の山の状態だとか、そこまで気象庁は判断なんかできる訳ないんだ。そういう取って付けたような言い方はやめてくれ。もう少し細かく考えてくれなかったら。危なかったんだから。だからおかしいんじゃないのかなって思ったんです。</p>
大野町長	<p>実際に水に浸かったんですか。ちょっとそのときの様子を教えてくださいませんか。</p>
自治会員C	<p>豊岡に住んでる●●です。何年前に、家のそばに川がありまして、そこが溢れて家が浸かって、いろんなものが流されていきました。その時は、避難場所は決まっていたんですが、私は実家に行きました。</p>
大野町長	<p>それは、広範囲に溢れてきたんですか。何件も溢れたような感じだったんですか。</p>
自治会員C	<p>うちの近くの、●●さんとか、●●さん。</p>
大野町長	<p>ずっと昔から水がつくような地域なんですね。</p>
自治会員C	<p>雨が降ると本当に怖いんですよ。</p>
大野町長	<p>避難するとしたらどこに逃げるような感じになるんですか。ちょっと土地勘が無くて申し訳ない。</p>
自治会員C	<p>豊岡改善センターが今は使えないので、どこに行ったらいいのかなっていう不安はあります。</p>
自治会員B	<p>豊岡改善センターが使えた時は、そこに避難してた。</p>
大野町長	<p>今1番近いところはどの辺になりますか？避難するとしたら。</p>
自治会員B	<p>延出小学校が一番近い。</p>
大野町長	<p>さっき僕がお話ししたのは、大きな川だとか全部水位計がついていますので、い</p>

自治会員A	<p>ろんなことは確認できますけども、そういう小河川のところが来た時に、実際に水が付く地域があるということであれば、小学校のところに入るような仕組みを考える必要がありますよね。そこはちょっと考えます。</p> <p>その鍵の話から含めて、そこはちょっと考えさせていただきます。その地域として、小河川が出てくるというその地形上どうしようもないところです。雨が降った時に、水がみんな集まってきてしまうとこなので、一次的に逃げるところが必要だということなので、ちょっと学校の鍵の話ですとか、そういうものは確認して対処します。</p> <p>ただ、先ほど僕が言ったのは大きな川って言ったらあれですけど、やっぱり天気予報の中で、いろんな推計などを見ながら、いろんな判断をしているんですけども、そういう小河川のところまでは我々の方で確実に抑えることはできません。皆さんから連絡が来た時にはもう遅きに失していると思います。もう川が溢れてきている訳ですから。その時には、自主的にどこかに避難できる場所、それが学校であれば学校に入れるような仕組みというのは作る必要があると思いますので、ちょっと考えさせてください。</p> <p>皆さん言うように、牧野の草地の関係もあって、辺訪川の場合は予測できません。だから、そのところをちょっと加味しておいて下さい。</p>
大野町長	<p>はい、自治会員Aさんでしたよね。よく山のところに草地を作ると水が走る。走っちゃうんですね。浸透するのも浸透するんですけど大体は水が走ってくるので、きっと牧野の影響というのは、恐らくそういう地形になったんだろうというふうに思います。いろんなところで私も過去の経験からいうと、草地造成をすると比較的水が走りやすくなるので、草地造成すればするほど、走りやすくなるので、そこはちょっと危険なところというのは承知していますので、先ほどもお話ししましたが、延出小学校の使い方について、それについてちょっと再確認しまして、またご連絡したいというふうに思います。</p>
自治会員B	<p>この堤防が氾濫するという想定はしているんですか。どうなんでしょう。</p> <p>私が子供の時は堤防がなかったから、ここら辺雨降ったら常に洗い流されておりましたね。</p>
柴田総務部長	<p>防災のハンドブックがご自宅に届いていると思いますが、こちらの方で町としての今の想定ですけども、三石川で言いますと3時間総雨量167mm以上の場合、どこまで水が行くんだろうというシミュレーションをさせていただいております。その中で、避難所となるところが旧延出小と延出生活館、それ以外はリスクが少し高いということで、洪水時の避難所としては指定させていただいてないというような状況でございます。</p>
自治会員B	<p>そしたら、氾濫する想定はしているんだね。そうじゃなかったら、ダムは人工で造ったんだから、決壊しないっていう保証はないからね。その時はもう一面どうもなくなってしまうだろうと思うから。最悪の事態を想定しなかったら駄目だと</p>

<p>柴田総務部長</p>	<p>思います。</p> <p>例えば、今回の能登のような地震があったとして、役場はまずどうするんですか。</p> <p>大きな地震があった時は、役場自体はどういうふうに対処するんですか。三石も静内もそうですけど、津波を想定して逃げるよね。静内も津波かぶるところにあるよね。それで想定して逃げるって、どこに逃げるんですか。</p> <p>自治会員Bさんの想定されている状況がちょっと一致しているかどうか分かりませんが、大きな地震が起きて、例えば大津波警報等が発令されたとなれば、まずは、無線なりメールなり、様々な手段を通じまして皆様に避難を呼びかけます。その時に皆様がどこにいらっしゃるのかは、その日によって違うんでしょうけども、町の方では、ある程度の数の一時避難場所というのをお示ししてございます。そこは、この位置だと、津波をかぶる心配はないと想定されている場所でございます。ただ、現実問題、津波が目の前に押し寄せて来た時に、町で指定した避難場所へとはならないかと思しますので、見える範囲で1番高いところに逃げてください。まずは命を守っていただくのが、第一義的かというふうに思っています。その上で、波が引いた後に、町で長期的に避難できる場所用意をして、皆様の受入れをしていくというような形になってございます。</p> <p>ちなみに町の方は、震度4の地震があれば、津波警報にかかわらず、指定した職員が一斉に集合するような仕組みにしております。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>指揮系統をするところを作らなければ駄目ですよ。どこで指揮系統するんですか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>本部は静内庁舎に</p>
<p>自治会員B</p>	<p>静内庁舎が水かぶるのに、どうやってするんですか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>静内庁舎の二階三階は想定で大丈夫です。三石庁舎は、恐らく津波となれば難しいので、別な現地本部をつくることになると思います。恐らく中学校ですとか、そういう高台につくることになろうかと思います。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>もうそれはちゃんと用意しているんですか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>そこは当然、我々職員の対応マニュアルできちんと手順を踏んでおりますけども、実際に、そのときの状況によって臨機応変に変えていく部分も多々あるかと思ます。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>消防署と救急車だとかそういうのはどうするんですか。消防署に救急車あるでしょ。三石なんかまともに被るんですがどうするんでしょう。避難とかできるのか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>緊急度にもよりますよね。波が被らないように車を移動させるっていう手順になると思いますが、それもかなわない程切迫してる時には、もうそこまで行けな</p>

<p>自治会員B</p>	<p>いですよ。</p> <p>まず、大きな地震が来たら、三石もかなり地盤が悪いとこだし、静内も確かあそこも泥炭地ですね。だから、周りの道路が恐らく全部通れなくなると思います。今回の能登の地震のようなものがあつたら、通れなくなると思う。道路に杭を打てきちんとしている訳じゃないし。我々が高校2年のときに、静内高校の2階にいたら大きな地震が来て、身動き取れないことがありましたね。かなり地盤が悪いんだなっていうのを感じておりました。消防署だって救急車だって、逃げようがない、逃げるところはない。どうするんでしょうか。それはどう考えているんだろう。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>行政が行う、いわゆる公助という部分は万能ではありません。今言った、道路も通れない、車も取りに行けなという状況であれば、多分手も足も出ないかと思えます。その上でも、取れる対策を最大限とっていく。まさに今回の能登でもなっているように、国なり北海道なりの支援を待つというような場面が、最悪のケースが出てくると思えます。</p> <p>その全てに100%大丈夫な対策ができていくかという、今、できてはいません。100%というのであれば、全員が、津波浸水区域以外に暮らす以外には難しいことなのかと私は思っています。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>今の役場のはまなすだつて、水をかぶるようなところに建ててしまったんだよね。なぜあんな所に建てたのかなと思いましたよ。あれが、水が被らないところにあつたら、そこできちんとできるのに。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>今聞いていて、自治会員Bさんの言うこと良く分かります。それで、これ、いつまでたつても終わらない。</p> <p>被災者の話では、自分の身は、自分で守れ、誰にも頼るなど。一目散に走れという報道がたくさん出てきます。ただ、我々としては、まず、これから起きうる災害に対して万全の対策を取って欲しい、僕はそう思います。</p> <p>で、次のお話をしたいんです。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>どうしたらいいか、これから考えて欲しい。どうするか。できないでは終わらせないんだわ。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>私の言い方が、もうこれ以上何もしないということで聞こえたのであれば、率直に謝ります。我々の現状が完璧だとは先程も言ったとおり、思つてはおりませんので、今後、改善できるところは、どんどん改善していきたい。その時にやっぱり、この地域に暮らす皆様の生の声だったり、情報だったり、そういうことが必要になってくるのかなと思つていますので、是非この地域の中で、災害時にどうしていったらいいだろうか、と考えられるような場を機会として作っていただければ、我々防災職員も一緒に輪に入れていただいて、今よりも、安全な安心なですね、環境を作っていければと思つておりますので、今、こういうご指摘いただく以上は、</p>

<p>自治会員B</p>	<p>我々の対応が足りない部分が沢山あるんだと認識してございます。その上で、では、どうしていったらいいんだろうというのは、先程の延出小学校の鍵の事も含めてですね、改善できる点はどんどん改善していきたいと思いますので、是非、いろいろな情報をいただけるような機会を与えていただければなと思います。</p> <p>延出小学校に避難するのであれば、あそこは集中暖房で全部暖房しなきゃならない。大きなストーブだとか、区切って、暖房できるように改造するだとか、そういうのを検討して欲しいんですけど。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>学校については既存暖房が使えないことっていうのは、大いに予測できますので、そこは一定数のポータブルストーブを備蓄しておりまして、それをそちらに運んで、暖を取っていただくような計画で今備蓄をしているところでございます。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>よろしくをお願いします。</p>
<p>自治会員D ・学力向上の施策 について</p>	<p>新ひだか町の教育ですね。新ひだか町だけじゃなくて、日高管内、これの偏差値が極端に低いと。最初の段階は、家庭教育が大事なんですけども、町としてやれるのは学校教育ですよね、学校教育の生徒の学力を上げるこれからの施策をどう考えているのかっていうことを聞きたい。</p>
<p>藤沢教育部長</p>	<p>教育部長の藤澤です。</p> <p>私の方から今までの経緯等について併せてご説明させていただきます。</p> <p>新ひだか町の学力は、今おっしゃられたとおりに相当低いものがございました。去年今年とですね、いろいろな政策をやって参りました。特に小学校3年生4年生の学力、特に数学等が低い状態だったので、公設塾というのを開いてですね、評価をさせていただいたり、家庭学習月間、メディア対策などを、学校と家庭と、教育委員会とタッグを組みながら推進をさせていただいてるところでございます。</p> <p>その中で、全道平均全国平均から比べると、差はございますが、大分、平均値で縮まってきている状況でございます。これにつきましては、今までやってきたことの効果があると思っておりますが、これで満足せずに、弱いところというのはやはり、いろんな教科や学年によって差がございますので、学校とタッグを組みながら、今後も強化をして参りたいというふうに考えております。やっぱり1番は、学校で習得してきたものを復習していただくというところが、学力向上には1番つながるのかなと今考えてございます。どうしても、人間ですので、今日習得したものを、次の日になったら半分ぐらい忘れる。それが3日経つともっと忘れるという事がありますので、どうしてもやっぱり家庭での学習をやっていただくっていうところを強化していかなければならないかなと思っております。</p> <p>その中で、今やっているのが、学年掛ける10分という形で、家庭学習をやっていたきたいということで、強化をさせていただいているところでございますので、これをもっともっと推進していきたいなというところと、あとうちの町での特徴は、メディア、特にスマホ、ユーチューブを見ている時間が、全道平均全国平均に比べ</p>

<p>自治会員D</p>	<p>てやっぱり高いので、そこの部分もご家庭にご協力をいただきながらですね、なるべく時間を短くして学習する時間を増やしていただくような仕組みを考えていきたいなと思ってございます。</p> <p>分かりました。やっぱり保護者もそうだし、学校の先生もそうだし、地域もそうだし、学力というのはどれだけ大事なのかっていうことも、子供たちに伝えていかないと駄目だと思うんですよ。僕は小さい時に勉強すれ勉強すれって言われても、何が？勉強して何になるの？という疑問。だけど、結局、将来自分がなりたいものになるための勉強だよっていうことをきちんとね。高校生になった時に、医者になりたいと思っても、はっきり言って、もうそこまでの学力と学習能力が低いと、なかなかいかないんですよ。もうこれはもう本当、頑張ればできるなんていうレベルの話じゃないですか。そういう事も子供達にちゃんと認識させながら、あと先生も、先生のレベルも多分低いんだと思います。これは町が雇ってる先生じゃないから、仕方ないところはあります。小学校の先生と交流するようなことがありまして、そういうことを言うと、学歴じゃないと。人間学歴じゃないよっていう先生を俺は信用しませんから。じゃ、大学行かないで先生になる方法を教えてと言ったけど、分からないですよ。大学行って教育課程をとってからじゃないと先生になれない。じゃ、大学行かないで医者になる方法を教えてと言っても、学歴はやっぱり必要なんですよ。</p> <p>そこを目指さない人にとっては必要じゃないもんですよ。だけど、いつそこを目指したいと思うか子どもが中学で思うかもしれないし、高校卒業して急に思うかもしれない。将来の準備のための勉強なんだということをしっかり、先生が認識を持って、指導していただきたい。</p> <p>学校運営的には、俺はそっちの方は詳しくはないんですけど、秋田県が、相当のレベルじゃないですか。学校教育、仕組みも違いますから、議員さんも含めて、そういうことにお金を使って、ちゃんとした視察をして意見交換をして、こういうへき地のところは、秋田県の学校教育を参考にしてみたらいかがかなという事でこの質問は終わります。</p>
<p>久保田教育長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>教育長の久保田と申します。</p> <p>今、力強い考えを聞かせてもらって、本当にありがたいなと思っております。</p> <p>やっぱり1番今大事なのは、今おっしゃったように学力に対する先生方の意識をやっぱり変えなければと実は思っているんですね。それで、今やり始めているのは、もう2年ぐらいになりますが、小学校と中学校が連携して、同じ考えを持って学力を上げていくという、改革をしています。どちらかと言えば、小学校は小学校、中学校は中学校と、同じ子供を見ているんだけど、やっぱりその学力に対する先生方の考え方が全然違うんですね。むしろ、中学校の先生たちの方が、学力に対してシビアな考えを持ってます。多分高校入試があるからなんだと思っています。そういう意味では、小学校の先生方はちょっとのんびりしてる部分があるので、そう言って先生方が一緒に学力あげる取り組みの中で、考え方を一緒にして、そして、うちの町も子供達の学力を上げようと、そういった取組が今年で2年目になるんで</p>

	<p>すが続けています。</p> <p>また、教える技術というのがすごく大事なので、そこをいかに先生方が引上げていくかということで、かなり研修にも力を入れています。いろんな先生方を呼んで学ぶ機会も多く取っていますし、小学校と中学校の先生方が、今まではなかったんですけど、一緒に研修する場面もあります。最近小学校の先生が中学校へ授業を見に行ったり、中学校の先生が小学校へ行って授業をしたり、そういった取組をしています。</p> <p>学力はかなり上向いて来ています。全国の平均に届かない学校がほとんどだったんですが、今年度辺りの結果を見ますと、小学校も中学校もその平均値に迫るような学校、あるいは超える学校が徐々に出てきていますので、そういった意味では、これからも先生方の意識を含めて変えながら、ちょっとシビアに取り組んで行けたらなと思っておりますので、また色々なご意見を聞かせていただけたらと思います。</p> <p>家庭学習等については、部長の方から詳しくお話ししたので、そういった取組をしていきたいなと思っております。</p> <p>実は前回、議会の方からも、学力向上については提言をいただいております。そこに載せられている内容は殆どうちの町で取り組んでいる内容ばかりです。今後とも、一つ一つの取組をやり切るようにして、学力向上については取り組んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p>
<p>自治会員E ・延出生活館について</p>	<p>富沢の●●●●です。</p> <p>延出生活館が避難所なのに取壊しの対象になっているはずなんですよね。それはどういうことなのかと思っているのと、3年ほど管理人をやっていたんですけども、除雪の関係で余りにも広いということで、町の方では一切やらないという話をもって辞めました。辞める時に延出生活館から自宅まで150mぐらいの距離でいるので、生活館の管理はしなくても、鍵だけでも預かっていいよという話を持ちかけたんですけども、鍵は役場に持ち帰りますんで、使う時には役場の方に取りに来てください、返してくださいという話だったんですよ。それは、ご存じなんですか。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>保健福祉部長の上田です。</p> <p>今、初めてお話を聞きました。その辺ですね、一旦持ち帰って確認させてください。どんな経緯でそのようになったのかという事を確認します。すいません。</p>
<p>自治会員E</p>	<p>あと、本桐基幹集落センターが生活館ということで、いずれはここも基幹集落センターから、生活館になる計画があるのかどうか。あと、生活館になった場合、この除雪、管理人に対しての手当で行うのか。今年はたまたま雪が少なくていいけども、除雪代だけで、管理人に対して支払った手当を、全部冬の間に使い果たしてしまうんじゃないかなと思うんだけど、そうなったら管理人を受ける人がなかなかいなくなるような気がするんですよ。誰も受けてくれないということになったら、やっぱり、役場の方に鍵が管理される。こういう暖かい所ですぐ会議が開けなくなるような、地域の人寒いところに来て、暖房の入れ方もわかんないんですけども、</p>

<p>上田保健福祉部長</p>	<p>そこら含めて、お聞きしたいんですけども。</p> <p>色々なところに生活館や、基幹集落センター、集会施設がありますが、施設が老朽化しているところもございますので、その辺につきましては一定の集約をしながら、新しいものを造っていくということで今、少しずつですけども行っています。そういった活動をまず一つしてございます。</p> <p>また、生活館や、会館の管理の方は、基本的には地域の方をお願いしているというところがございますので、生活館と会館はちょっとやり方は違いますが、基本的には地域のほうをお願いしていることですので、鍵を役場の方に返さなくてはならないというのが、どういった形でそうなっているのかわからないんですけど、それを確認させていただきます。</p> <p>基本は、地域のほうに管理をお願いする。ただお金が足りないというのは、申し訳ございません。ちょっと総体の予算がございまして、その中で話になってしましますが、逆に、例年以上に雪がすごいですとか、屋根が飛びそうだとということになりましたら、条件は違いますが、そういった部分につきましては、可能な範囲で対応させていただきたいと思っておりますけども、その鍵の管理の方法につきましては確認をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>自治会員E</p>	<p>最後になんですけども、延出生活館も話を聞くと、町の管理になってから年に2回か3回掃除に来ているということで、途中で1回か2回、郷土芸能の保存会で鍵を借りに行ったことがあるんですが、見事に入られるような状態ではないということだけ報告しておきます。</p>
<p>自治会員D ・ふるさと納税について</p>	<p>新ひだか町の今年度のふるさと納税額を教えてくださいんですけど。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>1月末の段階で4億円を超えておまして、昨日確認したところ、4億7,000万ほどのご寄附をいただいております。昨年が2億少々でしたので、1年で倍近くなっているような現状でございます。</p>
<p>自治会員D</p>	<p>新ひだか町としては、納税額が多い方がいいですよ。他の町がどのぐらいかわからないですけども、白糠が140億、80億、網走のほうは180億だったはずなんです。白糠はそれだけあるもんだから、もうやりたい放題ですよ。それこそ教育、医療費は高校生まで無償、大学進学何かいろいろありましたよね。さすがに140億とかまでは言わないですが、10億以上とかを目指すという具合。これははっきり言ってアイデアと、実際、職員なのか、そういうところの人たちのアイデアなのか、もう少し活発にそこら辺を検討して、アピールしていったらどんなものかなと思う。</p> <p>あるところでは、こんなことで納税する人いないだろうという事を考えるんですよ。納税しなくてもいいから、1件200万円納税してくれたらこんなことができますよという、そんなこと無いだろうということまで考えてやっているんですよ。そ</p>

柴田総務部長	<p>ういう気持ちでやって行っていただきたい。これは意見です。お金があればそれこそ、こないだこの病院の云々で町長が病気で欠席したみたいだけど、冒頭説明があるかなあと思ったけどなかったんだけど。そういうことも含めてね、ふるさと納税の増額を目指していただきたいなと思います。</p> <p>我々も、昨年よりも今年、今年よりも来年というつもりで、今、商品開発の力入れておりますし、PRも、10数サイトに掲載しながらPRをしてございます。</p> <p>この地域の弱みが、釧路や根室のように、底なしに魚介類を出せる状況に無いというところもありまして、どうしても一定数行くと打ち止めというような状況がありまして、ニーズがあるけど商品が無いっていう状況が多々発生しております。</p> <p>これは産地の規模の問題もあるので、致し方ない部分もあるんですけども、その辺は工夫でどう乗り切っていくかということで、魅力ある商品を作りながら、今のご提言いただいたように、PRにも力を入れて参りたいと考えております。</p>
自治会員D	<p>馬産地と言っているのだから、馬関連でマニアの人は幾らでも金出しますよ、魅力的な商品は。そこを考えてもよろしいかと思ます。</p>
自治会員B	<p>ふるさと納税の話の関連で、町に入ってくるのはさっき言っておりましたけれど、町から他の市町村へ出ていくふるさと納税ってどのくらいあるんですか。</p>
柴田総務部長	<p>すいません今数字は持ち合わせておりませんが、そんなに多くないとは思いますが、後で連絡させていただきます。</p>
自治会員B	<p>かなりあると思ますよ。調べてそういうのを検討して、もっと、新ひだか町の魅力のあるやり方がないのかなど。</p> <p>それを考えるのが、皆さんだよね。考えていかななくてはならないと思ます。</p>
自治会員F ・三石病院の今後について	<p>富沢の●●です。</p> <p>私ももう80過ぎて後期高齢なんですけど、病院の関係でちょっと説明して欲しいんですけど。三石町立の病院の存続について、ちょっと説明して欲しいんですけど。</p>
上田保健福祉部長	<p>三石国保病院でございますけども、これまで何回か機会をいただいてご説明してございます。町立病院集中改革プランというところで令和9年度までの計画の中で、静内病院を含めて収支改善を図っていくという中で、これから、働く人もどんどん減ってしまう中で、どうしたら医療提供体制を維持できるのかという考えでございます。</p> <p>その中で三石国保病院につきましては、入院病床を静内病院の方に移しまして、三石病院につきましては外来に特化した病院に移っていくという考えでございます。</p> <p>外来を中心に診療しまして、その中で、訪問診療ですとか、訪問看護ですとか、そういった病院から出て、在宅の方に広げていくという考えもでございます。</p> <p>高齢化率が高くなってきてございますので、病院に通えない方が実際に出てきて</p>

	<p>ございます。そういった方は、強制的に訪問するものではありませんが、ドクターとお話ししながら、希望があれば、自宅の方に先生が赴くという診療体制をとっていきたくと考えてございます。新しい病院につきましては、令和8年度末までに完成しまして、今の病院をどこに建てたらいいんだというところで、民間の方々も入った選定委員会があり、その中で、どこかの場所がいいんじゃないかという検討をさせていただいております。そういった検討結果をいただきながら、こういったところにどういった規模の病院が建てられるかというようなことを、これから考えていながら、令和8年度末までに完成をして、令和9年度からは、新しい体制で医療を提供していくという考えでございます。</p>
<p>自治会員A ・畑地化の今後について</p>	<p>今、農地が畑地化されて、あと何年かで奨励金も無くなって、耕作する人もいなくなって、空き家が出てきて、どうしようかと自分たちでも考えてはいるんですけど、なかなか再生というか、他から来てもらって、やってくれる人は、いないような気がするんです。</p> <p>一部分自分でも見た土地なんですけども、もう柳でいっぱい、そこは鹿の巣になっています。その近くに果樹園でも作ろうかと思っても、鹿の被害にあって、何も作れる状態にないんですよね。これをどうこうすれと言っても、考え方でいろいろあると思うんですけども、少しでも、我々が育った、三石、それから山の里だとか、それから静内の里だとか、そういうとこを何かで生かしていけるっていうような、何か、考えを深めていって欲しいっていう感じなんですよ。</p> <p>自分たちの孫が大きくなった時に、すっかり荒地では、何かかわいそうな気がします。これはお願いします。</p>
<p>自治会員D ・病院の建設場所について</p>	<p>もし病院を建てるなら、さっき防災のこと言ったんで、浜とか、津波とかが来るようなところは、そこは駄目だよと、防災的に駄目だということは頭に入れてください。三石の街でいっちゃうと、津波とか来たら一発でいっちゃうので、それだったら中学校の上であるとか、もう本当こっちのほうに来るとか、それは決める人達を取りあえず話し合ってやるんでしょうけど、そこは押さえておいてください。</p>
<p>自治会員D ・共済組合の獣医について</p>	<p>町政とは関係ないですが、今、家畜共済組合が全道1本になったんですよね。令和7年度から獣医の全道異動が始まってですね、全道異動の中で、地域限定獣医と、全道を回ってもいいですよという獣医の働き方というか、雇用形態がむちゃくちゃになっていて、多分これになったら共済組合から獣医が全道的になくなります。結構な人数が多分なくなるかもしれません。獣医ですら危機感を持ってもう辞めている人もいますから。</p> <p>ということは、全道の畜産地域ありますよね、これもう結構被害を受けていて、多分この話は、自治体はまだそんなに把握してないと思います。できれば、市町村長会などでこういうのを議題に上げて、行政が共済組合に言う権利はないですけども、獣医がいないと、畜産産業が成り立ちません。そのことを、北海道なりに言っていただきたい。これじゃ全道の畜産を支えてくれる獣医さんは、未だに数少ないですから。そういうことも話し合っていたいただきたいというのと、8日に本桐生活</p>

	<p>館で、共済の地域懇談会が午前10時からあります。町の部長課長クラスが行って、どういう状況なのか、どうなっているのかということ把握して欲しい。共済組合の方に行って、職員の待遇がどうなっているのかなども把握だけしてください。それじゃないと、ちょっと後の祭りになったら本当に大変ですよ。一次産業を支えてくれる獣医さんがいなかったら成り立ちませんから。すいませんけどそれお願いします。</p>
水谷産業建設部長	<p>産業建設部長の水谷です。 農業畜産業を担当し、私の方からもお答えいたします。 町内の獣医さんが少ない状況で充実してないことは承知しております。今後もそういった動きがあるというような情報も聞きながら、8日に共済会議があるという事でしたが、もしそういったところに参加できるのであれば私だとか課長がお話を聞くことは可能ですし、その会議に参加できないようであれば、共済組合の方に向いて情報収集しながら、今後の一次産業というか畜産業を支えていく、獣医さんを維持していく方法について前向きに考えて行きたいと思います。</p>
自治会員B ・新規就農について	<p>今新規就農で結構前から入っているんですけど、新規就農で定着する確率って、どの程度なんだろうか。新規就農して定着する確率ですね。</p>
水谷産業建設部長	<p>新規就農に関しては、うちの町で取り組んでいるところについては、研修生の受入れとなっております。主に、静内のハウス団地でやっている、ミニトマトの関係や三石については実験センターで行っている花卉の関係、デルフィニウムなどの花の関係の研修生を受入れております。 また、農家さんの方にも研修に行って、年に1名とか、あとミニトマトについてはご夫婦で3組などと、毎年そういった形で受入れをして、就農をしているような状況。</p>
自治会員B	<p>そう。いや、どの程度留まるのかということ。</p>
水谷産業建設部長	<p>就農率については、90%以上就農していただけるような状況になっております。</p>
自治会員B	<p>何年ぐらいで就農が固まったなと思ってる訳ですか。例えば10年ぐらい働いたらこの人はずっとやっていけるとか、そういう判断はどういうふうにしているんですか。やめていく方も結構いるんだよね。その問題点というのはどういうところなんでしょうか。新規就農の人がやめていく問題点。</p>
水谷産業建設部長	<p>定着率90%と言いましたけれども、残りの10%については、いろんなことが考えられます。施設整備だとか費用もかかっていますので、収穫した作物が予定より少なくなったり、あと返済ができなくなったりなど、様々な理由があって、離農していくというようなことです。問題点については、やめていく方々の検証もしながら、</p>

自治会員B	<p>そういったところも課題の一つとして、今後取り組むという事で進めております。わかりました。</p>
<p>閉会挨拶 大野町長</p>	<p>みなさんありがとうございました。いろんな視点からご意見を賜ったというふうに思っています。1番最初の延出小学校の使い方のところは、雨が降ったらご心配でしょうから、そこは早急にやらさせていただきますし、また是非、我々の防災グループの職員おりますので、その者呼んで何か困ったことがあったり、この地区でどう考えたらいんだという会議に出席させていただければというふうに思っております。</p> <p>自治会員Aさんから、お答えは要らないけども、何とか昔からある農地を残して欲しいという願いがございました。私も残したいと思っておりますけども、この畑地化の問題は、水田転作が昭和40年代後半から始まって、それが皆さんの経営の中で、収入の大きな部分を占めていたというのは事実な訳で、それが制度として無くなるということになると、家計といいますかね、自分の生活が大きく変わるということになるので、就農を続けていけるかどうかは大きな問題だと思います。</p> <p>そういう中で抜本的に耕作放棄地を出さないで、どうやっていくかっていう、抜本的な答えというのは無いんですけども、僕が望むのは、やはり各農事組合ですとか、そういう地域単位で、ここの農地をどうやって使っていこうか、新たなものを入れるのかどうかということ、我々行政と、農協さんも入りながら、もう1回、構築していく必要があるんだろうと思います。</p> <p>この地域、例えば畑作で申しますと、小麦ですとか、バレイショですとか、てん菜ですとか、大豆にしてもそうですけども、そういうものを作っている地域ではないんですよ。それを新たに入れるとすればかなりの投資にもなりますから、簡単なことではないんですけども、やはりそういうものを地域としてどうやっていくかということを考えていく必要があるんだろうと。</p> <p>また、軽種馬の経営が今いい訳ですけども、拡大にも限度があると思っておりますので、やっぱり地域としてどういう農業を、どういう姿に向かっているのかということ、我々行政と農協と一緒に皆さんと考えていくことが必要だというふうに思っています。</p> <p>また何か機会がありましたら、お知恵を拝借できればと思います。ちょっと最後の締め長くなりましたけれども、また何かありましたらいつでも呼んでいただければ、担当職員、飛んで参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
閉会	19:27 終了

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年2月9日(金) 13:30 ~ 14:18
会 場	歌笛総合住民センター
自治会名	歌笛地区連合自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、藤沢教育部長、中島地域振興部長、渡辺地域振興課長、森多地域振興課長補佐 10人</p> <p>【自治会側】 10人(男性9人、女性1人)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	13:30~ 渡辺地域振興課長
自治会長挨拶	<p>会長においては、急にコロナになったということで、どうしても今日出席できないということなんで、取りあえず私の方から一言ご挨拶を申し上げます。町長はじめ行政の皆様方には、新ひだか町管内で1番遠い地区までお越しいただきまして大変ありがとうございます。1年に1回の懇談会ということで有意義な話合いができればと考えております。また今年は正月早々ですね、能登の地震の被害を見るにおいて、やっぱり地方の高齢化の問題があのような災害が起きると本当に大変だなと思っています。当地区でも高齢化が進んで、単位自治会の活動をそのまま継続するのが難しい状況になってきています。一昨年においては、一つの単位自治会が高齢化と戸数の減少によって解散するというような事態に陥ってしまして、ここの状況を見るに、自治会への合併なり解散なり、そういう状況が出てくるのではないかと。今後の自治会の地域活動において、大きな支障が出てくるというふうに懸念しております。そんな中で行政の地方に対する仕事も、いろいろ増えてくるかと思いますが、その辺はやっぱり、高齢化の問題は町全体の問題なので、考えて対応していただければと考えております。1年に1回の懇談会ということで、皆さんには日頃の行政に対する質問等をこの機会に出していただければと思っております。それではよろしく願いいたします。</p>
町長挨拶	大野町長挨拶
資料説明 上田保健福祉部長	<ul style="list-style-type: none"> ・東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービス終了について
質疑	特になし

<p>意見交換 自治会員A ・空き家問題について</p>	<p>空き家問題について、町の方で条例か何か作っているのかどうか、ちょっと聞きたいんだけど。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>空き家問題の法律はあります。 どういった管理をしているのかですとか、規制にはどう対応したらいいのか町の方で法律に基づく計画を持っていますので、それに基づいて対応しております。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>個別に要請なり、指導はするのか。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>どうしても個人のことなので、町の方で直接、何かすることがなかなか難しい場面でございます。町の方では、例えば、傾いている時や屋根が飛びそうな場合につきましては、所有者を探して、対応するようにと促しております。 ただ、現実としてもう飛んで危ないという時には、町の方で一時対応させていただいて、抜本的な解決については所有者に求めるという対応をしています。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>実際に田舎でも、屋根のトタンが剥がれて飛んで来て他の畑に入ったという事例がもう出てきている。結局、同じ地域内で言うとトラブルになるから、あまり言わないが、そうすると、いつまでもずっとほっといて、ますます酷くなるんだけど、やっぱりそういうのは、迷惑をこうむった人が町に要請すればいいのかな。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>危ないような状況にあるという部分をまず、どなたでも結構なんですけれども、言っていただくのが第一になります。後で町の担当者の方で、状況を確認しまして、持ち主を探して、対応をお願いするということになります。どうしても隣近所ですと、そういった部分で直接言うと、トラブルの原因になりますので、危ない建物がありましたら、生活環境課がありますので、こちらの方に一報いただけたらと思います。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>生活環境課の方に言えばいいの？</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>はい。もし何かの都合で三石庁舎の方に来ることがあれば、地域振興課の方に言っていただければ、そちらの方につないで対応します。言いやすい方に言っていただけたらと思います。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>結構あちこちに、空き家があるんだけど、まだそんなに傷んでないちはいいが、本当に傷んでくると屋根が飛んできたり、そういう状況にあって、なかなか本人に言っても、対応してくれないところもあるし、もう既にここにいない人もいるんで、困っている状況が二、三あるんだよね。それはやっぱり個人的に言うより、行政の方から本人に何らかの対応をしてもらうというスタイルの方がいいかなと思うんだけど、分かりました。</p>

<p>自治会員B ・公営住宅の空き家について</p>	<p>歌笛町内の公営住宅が結構空いています。それは町の方で放棄したということですよ。公営住宅は結構いいもので、聞けば入りたい人が沢山いるんですよ。何とかならないかという話です。</p> <p>もっと言えば、町があまりそういうこと関係しないなら、入りたい人をうまく入れる、入れて家賃をもらう方が普通はいいと思うんですけど、その辺はどうなんですかね。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>産業建設部長の水谷です。</p> <p>歌笛地区の公営住宅は今現在16棟、36戸ある状態です。このうち昭和62年建設の住宅は築37年経過しており、平成5年に建てたものが築31年、昭和62年に建てている住宅につきましては、6棟12戸あるんですが、こちらの方については、老朽化しているというところで、入居者もまだ一部残ってはいますが、入居者の募集を今は止めているような状況で、今後は、用途廃止をしまして、利活用できるよう売払いなども含めて、今後検討していくような予定となっています。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>売り払うとか、壊すとか何か考えていると思うんですけど。それまでに、入りたい人を入れるということはできないんですか。</p> <p>できないなら、鍵を貸してもらえば俺、探してきて入れますよ。極端な話。入りたい人もいますよね、本当に。</p> <p>それをうまく、その解釈を事務の方でつくって、そして副町長や町長なりに、こういう感じで人が入れますよと納得できるような、町長をだますという訳ではないんですけども、町長分かりますよね。そういうものをうまく作って入れることはできないんですかね。きっとそういう仕事もおたくらの仕事だと思うんですよ。どうなんですかね。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>今現在、町のほうで考えているのは、先ほどご説明したとおり、今現在入居されている方が退去されるようになった時に、一括して、売り払いや活用を踏まえ考えたいということです。今空いているところに、別の方法で入居させていると、その方が入居している間は売払いができなくなるので、今現在、用途廃止できる年数が経っている住宅については入居を止めまして、退去されてから売払いをするという考えでありますので、途中で入れてしまうと、退去するまで活用ができなくなるので、今言った用途廃止してそれまでには退去者の退去待ちというようなところで、ご理解いただきたいです。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>理解できないんですけど。だって、一旦と今言っていますけど、大分経っていますよ。おたくら出してから募集してないの。売る、壊すのはいいんですけど、それまでに入りたい人を入れておくという手もあるんじゃないですか。絶対家賃を納めないという人じゃなくて、納められる人がちゃんと言ってきているんですから。それをうまく書類を作って町長に渡してくださいよ。何かうまい方法がきっとあると思うんですよ。ただ、そちらで面倒くさいからそういう書類を作らないっていうことで、うまく知恵を使って何かあるでしょう。分かっているんですよ。町議とか、そんな人の顔色なんて見なくていいですから。町民の顔見てくださいよ。町議なん</p>

田中副町長	<p>どうせね、自分の次の選挙受かることしか考えてないんですから。そんな人の顔色なんて見なくていいですから。それをうまくやって欲しいんです。約束してくださいよ。今町長と相談してもいいから約束してくださいよ。</p> <p>歌笛の公営住宅の空いているところは、平成5年のところが、先に空いていたはずなんですよね。どうしてかな？何でこんなところが空いているんだろうと私も見に行って、原因は分からないですけど、床もひどいですね、自治会員Bさんが見られたかどうかわかんないんですが、床がひどくて、その時には、もう既に入れてなかったんですよ。10何年前からもう入れてなかったんですよ。</p> <p>その時に確か●●さんが、何かこう憩いの場に使えないのかという相談に来られたことがあったんですよ。例えば、集会施設のような感じで使えないだろうと言われてましたが、床もひどいし入れられないという話をしました。</p> <p>公営住宅は、国の補助金が入っていて、公営住宅のために使ってくださいとなっているので、その年数が経つまでは用途廃止できないというのが一つと、空き家の状態に入れるようにするには、かなりの修繕費がかかるということもあって、その修繕費を入れるのと家賃収入の見合いで、お金がかかり過ぎるなど、その時の判断で、ずっと空けているんです。</p> <p>もう一つ、何とかうまく入れる方法があるでしょという事ですが、これは入れられない、これは無理なんです。ちゃんと公募して、選考委員会を行ってその中から、ちゃんと選んで入れなくてははいけない。担当がいくら書類を作ったからと言って、入れるようなシステムにはなっていないんですよ。これももう全国的ですけどね。</p>
自治会員B	そのシステムをうまくやって作ればいいでしょ。
田中副町長	できません。作ったとして、歌笛は良くて舞は駄目なのかという話になってしまいます。
自治会員B	それで十分です。
田中副町長	それは申し訳ないけど、できません。考えてくれと言われても、それはできません。ただ、平成5年の方は住めないと思いますが、昭和62年の方とあわせて、本当に住めないのかどうかをもう一度現地を見て確認していきたいと思います。
自治会員B	すぐ入れたら良かったのにね。うまいこと考えて、それしか言えないでしょう。入りたいと言っている人がいるんだから。
田中副町長	制度上はもう決まっていることですが、やり方でうまくできるかどうか分かりませんが、ちょっと現地を確認して、住める状態なのかどうかというのを確認しておきます。
自治会員B	高額給料取ってる人を入れるようにしてね。間違いはないでしょ。

田中副町長	<p>高額の給料を貰っている人を入れるような方法っていうのは、どうしているかと言ったら、最近は公営住宅も教員住宅も売っています。用途廃止をして売っています。それは、例えば牧場さんだったり、歌笛でも町民住宅や教員住宅を売ったりしています。適正な価格で公募して売っています。</p> <p>これは歌笛だけ見るとこっそりできるのかも知れませんが、新ひだか町全体で見るとそういう訳にいかないの、それはきちんとやりたいと思います。</p>
自治会員B	それはそれでお願いします。
自治会員B ・三石庁舎の喫煙について	<p>たまたま三石庁舎に行った時なんですけど、たばこ吸っている方が裏に行って吸っていたんですね。それはいいんですよ。でも、何かかっこ悪いんですね。だから、三石庁舎だけでも、今禁煙になっていると思うんですけど喫煙にしたらどうですか。</p> <p>そもそも、禁煙っていつから始まったの？いつからしたの？たばこを売っているんだから禁煙にする必要ないんじゃないですか。そもそもかっこ悪いですよ。この施設もそうなんですけど、別にたばこ吸ったっていいと思うんですけどね。</p>
上田保健福祉部長	<p>そもそも受動喫煙防止法という法律がですね、東京オリンピックの頃にできまして、一定の建物については施設の敷地内では喫煙する事はできないという法律ができたんです。三石庁舎も別のところにたばこを吸える場所を設置して、そこで吸う事はいいですよという法律がありまして、それは静内庁舎でもそうしています。それは役場の施設だけということではなくて、全部そういった施設に変わっております。</p> <p>しかし特例的に、昔からやっている例えば小さい居酒屋さんですとか、そういったものが特例として除かれるという法律の中で、新しい建物についてはそういうふうに、喫煙だとか、施設自体は禁煙でという法律ができたものですから、それにならって今やっています。三石庁舎を、たばこの吸える状態にするというのはなかなか難しい、法律に抵触しますので、それはできないのかなというところでございます。</p>
自治会員B	それをうまく知恵を絞ってできないんですかね。だってたばこ売っているでしょ。周りに売っているよ。
上田保健福祉部長	たばこを吸う権利はあるんですよ。たばこを吸わない人は、たばこの煙を吸わない権利もあるんですよ。
自治会員B	私は別に気にならないですよ。病気になった人いますか？
上田保健福祉部長	たばこを吸ってない人で、副流煙の影響で肺がんですとか、そういった病気が実際に起きていますので、そういったものを無くしましょうという世の中の流れなんです。ただ、全部が全部吸ってはいけないという事ではなくて、普段、人が行かな

	<p>いような場所、たばこを吸う人しか行かない場所については、一定の区画の中で喫煙してもいいという法律ですのでご理解いただきたい。</p>
<p>自治会員 B</p>	<p>駄目だね。あれも駄目これも駄目って、やっぱり町合併を解消して、どうのこうのしないって話ですね。合併の解消の手続ってあるんですか。まあ、いいか。</p>
<p>田中副町長</p>	<p>あその喫煙場をつくったのが、庁舎を建てる時なんです。その時に受動喫煙防止法というのができました。もともと全部禁煙にして中に喫煙所を作る予定だったんです。ですが、そこから漏れて受動喫煙や三次の受動喫煙、例えば、私がたばこを吸って、地域振興部長に煙が移って、これが、地域振興課長に移る、これも駄目だと厚生労働省で指針が出てですね、大きな建物を建てる時は、そういう事を解消しなさいという法律が出たんですよ。その時に、総合町民センターを建てた時は、建設検討委員会もございましたし、三石地区協議会も出来ていたので、その中にお諮りしまして、中に作りますか、無くしますか、外に作りますかと話していましたが、法律ではもう駄目だったので、外となったんです。合併で決めた、町が決めた事じゃなくて、厚生労働省が決めた法律ですから、これは駄目だったんですね。</p> <p>じゃ、どこにつくろうかという話を三石地区協議会や建設検討委員会の方から意見もらって、外につくる時にどういうものがいいんだろうということで、屋根があってもいいけど、煙が抜けるようにならないと駄目だとか、三方のどこかが空いてないと駄目だとかというのがあり、たまたま自転車小屋が合致していたものですから、それを喫煙場にしましょうと言ったのが経緯です。いいかどうかは別として、自治会員 B さんの的に納得いただけるとか好きなのか嫌いとかじゃなくて、そういう経緯であそこにできたものです。</p>
<p>自治会員 C ・稲見生活館について</p>	<p>稲見の●●です。</p> <p>今、閉館され、施錠されている生活館のことなんですが、どのような計画でおられるのか聞かせていただきたいと思います。</p>
<p>上田保健福祉部長</p>	<p>生活館に限らず、集会施設は老朽化が進みまして、そういったものをある程度集約をしながら建替えていこうということで進めてございます。今おっしゃった生活館はどこの計画に入っているのかがわからないですが、そのような形で進めています。</p>
<p>自治会員 C</p>	<p>もう閉館ということで、地域は納得しているんです。それで、さっき言っていた空き家、生活館も空き家になっているんです。何年もすれば雨漏りもします。解体の計画はどのようになっているんですか。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>総務部長の柴田と申します。</p> <p>私の方で施設の集約の関係を手がけていますので、今の状況を御説明致します。既に私ども担当職員が、歌笛、川上、稲見等に入って、生活館の集約の話はしているかと思いますが、今の計画では、この歌笛住民センターを新しいものに建</p>

	<p>て替えるその前提として、幾つかある集会施設を一つに集約するので、国にも財政的な支援をいただけないかという話の流れの中で、国の補助金を取りにいくことで努めております。</p> <p>我々の計画では、着手できたとして3か年かかると思っています、まず初年度は、今のセンターの解体と、新しいセンターの設計を初年度にやりまして、2年度目に解体した跡地に新しいセンターをつくる。3年目に古い施設を解体する、この一連の事業を、国の財政支援を受けながらやっていきたいと思っています、今国と折衝はしていますが、まだ補助金がつく見通しが立っていない状況です。気持ちとしましては、令和6年は補助金が無理だったんですが、令和7年から補助金が取れないかということで、関係機関に当たっておりますけども、まだ皆様に約束できる段階ではないので、断言的なことは言えません。もし7年度に予算がとれば、7、8、9の3か年でやりたいなと思っています。それが、補助金が取れない場合は、1年遅れたり、2年遅れたということがありうるということで、今は曖昧なことしか言えないんですけども、今、気持ちとしてはそういうことで、7年度からスタートできるようにしたいと思って、動いているところでございます。</p>
自治会員C	<p>要するに、この施設の新築と、全体の今までの旧施設の解体を含めて、総合的に見ているということですね。解体もやっぱり国の資金でやるっていうこと。</p>
柴田総務部長	<p>はい、おっしゃるとおりです。</p>
自治会員C	<p>その計画がまだまだ先だということですね。</p>
柴田総務部長	<p>計画はしているんですが、令和6年度は駄目だったんですけど、令和7年度でなんとかやりたいと思って、国の機関とやりとりはしているところでございます。</p>
自治会員C	<p>分かりました。</p>
自治会員A ・スクールバスの乗降場について	<p>もう子育て終わってしばらくたって今更こんなこと言ったら、子どものいる家庭の方から不満が出るかもしれないんだけど、今学校の送り迎えの大きなバスが、庭先まで来ていますよね。例えばこの歌笛地区であれば、道路脇で乗り降りしているんだよね。</p> <p>いつも思うのは、危ないなと思って見ている。そして、個人の家を一軒一軒回る事は、もの凄い時間のロスなんだよね。だから例えばね、久遠であれば久遠生活館とか、ここであれば歌笛住民センターだとか、各地区の生活館なり拠点があって、雨宿りできるような場所があれば、せめてそこまで、子どもが通学っていうのかな、親が送り迎えしたり、それぐらいのことはしたほうが、バスの乗り降りにしてもね、そういう広い場所で乗り降りしたら危ないんじゃないかなと思います。</p> <p>子どもの数がすごく減って、回るのもまばらだから、結局一軒一軒回ることによって、すごい時間がかかって、特に歌笛、川上地区は、子どもがすごく早起きしなければならぬ。もっと効率よくバスが拠点、拠点で回っていけば、そういう時間的なロスも無くなって、親は負担かかるかもしれないけども、経費が全然違ってく</p>

	<p>と思うんだよね。</p> <p>もう子どものいない方からそんなこと言うのは問題かもしれないけども、せめてね、PTAとそういう懇談をして、それなりの多少の協力をお願いして、もうちょっと経費のかからない方法というか、効率よくしたらいいと思う。</p> <p>学校統合するときに、あまりにも地域の反発が多くて、個別に送り迎えしなければならぬということがずっと根づいてそのままやっているんだけど、いかにも無駄な感じがするんだよね。そういうことも少し検討して、直していったらいいんじゃないかなと。やってもやらなくても俺には関係ないからいいんだけど、取りあえず意見として言っときます。</p>
藤沢教育部長	<p>教育部長の藤沢でございます。</p> <p>ご意見ありがとうございました。今、自治会員Aさんが言ったとおりですね、やっぱり車に乗っている時間が長くなっているというのが現状でして、子どもたちもその分奥へ行けば行くほど、早起きをしなければならないという現状でございます。小学校の統合の時のお約束ということで、現在も、家の近くまでのバスが迎えに行っている状況でございます。これにつきましては、こういう意見がありましたということで、学校やPTAの方にですね、一度お話をさせていただいて、ご意見をいただきながら解消できるものは解消していきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
自治会員D ・自治会の会員 について	<p>庄内の●●と申します。</p> <p>単位自治会の会員のことなんですけども、自治会の会員というのは、どのようにして決められるのか、そこへ住んだら、自動的に自治会の会員になるのが本来ではないかという気がするんですが、どうなんですかね。</p>
柴田総務部長	<p>自治会自体はですね、特に法律上何か根拠があるのかと言えば無くて、地域のコミュニティとか、つながりということで、どの地域もあるんですけども、誰も入る義務は背負っていないというのが現状です。</p> <p>つまり、ご自身で入るか入らないかを決めるというのが現状で、近年、特に市街地なんかは、アパートがたくさんありますけども、誰も入らないという状況が続いております、自治会の運営自体にもかなり支障が出るというふうに我々も認識しているところでございます。</p> <p>今私も自分の地区の周りの人が入っていない方がたくさんいますので、全員入ってくれたらいいなと思ったりはするんですが、今のところ縛りをつけるようなものはないというのが現状でございます。</p>
自治会員D	<p>であれば、今日参加している人は、全員自治会の会員ということですか？自治会の会員に恐らく連絡していると思うんですよね。自治会の会員だけが来て、自治会の会員でない人は、ここには参加していないってということなのかな。</p>
柴田総務部長	<p>この場に仮に、自治会に入っていない方が来たとしても、そこは出て行って下さいとは言わないと思っております。自治会に入っていないがために、来にくいという方も</p>

	<p>実はいらっしゃるものですから、今月に自治会でこういう懇談会をされない地区の方も含めて、誰でも自由にどうぞという機会を1日設けることで考えています。</p> <p>ただ、実態とすれば、やはり自治会に入っていない方が参加している姿は、私は見たことは無いです。</p>
自治会員D ・ゴミステーションについて	<p>各自治会にごみステーションがありますよね。あれは、自治会が管理しているのか町が管理しているのか、町が自治会に管理を委託しているという訳ではないのですか。</p>
上田保健福祉部長	<p>ごみステーションは町の方で委託している訳ではなくて、自治会のほうで設置したいという要望を受けて、自治会の方でやっていただいています。ごみステーションを置いている自治会もありますし、置かずにネットでかぶせている自治会もあります。</p>
自治会員D	<p>一応自治会が管理しているような格好になっていますよね。であれば、自治会の会員じゃ無い人が、そこへごみを投げるということはどうなんですかね。</p>
上田保健福祉部長	<p>基本は自治会で設置しているので、管理も自治会でやっているの、自治会に入って欲しいというような話を持ち出して、一緒に使っていただくというのが1番いいと思いますが、なかなか町の方で言える立場ではないということでご理解いただきたいと思います。</p>
自治会員D	<p>自治会の決めの中で決めても差し支えないのかな。</p>
上田保健福祉部長	<p>そうすると、ごみを何処に捨てたらいいのかという事になってしまいますので。</p>
自治会員D	<p>自治会の会員でない人は静内かどっかへ持って行って、あそこに持っていってもらうしかないのかなという気はするんですけど。</p>
上田保健福祉部長	<p>静内の町中でも自治会に入っていない方は多くいらっしゃいます。ごみステーションを使うなどというように締め出しは現実してない状況であります。自治会で設置しましても、その近所の方がそこにごみを捨てる。ただ最低限、捨てる曜日や、捨てる種類は守っていただくというところで使っていただくのが現状かと思います。</p>
自治会員D	<p>当然町民だから、投げるなどはなかなか言いにくいとは思いますが、その自治会にすれば、本来であれば会員に入って欲しいんですよね。であれば、ごみステーションも当然利用できるということになるかと思うんですけど、そこら辺がちょっとしっくりいかないところもあるんで、ちょっと悩んでいる所です。</p>
上田保健福祉部長	<p>おっしゃっていることは、理解できるんですけども。 申し訳ございません。</p>

自治会員D	それも分かります。
閉会挨拶 大野町長	<p>最後の自治会員Dさんのお話は、気持ちすごく分かります。私が札幌に住んでいた頃、やはりいろんな方が住んでいましてね、札幌は自治会という表現じゃなくて町内会というんですけども、町内会に入っていない方も、やっぱりごみを出すんですよ。うちの女房とか隣の奥さんだとか、皆で1週間交代で、それを綺麗にしたり、ネットを片づけたり町内会の中で、回り番でやっていたんですけど、その出す方見た時には、ぜひ町内会に入ってこの掃除当番やってくださいよと、そんなような声かけをしながらやっていたのはありますけど、それでもなかなかやっぱり入らない方がいるのは事実ですよ。ですから、気持ちはすごく分かりますけど、町の立場として、そこになげるなどはなかなか言えないので、何となくその人と人との付き合いの中で、そういう取組方をしながらやっていくしかないのかなあとと思います。</p> <p>それと自治会員Aさんの空き家の話ですね。本当に危険なやつはもう、役場の地域振興課の方に言っていただければ、現場見て、所有者の人にも連絡を取ったりいろんなことをやります。実際、静内地区で、本当に傾いてきて危ないということで、所有者の人を探して、連絡をとって、応急対応しますということで、やった案件が実は最近あるんですよ。ですから、そういうものについては遠慮なく、三石庁舎の地域振興課に話していただければ、やることやりますんでお願いしたいと思います。</p> <p>それからたばこの話。実は私もたばこ吸うんですよ。もう何十年もたばこを吸っています。でも、今の時代、人に迷惑をかけるようなたばこの吸い方をしてはいけないという時代になっておりますので、先ほどの吸う場所、吸わない場所というのは、やっぱりきちんと守った中でやらないと駄目だというふうに思います。自分自身も娘が女の子2人いますけども、昔はたばこを啜えながら抱っこしてバンバン吸っていましたが、娘に子どもができて孫ができると、孫を抱っこしながらなんて絶対吸わないですよ。換気扇の下に行って吸うということに自然となっている。今はそういう時代だというふうに思いますので、見苦しいというのは分かります。あんなところに行って、固まってたばこ吸っているのは見苦しいなというのは分かりますけど、そういう時代が来ているということ認識しながら、お互いに健康に留意しながら過ごしていくことが必要だというふうに思っています。</p> <p>何も意見がなければもう来ないということは無いので、ぜひ声をかけていただければですね、こちらに来させていただきますのでまた次回よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。</p>
閉会	14:18 終了

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年2月14日(水) 18:00～18:57
会場	総合町民センター
自治会名	三石地区連合自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、藤沢教育部長、中島地域振興部長、渡辺地域振興課長、森多地域振興課長補佐 10人</p> <p>【自治会側】 25人(男性21人、女性4人)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開会挨拶	18:00～ 渡辺地域振興課長
町長挨拶	大野町長挨拶
資料説明 上田保健福祉部長	・東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービス終了について
質疑	特になし
意見交換 自治会員A ・病院改革プラン について	<p>●●と申します。よろしくお願ひします。 病院改革プランについて質問したいと思います。 国への提出期限は、令和5年度ということ、今年度末に提出ということでしょうか。</p>
上田保健福祉部長	<p>集中改革プランにつきましては、令和5年度末までということですので、3月までに国の方に提出というところで、今準備をして提出を待つという状況でございます。</p>
自治会員A	<p>それに伴って、今までパブリックコメントや住民説明会などを実施しております。 また、議会の特別委員会の報告書が提出されたところではありますが、様々な意見が出たと思います。そうした中で見直した点はあったんですか。それを伺いたいです。</p>
上田保健福祉部長	<p>令和4年の説明会から始まりまして、昨年10月の説明会、議会の方での集中審議を経まして、色々ご意見をいただきました。町のほうでは、10月にご説明させていただきましたが、町の考えと致しましては、基本的には内容を変えないで、そのまま、やっていきたいというところでございます。いろいろなお意見いただきま</p>

<p>自治会員A ・建設予定の診療所について</p> <p>上田保健福祉部長</p>	<p>して、病床を残して欲しいというご意見も当然ございましたし、プランのとおり進めて欲しいというご意見もいただきました。</p> <p>様々なご意見をいただきますが、町としては、基本的な考えを持って示している集中改革プラン、こちらの方に沿って進めていきたいという考えでございます。</p> <p>国保病院の診療所についてですが、外来機能の堅持と高齢者等の在宅医療体制を提供するという説明をされております。国保病院の建て替えを提案していますが、今後において、行政の変化などによって計画の変更や、全くの白紙ということはあり得るんですか。</p> <p>スケジュールとしましては、令和9年度までの計画を今持っていて、建物につきましては、45年経過していますので危険な部分もあるものですから、建物につきましては建て替えをしたいというところでございます。</p> <p>こちらを白紙にするのかということになりますと、現在の病院が何年使えるのかということもございますので、今年の3月いっぱいまでに建て替えの場所を決めたいということで、今民間の方に集まっていただきまして、検討しているというところです。</p> <p>令和6年度から実施設計に入りまして、令和8年度末までに建て替えをしたいというところでございます。建設場所がどこになるかによって、どういった建物をつくるかということが決まってくるので、今の段階ではどういった建物なのかというのは白紙の状態でございます。</p> <p>また、今、物価高騰でかなり建設費がかかることも見込まれます。ただ、今の病院がずっと使えるという訳ではございませんので、ある程度コンパクトにした中での建て替えは必ずやらなくてはならないと考えてございます。</p> <p>また、外来は今後も必ず必要になってきますので、そこは必ずやっていきたいということですが、在宅の方につきましても、今後、高齢化によりまして、病院に来るのが大変だという患者様が増えてくることも想定してございますので、患者様と、ドクターと話し合った末で、どうしていくのかを決めていただいて、その結果に沿った医療を提供したいということとは変わらないで実施していきたいと考えてございます。</p> <p>基本的には、医療の提供というのは止められませんので、そこを白紙にするということではございません。今後も続けていくために、どうやったらいいのかの検討は当然必要だと思いますけれども、それに向けて、建物も老朽化で危ないことから、そこも変えていきたいという考えを進めていきたいと考えてございます。</p>
<p>自治会員A</p> <p>上田保健福祉部長</p>	<p>今の説明は分かりました。</p> <p>今後とも、診療所で先生の2人体制を確約して欲しい。どうでしょうか。</p> <p>ドクターは2名体制でという計画でございます。</p> <p>そこは何とか堅持していきたいという考えでございます。今の計画上も2名のドクターで進めていきたい。ただ、ドクターもそうですけれども、看護師、検査技師等、そういった携わる医療スタッフの人材不足が全国的に起きてございます。今回の集</p>

<p>大野町長</p>	<p>中改革プランにつきましても、人材不足はどういったら改善していけるのかというところも計画に入っております。基本はそのまま進めていきたいという考えがございます。</p> <p>ただ、現実としてスタッフが不足しているということがございますので、そこにつきましても、何とか確保していきたいと思いますが、大変苦しい状況になってくるのかなという予想はしております。</p> <p>診療所の2名体制の堅持を約束するというお話ですね。当面は2名体制ということはお約束できますが、将来とも永遠に2名ということはお約束できません。これ正直に申し上げます。というのはですね、病院に来ていただくお医者さんというのが、この管内、どこもそうですけども、なかなか見つからない。私どもの所は、たまたま今、土田先生がお見えになってやっていただいていたたり、あるいは小児科のお医者さんが来たりですね、たまたま来ておりますけども、なかなか難しい状況にあるというふうに感じております。</p> <p>特に三石地区の方が1番利用されている、昔から日高にとっては、日赤病院ということで、苫小牧に向かわないで、昔は日赤にみんな向かっていましたが、日赤病院においても、やはり医者の確保というのは非常に難しくなっていると聞いております。</p> <p>ですから、将来ずっと2名体制で行く約束をすれと言われましても、そこは正直なところ、話だけだったら約束したいという気持ちはありますが、正直に申しますとそこをいつまで堅持できるかというのは、永遠ということにはならないと思います。</p> <p>ただ、外来機能をきちっと強化するということは、例えば今小児科も来ていますし、いろんな専門の先生方に来ていただいて週1回でも開けるような、そういう体制というのは、今後とっていくことが可能だと思います。そういう意味で現状のところをご理解いただきたいと思って。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>分かると言えば分かるんですけどね。ただ、なかなか納得しづらいなというところもあります。</p> <p>私も国保病院に掛かっている患者の1人なんですけども、予約制なのか知らないんですけども、患者さんが少ないんですよ。何か魅力ある診療や、親身になって答えてくれるようなことをすれば、患者さんが集まる。患者さんが集まる方法というのは考えたことがあるのですか。</p>
<p>大野町長</p>	<p>やはり患者さんとお医者さんの関係というのは信頼関係で繋がるものですから、言い方悪いですが、このお医者さんは信用できるとなったら、もうその方のところに真っすぐ行くんだらう。ただ、自分の気持ちとお医者さんの気持ちが合わないと、そこはもう嫌だよっていう形になると思うんですよね。だから、何ていうか万人に対応できるようなお医者さんというのは望ましいと思いますけれども、そこは人と人の気持ちがあるので、なかなか、全ての人たちがそういうふうにはならないと思います。</p> <p>ただそういう中においても、この地域に来ていただいている総合診療の先生です</p>

<p>自治会員 A</p>	<p>けども、そういう先生が来ているということは従前の診療よりは幅が広がっていると私は考えております。総合診療の先生は、前にもお話ししたかもしれませんが、実は脳外科の先生で、ずっと脳外科の手術をしていた先生です。</p> <p>その方が、脳外科のところから今度地域医療に関わりたいということで、本州から来て、斜里町の国保病院に5年間いまして、そのあと私どものところに来ておりますけども、ずっと脳神経外科を実際に手術していた訳ですから、患者さんの症状を見れば、これは頭の中でちょっと障害があるなとか、そういうことは、見立てはできると思っておりますので、そういう意味で言いますと、いろんな町民の方々の症状に応じたような先生が、今この三石国保病院に来ていただいているというふうに考えております。</p> <p>確かに土田先生は、今まで使っていないCTで脳検査とかをしてくれました。その分診療点数が高くなり、医療費に貢献できるのかなと。</p> <p>今までの先生はそこまでやってなかったような気がします。だから今ある医療の施設設備を十分活用した方がいいなと思っています。</p> <p>また予約制になってからお客さんが減ったと実感していますけど、どうですか。</p>
<p>大野町長</p>	<p>予約制になったからと言って必ずしもお客さんが減るといのは、感じられないんですけど。病院に行きづらくなるというはあるんでしょうかね。</p> <p>予約制にした方が、例えば10時に来てもらって、10時ピッタリに見られるかどうかは別ですけども、診療の時間がかかる方もいますのでね。</p> <p>ただ予約制にしたからといって、お客さんが減るかというのには僕は感じられないんですけども。</p> <p>逆に、予約制にすると、何がお客さんを減らす要因になるとお考えですか。</p>
<p>自治会員 A</p>	<p>何がというか、予約制は、患者さんがなるべくスムーズに受診できるようにするための予約制だと理解します。何か特定日というか、私が行く日がたまたま暇なのか知れないですけども、お客さんが少ないなという実感はしています。</p>
<p>大野町長</p>	<p>お客さんが少ないというのは、外来に来られる方、特に三石国保病院の方はかなり人数が落ちてきています。それは、住んでいる方も少なくなっているというのがありますし、あとは、三石国保病院で診断を受けて、そのあと専門病院に行かれる方もいます。そういう意味で言うと外来の数というのは、静内病院の方もそうですけども、外来が爆発的に伸びているという現象は起きておりません。これは人口減少とともに外来の数が落ちていると。これは恐らくどこの病院も、そのような状況になっているのだろうと感じています。</p>
<p>自治会員 B ・空き家対策及び、日高線廃線に伴う土地の利用について</p>	<p>私は町内を歩いているんですが、町は空き家が沢山あるんですね。個人的な空き家もあれば、公共の教職員住宅にしろ、あちこちに空き家があるんですが、そういうものを将来どうするのかという考え方を持っていられるかどうか聞きたい。</p> <p>また、去年の懇談会に質問があったんですけども、今すぐどうにかすれと言うわけじゃないんですが、JR日高線が廃線になったJRの土地がありますが、各町</p>

<p>上田保健福祉部長</p>	<p>と連携を取りながら、これから町のために活用していくことを考える方向があるのかどうかお伺いしたい。</p> <p>空き家につきましては、年々増えている状況でございます。民間の住宅や、民間の建物につきましては町の方でどうこうすることが難しい建物になってございます。</p> <p>ただ、例えば屋根が飛びそうですとか、窓が歩道に落ちそうですとか、そういった危ない状況がございましたら、役場の方にご連絡いただければ、持ち主の方を探して、何とか対応するように指導はできる立場でございます。</p> <p>民間の建物が危ない状況がございましたら、役場の方にご連絡いただきたいと思います。</p> <p>町の建物につきましては、もう使っていない施設も確かにございます。ただ、きれいに無くしたい気持ちはありますが、お金がかかるものですから、うまく整理ができないところではございます。ただ、そのまま置いておきますと、また危険な建物になってしまいますので、そういった危険な建物になる前に、整理できるものについては整理していきたいと考えておりますのでご理解いただきたいと思います。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>総務部長の柴田でございます。</p> <p>2つ目のJ R敷地のご質問についてお答えいたします。</p> <p>令和3年に鉄路が廃止になって以降、J Rの線路敷地や駅周辺の敷地、様々な敷地があるんですが、まず、町で活用できる場所は無いかということで、検討を進めておまして、幾つか、町のほうで取得する予定の土地もございます。</p> <p>例えば具体的には、静内駅周辺の土地や、道路の関係で使わせてもらいたい土地、水道管など町のインフラの整備上で使いたい土地を選別しまして、それを町の方に無償でいただけるような手続で進めております。</p> <p>ただ細長い鉄道の敷地だけの土地につきましては、正直、町としても所有権を取得しても使い道がない。逆に入ってくる固定資産税も、町の土地にすると入ってこなくなるので、そこは町として活用見込みのあるところだけ、取得する方向で進めております。</p> <p>一方J R北海道では、民間企業に活用ができないかということで、アイデア募集等もしておまして、実際に何社かと協議しているところもあるようでございます。</p> <p>そこはJ R北海道の中での方針ですので、私の方から細かく説明できるだけの情報は持っていませんけども、民間企業で使いたいというところがあれば、幾つか使われるところも出てくるのではないかと考えています。今後も状況によっては、今は使いたいと思ってなくても、後で使いたいと思うところが出てくるかも知れませんが、それはその都度、J R北海道さんと協議しながら取得することもあるのかなと考えております。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>鉄橋が何か所かあるんですよね。いやもったいないな、これどうやって使う気であるのかなあとあって、気にしながら歩いているんですけどね、何か活用する方法を皆さんで考えるというか、そういうような場は設けているんですか。</p>

<p>柴田総務部長</p>	<p>内部では、活用できるものなら活用したいという気持ちは正直ありますので、いろいろ検討はしております。ただ、整備にかけるお金ですとか、いわゆるランニングコストを考えた時に、これならやっていけるねというような、町にとってプラスになるような事業展開がなかなか無く、いかんせん細長い道なものですから、建物を建てるという訳にもいきませんし、現状では先ほど申し上げた駅の周りですとか、道路敷地ですとかその辺のところだけを取得するような考えでおります。今後も何かあれば、検討していきたいとは思っております。</p>
<p>自治会員C ・みつしサテライトセンターについて</p>	<p>港町の●●です。 静内の駅は相当お金かけて立派になったんですけども、三石の駅舎はボロボロで外壁も落ちそうになっていて、みすばらしいですよ。 あれは町で建てたんですけど、壊す予定だったら仕方ないけど、そのまま使う予定だったら、今のうちに応急処置したらどうですか。</p>
<p>中島地域振興部長</p>	<p>地域振興部長の中島です。 今お話しいただいた、旧駅舎につきましてのお話だと思いますけども、実際外壁が落ちている部分を私達職員で応急処置的なものを図っているところでございます。 ご心配されたとおり相当年数もたっておりますし、利用されてない部分もあります。今現在ですね、バスを利用されている方の待合所的なところでも使われているということもございますので、どのような形で使われているかということ、定期的に現状を調査している段階でございます。それを踏まえて、今後、旧駅舎をどのような形で取り扱っていくか、そういったところ、もしかしたら、将来に渡って取り壊すということもあるかもしれませんし、やはり一部分を残すということも想定しながら今、検証しているところでございます。</p>
<p>自治会員B ・旭ヶ丘公園について</p>	<p>三石の旭ヶ丘公園は、公園というような感じは一切なくて、今あそこを活用しているのは、私の散歩ぐらいしかありません。それでこのまま公園として残しておく価値は無いと思うんです。 前に職員の方が来られて、自治会で草刈りをしてくれないかという依頼があったんです。いくらでやってくれと言うのか聞いたら、30万円以内ということだった。 川も流れていないし、もう木の枝は鬱蒼としてひどい場所になっているから、きちんとするという考えであれば、私どもの自治会でも一生懸命やりますよっていう返事をしたんですが、お金をもらうのは町民の方に心苦しいという考えで、ちょっとそれは据え置いていただいたんです。そしたら、草刈り代は倍額を業者に払っているじゃないですか。今年も草刈りは来ていますけど、半分しか草刈りしないのでいいよと言われてやっている状況でございます。もうすっかり旭ヶ丘公園なんていう名称は価値が無いと。だから、売るなら売る、宅地にするなら宅地にするような方法で考えた方がいい。そして、今ある昔の幼稚園の後を、子供の遊び場として公園の敷地に整備したらいいのではないかと思うんですが、やっぱりこのまま残しておくのが妥当なところでしょうかお伺いします。</p>

<p>中島地域振興部長</p>	<p>地域振興部長、中島です。</p> <p>当公園の活用等について、今現在一部しか利用されていないんじゃないかということ、旧三石図書館の前の公園について、もう少し整理した方がいいんじゃないかという意見があったと思いますけども、旭ヶ丘公園の方につきましては、草刈り等について、町の方で行ってございますが、実際にどのような利用がされているかというのは、正直なところ把握してないところでございます。</p> <p>私どもも、今後の公園の活用方法についても色々検討したいと思っていますし、三石地区のいわゆる公園と言われているもの、子供達が遊ぶような公園というところも頭に入れながら、その場所だけじゃなくて、三石地区全体を見た中で、どういった公園が必要なのか、どのような形で維持していくのがいいのかということも含めて、検討していきたいと思っています。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>検討するっていうのは、何もしないということに等しいと思うんですけども、大体、僕らで27、8万でやってくれと言って、業者にその倍以上の金額を出して面積も減らしているんですよ。だから我々と相談する時に、住民の中にも元気な人がいますから、僕らでもやる気は十分あるんで、そうすれば、ガソリン代とか、女の人にごみ集めしてもらえれば何とか自治会費の足しにもなると思ったら、それはできないことはないと思ったんですけど、やっぱり業者に頼んだら倍以上の金額なんですよ。そういうケースが、町の仕事の場合、沢山あるような気がしておりますので、その辺は改善できるものは改善して欲しいなと思っております。</p>
<p>田中副町長</p>	<p>公園は都市計画公園と一般公園とに分かれています。都市計画公園は静内地区の都市計画区域内に設置されている公園で、山手公園や高静公園がこの都市計画法で整備されているものなんです。そのほかに一般公園というのは、この旭ヶ丘公園もそうですし、あとは静内地区には児童館の横などにあるような公園もあって、旭ヶ丘公園より大きな敷地の公園は無いんですけども、一般公園は沢山あって現象が同じなんです。草刈りする人がいない、使う人もいないということが出てきて、ここ2年ぐらいで何十か所も実は廃止しております。それは条例で決められているので、それを議会に提出して廃止ということで条例を可決させていただいて、そこはもう普通の土地として全部撤去して、ただの原っぱのようにになっているのが現状です。</p> <p>もしかしたら、旭ヶ丘公園もそんな状況になっているので、今後、利用する方もいないようであれば、安全管理をしっかりとって廃止の方向で進めていくというのも、あるのかなと思っております。</p> <p>草刈りのお金ですけど、多分、今おっしゃったのは多分10年以上も前のお話で、細かい数字は分からないんですが、多分そこまで払ってないんじゃないかなと思っております。</p> <p>三石地区でも、各公営住宅の側に小さな公園がありまして、旭町、本桐、歌笛の公営住宅のそばに、小さいですが遊ぶ場所があります。それも壊れているところが沢山あるので、それを修繕して集中的にお金を来年度付けて2年ぐらいかけて一気に直しましょうという計画ではあります。</p>

	<p>それともう1点、子どもたちからベンチがあればいいというお話があって、公園にベンチを去年日高中部森林組合から寄附していただいて、5か所ほど静内地区も併せて三石地区の公園の中にも設置しており、使える公園は使えるように整備しております。子どもたちが、公園に来ているのに、ベンチに座ってゲームをやりたいらしいです。そのためにベンチをつけてくれっていう要望があったので、それはそれでやっております。</p> <p>今言ったように、100ヶ所以上あった公園を、コンパクトにしていくように今整理はしておりますので、必要に応じて旭ヶ丘公園も、皆さんでちょっと考えながら、例えば三石地区協議会ですとかで考えながらですね、どういった方向がいいか、考えていくのがいいのかなって考えています。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>話をしたり、憩いの時間を取りたい時には、旭ヶ丘公園は必要な場所ではない訳よ。結局坂道を上がってくるということはね、年寄りは大変だ。だから1人も来ないよ。だから、使い方を考え直した方が私はいいと思っております。</p>
<p>三石小学校長 ・公設学習塾について</p>	<p>三石小学校の校長です。今日はありがとうございます。</p> <p>今、子どもの話も出ましたので、ベンチでやっぱりゲームしています。はまなすのロビーはWi-Fiがあるのでゲームしています。でもそうやって放課後に、子どもと子どもが寄れるというのは非常にいいのかなと思っていますので、本当だったベンチ一つでもありがたいなと思っています。</p> <p>僕、静内でも教員やっていましたけれども、静内はバス停方式なので、子どもがバス停まで行くんですけど、三石は統廃合の時の関係で、1軒1軒間口までバスが入ってくれているので、本当に学校としては安心をしています。</p> <p>この間PTAの親御さんと話した時に、今回、先生方も頑張り、子どもも頑張つて、三石の小中学校は結構成績良かったんです。</p> <p>勉強はしたいけど、やっぱり問題は塾が無いっていう問題。静内まで行くと片道30分、子どもが2時間ぐらい勉強するけど、親が一旦帰って来てほっとしたらもう迎えに行かなくてはいけない時間だと。</p> <p>できれば、平取は公設塾をやっているとも言っていますし、今、1人1台タブレットという環境もあるので、何とか静内まで行かなくても、そのタブレットを使ってできるような、何か施策を三石地区だけに限らずですけども、打っていただければと考えています。よろしくお願いします。</p>
<p>久保田教育長</p>	<p>教育長の久保田と申します。</p> <p>ご質問ありがとうございました。今現在、新ひだか町の小中学校においては、公設学習塾ということで、夏休み、冬休み、ある一定の期間を取って、教育委員会の指導主事が中心になって、公設学習塾を開いております。</p> <p>これは次年度の話になって、まだそれぞれの学校にはお話はしてないですけども、計画でいきますと、ウイークリー公設学習塾ということで、子どもたち一人一人タブレットを家庭に持ち帰っていますので、それを活用して、オンラインで、ネットを使いまして、指導主事が復習をするといった機会を、次年度設けていきたいと思っています。</p>

<p>自治会員A ・自治会アンケート について</p>	<p>ただ指導する指導主事も人数が限られていますので、一応次年度は小学校3年生を対象にする形で、週1回になりますますが試行して、公設学習塾という形でやっていきたいなと思っています。後ほど詳しく学校の方にはお話ししたいなと思います。</p> <p>昨年の11月に、自治会長宛てに自治会に関するアンケートというアンケート調査がありました。自治会の課題や存続の支障となっている課題などを把握し、自治会活動の継続に向けた取組をしっかりと考えたいとして、実施されましたが、大半の自治会町内会は、住民同士の交流が希薄化する中で、役員の成り手がいない、行事がマンネリ化しているなどの課題は共通していると思います。人口減少により、私たちの三石地区連合会の中でも、東蓬萊自治会と西蓬萊自治会が、この4月に合併することになりました。16あった自治会が15に減ることになります。</p> <p>今後とも人口が減る中で、こういう自治会同士の合併等があるかもしれません。</p> <p>このような中で、行政は、自治会に対して何を求めているんですか。それから、自治会はそれに対して、どう応えればいいのかというのは、聞いてみたいなと思います。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>総務部長の柴田です。</p> <p>今お話に出たアンケート調査は昨年やらせていただきまして、最初はなかなか回収率は上がらなかったんですが、各地区に足を運びながら、9割以上の回答を集めているところでございます。</p> <p>第1集計が終わったものを先日見させもらったんですけども、最初の想像として、例えば広報の配布が大変ですとか、そういう声が多いのかなと思っていましたが、意外とそこの負担は余り声として出てなくて、圧倒的に役員の成り手がいないというのが、9割以上の自治会から上がっておりました。</p> <p>後は行事をしても同じ人しか来ないですとか、自治会活動が特定の一部の方々の頑張りで、何とか保っているのかなという内容でございました。</p> <p>現在それに対して、町としてどういう対応ができるだろうというのを、先日、会議もって話したんですが、なかなか、これだねという対応策が出てこなかったのが現実です。</p> <p>一方若い人からは、何で自治会に入らなくてはいけないのという声も頂きますけれども、なかなか明快な答えができないんですけれども、やはり、今、地域で暮らす上で周辺の方々の顔が見えて、お名前ですとか挨拶とかもできてというのが、従来は、地域のコミュニティのベースだったと思うんですけども、今なかなか地域の人に頼るような場面も無くなってきて、顕著なのがお葬式ですよ。昔は、地域の方々にお手伝いをいただかなければ成り立たなかったものが、葬祭場というものが多数できて、そういうお世話になることが無くなりました。</p> <p>最近では自治会長さんの挨拶も余り聞かなくなったのかなと思っていますけども、そういう場合において、1番やっぱり災害を筆頭に、不測の事態が起きた時に、地域の方々と助け合える環境下に、自分の身を置けるかどうかということなんだと思います。</p> <p>そういうことで、町として、今ご負担になっている例えば広報の配布ですとか、</p>

	<p>ごみの処理の問題ですとか、そういう点については、対応策を打てることも今後あるのかもしれませんが、若い人が自治会に入りたくなるようにするというのは、やはり小まめに交流を持ちながら、皆さんと繋がっていけば楽しいね、というような状況をどう作れるのかなというところだと思いますので、そこに行政がどう関わられるのかというのは、今、はっきりしたお答えできませんけども、課題認識は持っております。</p> <p>何とかいい方策を、やれることからやっていくようなことで、将来に向けて、続けていけるような、自治会活動になればいいなと思っております。</p>
<p>閉会挨拶 大野町長</p>	<p>いろいろなご意見、ありがとうございました。</p> <p>1番最後に自治会のことですよ。総務部長が答弁の中でお話ししましたが、若い人たちが自治会なんて何がメリットあるのと、全てとは言いませんけども、今の若い人達がそういう気持ちにあるということ自体が、その言葉を聞いてすごく寂しい気持ちになります。</p> <p>やはり、人と人とが繋がっていくということは、人間社会の中で重要なことありますので、これから災害とかいろんな場面でも助け合わなきゃならないという中で、そういう感性になるというのは、ちょっと寂しい一面があるなと思いますが、逆に言うとそれが現実なんだろうと思います。</p> <p>そういう中でも少しでも故郷の事ですとか、いろんなことを分かってもらえる子供達をつくっていきたいということで、教育長が中心になって、ふるさと教育みたいなものもここ数年ずっと進めてきておりますので、これからそういう、人を作っていく上で、そういう観点も大事にしながらやっていくべきだなと思っております。</p> <p>それともう1点、自治会員Bさんからお話がありましたJRの廃線敷地の問題です。もう今となったら遅い話なんですけれども、実はJRの廃線決定するまでに、1年ぐらい延びた期間がありまして、その協議が伸びなければ、JRの敷地は全て無償であげますよというお話だったんです。それが1年間延びている間に、JRのところに、国からの資金が入るようなことになりまして、JRの経営が大変だということで、国の資金が入るということはJRの財産管理をしっかりしなきゃならない、それで、ただでやるわけにはいかないという話が変わった経過があるんですね。</p> <p>それで私は無償でいただけるのであれば、そこは土地代もかからないし、例えば、レールを鉄ですから売って、なおかつ国の地方創生交付金を入れながら、例えばサイクリングロードみたいなものをみんなで各町でやってみたらどうか、そんなような構想も実はあったんですよ。あったんですけども、期間が1年延びることによって、無償で渡すということもなくなってしまったという経過があるんで、そこが思い起こすと、ターニングポイントだったのかなと思います。</p> <p>その他には、例えば風力発電の電気を敷地の下に通して、配線するかなどいろんな話が水面下ではあったんですよ。でもそれも全て計画どおりにならなかったというのが現実でありまして、今まで我々も考えてきたわけですが、いろんな社会情勢、社会の変化によって、実現しなかったというのもございます。</p> <p>ただ、今現在、JR敷地の線路跡地についてどうするかということは先ほど総務部長が話したとおり、JR側がいろんな企業に公募をかけて、アイデア募集をして</p>

	<p>おりますが、その中で、この前新聞か何か載っていましたが、新冠のところで、ドローンの関係で利用するとかですね、個々の企業が入っていきながらやっているような状況でございます。</p> <p>いずれにしても、もう過ぎ去ったことですので、反省すべきというのは私どもの対応にもあったのかもしれませんが、そういう経過があったということは、知っておいていただきたいなと思います。</p> <p>1時間ぐらいになりましたけども、いろんな意見いただきましてありがとうございます。また機会がありましたらいつでも呼んでいただければ、お邪魔したいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日は大変お疲れさまでした。</p>
閉会	18:57 終了

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年2月15日(木) 18:00～18:53
会場	本桐生活館
自治会名	本桐連合自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、藤沢教育部長、中島地域振興部長、渡辺地域振興課長、森多地域振興課長補佐 10人</p> <p>【自治会側】 6人(男性6人、女性0人)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	18:00～ 渡辺地域振興課長
自治会長挨拶	<p>皆様こんばんは。年明け早々1日、青天の霹靂という言葉がございますけれども、まさかと思うような事態が起きました。御存じのとおり石川県能登地方でとてつもない大地震ということで、その中で、不幸にして亡くなられた方、それから御遺族の方には心から哀悼とお悔やみを申し上げます。また被災され、生活及び避難生活を余儀なくされている方々が一刻も早く元の生活に戻るよう、祈念を致したいというふうに思っております。本当にこんなことが起きるのかなというような気持ちでございました。本日は本桐地区のまちづくり懇談会ということで、公務お忙しい中、また日中の仕事でお疲れのところ、雨の降る中、町長はじめ職員の方々、皆さんお出でをいただきまして誠にありがとうございます。また、町議さんを含め住民の方々、参加をさせていただいてありがとうございます。少し人数が少ないですが、充実した意見交換等を行っていただければ幸いかなと思います。私も、先ほど触れました、地震の件につきまして、避難所のこと備蓄であるとかそういう面についても、質問をさせていただきたいというふうに思っておりますので、ひとつよろしく有意義のある懇談会でありますよう、期待を致しまして開会の言葉に代えたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。</p>
町長挨拶	大野町長挨拶
資料説明 上田保健福祉部長	1. 東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービスの終了について
質疑	特になし

意見交換
自治会員A
・防災について

それでは、私の方から、先ほど挨拶の中でもちょっと触れさせていただきましたけれども、今回の能登の地震、それからですね去年は熊本の洪水、それから遡りますけれども、胆振東部の地震、そしてまた去年の終わりの方でも、留萌地方で洪水なんかの被害もあったように聞いております。このネット等の情報、地震に関するものを色々と見ますと、よく言われる、南海トラフ沖の地震というのは真っ先に話題に上っていく訳ですけどもそれに負けず劣らずで、危険性があると言われているのが、千島から根室、釧路に向けての、海溝に關しての地震、これも年数が相当経ってしまっていて、大きな地震がいつ来てもおかしくない、むしろ、南海トラフよりもその危険性が高いのではないかという、一部そういう説もあるそうでございます。まずはその津波ということと、それから地震ですね、当然その地震に伴って津波が起きる訳ですから、この備えというのが今回の能登の地震のテレビ報道、あるいはネットの報道なんかを見ましても、非常に困難な状況が生まれていました。自治体の皆さん、自衛隊の皆さんの活躍もさることながら、能力を上回ってしまうような大きな災害が起きてしまったということで避難所生活も非常に厳しいところがあるというふうに伺っております。そういう面に当たりましてですね、この当町のいわゆるそういう災害、大災害に備えての備蓄あるいは避難所の体制、その支援体制というのがどのようになっているのか、概略でよろしいですからまずはそれをお伺いしたいなというふうに思います。どうぞよろしくお願い致します。

柴田総務部長

防災担当の部長として私の方からお答えさせていただきます。

基本的な防災対策の体制ということですけども、ちょうど1年前に、防災のハンドブックを全戸に配布させていただきました。そこには最新の津波のシミュレーションですとか、あと河川氾濫洪水のシミュレーションなんかもお示ししながら、それぞれ、例えば地震津波であれば、一時的に逃げられるような箇所がどこにあるのか、避難所として候補となるものがどこにあるのかという示しとともに、日頃防災の備えについても記載させていただきました。ただ、これを配付したところで、なかなか浸透もしないということもありまして、今年度特に月2・3回のペースで防災講話というものを各自治会、地域に回らせていただいております。そういう時に、日頃の心構えですとか、そういうものの意識を高めてもらい、願わくは自主防災組織ですとか、いわゆる共助、互いに助け合うという部分で意識を高めるための活動をコツコツと積み上げてきております。なかなか真っすぐ自主防災組織とか、流れはつくれないですけども、まず、自分の命は自ら守るという自助の部分と、あと新ひだか町と協力し合って守るという共助の部分、ここが初期段階では、1番重要でありますので今後も引き続きと思っております。一方具体的に町側の体制としましては、冒頭で町長からも少しお話ありましたけれども、一定数の備蓄品を整理してございます。具体的には、皆さん多いと感じるか少ないと感じるか分かりませんが、新ひだか町全住民の1割の人が避難所生活をするとした場合に、3日ほど食事等ができるようなお米、飲料水、あとお子さん向けの遊具ですとかを用意しているほか、毛布、ベッド、発電機、ストーブ等を取り揃えて用意しております。

	<p>ただそれでも保管し切れない場合も想定されますので、地域の、例えばイオン、セブンイレブン等、飲食関係の店舗と協定ですとか、あとホクレン、ガス協会等、そういう多数の30ヶ所ぐらいですね、災害協定を結んだ中で、いろんなところを補完していこうと。最終的に能登の様な地震となれば、国、道の支援を待つということしかなくなる訳ですけども、一定数の備蓄はしてございます。ただ、特に地震の時には、我々職員サイドも、十分被災している可能性が高いということで、町の防災の職員マニュアルとしましては、震度4の地震が出れば、職員は自主登庁ということで、参集をして状況把握をした上で対応に当たることになっておりますけども、これも、書いてあるとおり動けるかどうかは分かりませんが、定期的に訓練等もしながら備えをしているところでございます。大まかに言うとそんな状況でございます。</p>
自治会員A	町民、約1万人分の備蓄として3日分を用意されているということでした。
柴田総務部長	全町民の1割、2,000人分、2,000人掛ける3日分です。
自治会員A	<p>今、ご説明をいただいてある程度概略は分かりましたが、報道を見ていますと、特に避難所の生活の中で私がテレビやネットを見て、これは本当に大変だな、心労も重なるなと思いましたが、一つはまずそのほとんどが体育館とか公共施設に集まるわけですけども、そういう中で、床に毛布を敷いて、そこでまず寝食をしなければならぬということですので、プライバシーの確保が全然保たれないという問題がやはりいつも起きるということで、これについて何て言いますかそういうことが起きるんだ、そしてそういうのも大切なんだという意識がどうして十分に生まれてきてないんだという問題があるというふうに私も感じております。それから寝るにしても、段ボールベッドとかそういうものがあるというふうにお聞きしましたけれども、やはりそういうものも十分な数が必要だと思いますし、それから女性はその行為のための、何て言いますかコーナーであるとか部屋であるとかボックスであるとか、そういうものもやっぱり配慮してあげていただきたいなと思ったり、それに乳児を抱えた女性の方はですね、授乳室とか、それからそれもボックスであるとか、そういうプライバシーを保てるようなもの、それから、小さなお子さんですと夜泣きをするとか、慣れない環境ですから泣くお子さんもいるということで、やはり、そうするとお母さんが大変でその周りに気遣いをしてしまうと、心労も絶えないことになると思いますので、そこら辺の対策もどのようにするかと、やはり安心して子どもを連れて、周りに迷惑と言ったらあれですけども、そういう負担をかけないような、生活ができるという配慮もしていただきたいなと、これもやはりその、避難民からの切実な声ということで上がっていたものでございます。なるほどと思ったり。それから、地震といいますと、もうすぐに断水と停電ということがついて回るというふうには思っております。これは特に町の中でそういう状態が起きやすいのかなと思ったりもしますが、やはりその避難所にこの水の問題というのがすぐ問題になってくると、給水車で水を供給できるという体制になっても、その水の量が限られてしまったり、給水車が次に来る</p>

のを待たねばならないというようなことではちょっと困ると思いますので、大きな例えですが5,000リットルぐらい入るような、貯水タンクをすぐさま設置できるような、そして給水車がすぐそこに来てポンプで水をそのタンクの中に入れてまたほかのところへ回る、給水車が十分に動き回れるような状況も確保しておいて欲しいなというふうに思います。それからですね、発電機も用意されていると聞きましたけれども、ある避難所ではですね、寒いもんですから、やっぱり暖房器具を持ち込んで、それでもっていわゆる供給電力をオーバーヒートしちゃうということもありますんで、ある程度大きな自家発電機とかですね、そういうものもやっぱり、避難所ごとに、避難所だって、そんなにべらぼうな数になる訳じゃありませんから、やはりそういうところでですね、中規模クラスの、やっぱり体育館とかですね、もし停電になったら、それが期待できない訳ですから、そういう面もやっぱり考慮しておいて欲しいなというふうに思います。それからもう常に、避難所生活で問題になるのがトイレの問題ですね。食べる、要するに排せつをしなければならぬのは常ですから、問題がいつもこう、被災のたび災害のたびに問題になるというのは、これもやっぱり、十分な数を確保出来ていない。そこに至っていないということが、やっぱり根本原因があるのかなというふうに思います。こういうものをですね、もろもろ含めるとやっぱり防災の備えと備蓄品というの、やはりかなりな数と金額が必要になってくるとそこで私はちょっと提案してみたことを申し上げたいなと思うんですけども、こういう災害に対してですね、自治体同士の連携といいますか協定といいますか、相互に支援をし合うというようなことは、道内でどれぐらいできているのかなというふうにちょっと調べてみても、余りばつとしたものが出てこない。災害が起これば駆けつけるということはありません、ふだんからそういう協定を結んでですね、例えば備蓄品にしても、例えば1,000万の予算をかけました、ですけども二つの自治体が協力して行えば、例えばですね、太平洋側と日本海側あるいはオホーツク海側の自治体が協定を結ぶということになれば、同時に大きな被害を受けるということは余りないと思うんです。例えば津波にしても、洪水にしてもそういうことになると、やはりそういう少し離れたところであってもそういうところと協定を結んで、同じ額の予算でも、容量が2倍になる訳ですよ、物資の数は。それと予算の関係で、十分に備えられないものも備えられる可能性が出てくると。さっき言いました自家発電機とかそういうものは金額もかさむ訳ですけども、そういうものも用意できるようになるだろうと。またそれを、すぐさま運んで来られる様な、そして道路の状況も確保できる様な、建設業界であるとか土木業界であるとか、それから運送業界とのそういう災害時の提携と協定というのものも、やっぱりふだんから必要になってくるだろうなというふうに思いました。やっぱりそういうことをですね、十分に検討されてですね、私思うのは、大地震とか大災害になったときに、職員の方も被災する訳ですよ。家族の方も心配だけれどもお父さんは役場に出ていかなきゃならないということがあって、非常にストレスを感じた者が仕事をしなければならぬと、そういう時にですね、自治体同士が支援をし合うということであれば、やはりその業務の代行であるとか支援をしてもらえるということであればですね、ストレスもそう強くなく、効果的な町

<p>自治会員B ・町道について (要望事項より)</p>	<p>民への支援体制ができるのかなというふうに思います。そういうことを含めてですね、今後やはり検討していただけたらなというふうに思います。ちょっと長くなりましたけども、よろしくお願ひしたいと申します。</p> <p>去年も要望事項に上げたと思いますが、道路の道道ではなく家の方、店に入ってきている町道だと思うんですけど、段差が2か所あるんですよ。そして大きい障がい者の車とか、灯油積んだタンク車等ダブル履いているもんだから、私ら茶の間にも結構振動がするんです。それで、12月始めだと思いますが、町の人に来てメジャー出して測っていったんですよ。私、立ち会ってくれって言うもんだから、立ち会って今年のものになるんですかって聞いたら、その方何か、建設課の人じゃないんで、私ちょっと返事しかねるって話だったんです。そうかという話でもう1か所私の家からちょっと入って、同じ自治会の●●さんという住宅があるんですけど、その横の道路が、二、三年前だと思いますが水道の工事をやって、そこもやっぱり段差がひどいらしいんですよ。そして冬になったらやっぱり雪が溶けたりして凍ってしまうし、夏だったら雨で水がはるって訳です。それで、一緒に立ち会って見たんですけど、返事しかねるって言ったもんだから、どんな具合かなあと申してちょっと聞きたいなと思つて。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>町道関係なので、私のほうからご説明させていただきたいと申します。</p> <p>まず町道関係ですけれども、そういった特に冬期間はこういった凍土をして段差、地盤の悪いところの段差が発生しやすいようになっております。先ほど現地の方に見に来られたということですが、多分地域振興課の方が現地の方を、初めの調査を実施したかな。その後ですね、この内容を建設課にも情報をいただきまして、建設課のほうでも現地を確認して、町道の補修を進めていきたいと思つておりますので、今ですね冬期間になってくると、舗装の段差だとか、なかなか施工しづらいものですから、この場でまた現地のほうの路線だけでなく、他の路線のデーター、危険な場所だとか走行に支障があるようなところは調査しまして、春から修繕を始めていくような形ではありますが、ちょっと予算の関係もあつて、引き続き調査、対応していきたいと思つて。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>私の店と住宅がくっついているんです。一戸建てなもんですから、それまでテレビなんか見ても、乗用車はそんなに揺れないんだけど、ダブル履いているトラックとか運送会社とか、やっぱりああいうトラック系が走ると結構振動、2か所だもんですから、結構茶の間でテレビなんか見ても振動するんですよ。それで去年も要望事項に出したんですけど、優先順位もあるという話ですから、何とかなるべく早くやってもらいたいなと思つて申します。よろしくお願ひします。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>早い段階で対応したいと思つて。</p>

<p>自治会員C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災について ・国保病院について 	<p>うちの自治会、本桐では1番大きな自治会で47戸の戸数の自治会です。私ども先ほど自主防災の関係がありましたけれども、自主防災組織があります。けれども、活動は、私の前の前の担当者、その前の担当者が組織を作ったみたいですが、詳しくはちょっと分かりませんが、その組織作っているんですけども、活動が出来ないという理由の中に、まず一つ、自治会の会員さんの集まりが無いこと、それから自治会を守っていく会員の中の全員じゃなくて、自治会の会員として、単身世帯と、生活保護世帯を抜いた会員の中で、自治会長の役員すらやりたくないという方が多いもので、ここの生活館の中に、自主防災のヘルメットだとか懐中電灯だとか、そういったものも一応あります。ヘルメットについてはきっと、あれもなんか消費期限みたいなのがありまして、使えない状態でないかなと、懐中電灯だつて入れてから、一切いじっていないみたいですから、使えない状態かなというふうに思います。当然、私が最初、この自治会組織でできた時に、会員の皆様、前の自治会長に組織を作るのであれば、本桐連合自治会を主体とした組織にして欲しいというふうにお話ししてありました。けれども、今の現況は、本桐第4自治会が自主防災組織をやっている、12自治会のうちのひとつです。このような形でやってきましても、私も若いつもりでいたけど、もう紅白まんじゅうをもらわなきゃなんないような、年になってきていますので、その方が自主防災組織の中で、どのように行動できるかと私より先輩の方もいますし、ここの会場に来てくれている私ども自治会長なり役員さん見ても、皆さんある程度の年齢は先輩になってますんで、なかなか行動するには難しい状況になっています。それでですね、何かあった時にこの生活館が防災の逃げ場になるというふうに考えております。そうなったときに、ここを利用する方は何とかいいですけども、役場の方の防災マップ見ますと、何かあったらあと三石のスポーツセンターに行ってくださいとか、こっち側、富澤の方に行ってくださいとか、歌笛に行ってくださいとかってあるけども、それぞれ行く場所に、円昌寺の方へ行けば、水がふだんでも出るような状況、こっち側から行けば、中村建設さんの向こうから、水が出るような状況、逃げる先は無いから、大人しくしていた方がいい、橋渡って川向の方だつてこちらに来るのは難しい、前に私ちょっと言ったら、役場の人にも言われたんですけども、役場建てる時にもあそこの海岸線に元の場所に、役場の庁舎建てたと。自主防災で1番大事になってくるのは、役場これが1番肝心要だと思いますけども、今までの災害の津波でいくと、あそこら辺は1番先に、駄目になってしまうところかなというふうに思います。間違っていたら申し訳ないです。そうなってくると、これからやる事業の中で、三石国保病院ですか、国保病院を建てる時に、今の場所に置いたのであれば、結果は役場が建っている場所と何ら変わらない訳ですから、1番先に駄目になるんじゃないかなと。けがされた方、どこに行きますかと言って言ったら、三石から静内に行ければいいです、浦河に行ければいいです。ですけども、恐らく梶舞川の向こうの旧温泉のところから浦河には行けなくなるから、三石の病院もスポーツセンターからおりてあっち側に行けないだろうと言ったら、建設場所がすごく難しくなるんじゃないかなというふうに思います。そこら辺も、今後の建物を建てるに当たっての場所の検討をしていただきたいと私はそう思っています。これは私勝手に言う訳でもないし、</p>
---	--

<p>上田保健福祉部長</p>	<p>やってもらえるかももらえないか分かりませんが、要望希望として、そうならいいなというふうなことで、お話ししておきます。以上です。</p> <p>私の方から、三石国保病院の関係でお話出ましたので、そちらのほうお答えしたいと思います。今三石国保病院の建て替えの関係で、年度内を目途に、どこに建てたらいいのかという部分で、選定委員会を立ち上げて、そちらの中でいろいろ御意見いただいております。これが、2月中にもう1回、3月にもう1回、開かれた中で委員さんの中から、この場所がふさわしいのではないかという場所を選んでいただきまして、それを町のほうに報告いただくというふうな流れになってございます。その中で、仮に山の上のほうがいいというふうな意見が出ましたら、山の上のほうに建設するのを検討しますし、今のところがいいというふうな意見が出ましたら、今のところ、建て替えというふうな方向で進んでいるというふうな流れになるのかなと考えてございます。町の方では、ここがいい、ここがいいと町の方で勝手に決めるのではなくて、地域から、選ばれた方たちが意見を出し合いながら、地域にとってどこがいいのかというところを考えていただいておりますので、その中で上がってきた意見を尊重しながら、考えていきたいというふうに思っております。</p>
<p>柴田総務部長</p>	<p>私の方から、前段で自主防災の話をしさせてもらいます。まさに●●さんおっしゃるとおり、他の地区でも同じような状況がありまして、自主防災組織を作った時は、それなりに機運もあって作ったんですけども、その後代が変わっていく度に、関わる人がほとんどいなくなって、実は私も私の父が自治会長をやっているんですけど静内で、自主防災組織のトップになってはいますが、動いてくれる人って考えた時にほとんどいなくなっているような状況でございます。先ほど一単位自治会ではなくて連合というお話もありましたけども、いきなりそんなことを話しても、すぐにはできないのかなと思いますので、もしそれ回答よければですね、連合自治単位として、集まれる役員さんだけでもいいですので、そういう防災のことをみんなで学ぼうじゃないかっていうような会、機会をつくっていただければ、町の防災担当が色々資料をお持ちして、今の状況を含めて皆様と情報共有するような場所を作っていきたいと思っておりますので、ぜひ声掛けをいただきたいなとそういうことを繰り返す中で、踏まえてもいい状況になっていけば、災害の時にも対応力が上がっていくんじゃないかなと思っておりますので、まず、単位自治会でも構いませんけども、ちょっと防災の話をして欲しいということであれば、すぐ、防災係までぜひお声を掛けいただければと思います。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>今ですね、そういう防災組織を連合自治会でというようなご発言ありましたが、当連合自治会としてもですね、以前から、防災減災ということについて、何かできることはということで若干の模索をしてきた経緯はございます。そういうことで例えば自主的に備蓄とかそういうことになるとまた大変ですけども、やはり1番、我々ができそうなのは、啓蒙だろうと。先ほども心構えというご発言がございましたけれども、そういう心構えをいかにして持ってい</p>

自治会員D	<p>くか。周りと共有するし、していけるかと、いうことがやはり、いざというときに大きな支えとなり、減災につながるものだというふうに思っておりますので、やはりその啓蒙的な活動と、いうものを何らかの形で示していきたいなというふうに私は考えております。よろしく願いをいたします。</p> <p>どなたか。お答えできると思いますが、●●●付近のゴミですがあれの経過がどうなっているのか。また、経過をお知らせしていただきたいと思ひまして、前回町長が、「今回は直接、警察に尋ねてみると、それは私が解決する訳じゃないけれども、警察に私が直接聞いてみます」っていうことも聞いておりますので、町長よろしく願ひします。</p>
大野町長	<p>細かいところは、願ひします。あんまり大っぴらに言えないところがありますが、実は警察署長と会う機会がありまして、動きについては聞いておりますけれども、なかなか、警察が入ってどうのこうのするっていう段階まではまだ進んでないというふうには聞いております。ただ、警察の方としてもそういう声があるというのは従前から聞いていたというふうに認識しておりますので、引き続き、きちっと取り組みたいというようなお話でした。ただ、中身についてはですね、あまり詳しく具体的なことは、警察の立場もありますのでそこまでは言っただけなかつたですけども、認識としてはきちっと署長が変わってもお持ちだということは確認しております。</p>
中島地域振興部長	<p>今町長の方からもお話ありましたが、私の方から現状について、ご説明したいんですけども、私も定期的に現場のほうを確認させていただいているんですが、なかなか現状変わらないという中でございますが、堆積物につきましては、一応従前から話ししてるとおり、産業廃棄物ということで北海道、日高振興局の方で、指導を行うということですので、そこが主体となって今行っているところです。まず指導の内容的には、対象者の方に対して、まず新たなですね、堆積物は生まない、それから今ある既存の廃棄物について、再生といいますかリサイクルできそうなものと、そうではないいわゆるごみ的なものをきちんと区別しなさい。それから、最後にあそこに運び込んだ、事業者、排出者のところを特定して持ち込んだ方がちゃんとその場所から、運び出すというか、そういったこと、この3点をですね、指導内容としながら、いろいろ協議行っているところです。町としても、北海道の方で対応ということになりますけども、町も、定期的に現場を見た中で状況が変われば連絡を取り合っておりますし、できるだけ可能な範囲で振興局と、当人と間に打合せがあれば、町が入っていいということであれば、町も中に入った形で共有させていただいているところがございます。先ほど冒頭でお話ししましたけども、現状は余り変わってないということで、地域の皆さんには、いろいろご心配をおかけしていると思ひますけども、そういった取組を進めているということをご理解いただきたいと思ひます。</p>

<p>自治会員A ・防災について</p>	<p>先ほどちょっと長く、要望と意見というものを申し上げましたけれども、基本的によろしいですから、私が要望として上げましたことについて対策として取り上げる可能性があるものがあるのかどうか、ちょっと町長はじめお答えをいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>大野町長</p>	<p>私の方から、今考えていることをお話しさせていただきます。1番最初に自治会員Aがおっしゃったのはプライバシーの確保ということでした。実はもう3年ぐらい前当時今、横に座っている上田部長が、当時総務課長で担当していたんです。その時に、こういう室内にテント状の物をどうだということで、実はテント状の本当に簡単に広げられる、プライバシーが確保できるようなものを、50個ぐらい買いましたかね。50個ぐらい用意してそれで避難訓練の時に、実際に段ボールベッドも作りますし、そういうものも開けて、こういうものがありますよということをやっているところです。それで1番、自治会員Aがおっしゃった中でもっともだなと思えたのは、太平洋側が被害を受けましても、日本海側が大丈夫ですよ。あの町からこれもらったらいいんじゃないって話だと思いますが、その辺は今の能登半島の事例でもそうなんです。例えば、都道府県、北海道が中心になって各市町村にこういう物資が無いか、こういう物資を送れないかというのを全部来る訳です。そういう中で、我々のところにも来まして、いや全部出す訳にはいかないですが、半分ぐらい協力しましょうかということで、我々やりとりしています。そのほかに避難している方々のメンタルのところ、これも主には保健師さんの仕事になると思いますが、保健師さんについても、実は自治体に対して、北海道から保健師さんを派遣することができないかと来る訳です。ですから我々も行ける範囲で応援しようということで今登録はやってはいますが、そういう市町村と市町村の間の連携ということではなくて、その上にある都道府県、そこが全部集約して今コントロールしています。そういう状況になっています。それで発電機の問題がありましたが、発電機については5年ぐらい前でしょうかあくまで地震があった後にすぐに車に載っている発電機、車載型のものですけども、それを1台購入して持っています。それはですね、ガスボンベで発電しますがかなりな容量があります。本当に例えばここがもう電気全然駄目で、ここに置いてある発電機も駄目だったらその車で発電を起こせるような、そういう車1台持っています。5年ぐらい前に買いましたが1回も、そういう状況になっていないのでうれしい限りなんですけども。あと水の問題ですけども、水は備蓄をしているものが3日分は2,000人分の3日分ですけどあります。それ以前に、三石地区の水道管はかなり古くて、今毎年毎年三石地区の方は水道管の入替えをやっています。1番心配なのは、我々の町の中で対応をちょっと悩んでいるところがペットの問題です。避難所にペット持ってきた時にどうするか、猫でも犬でもですね。そこが今、具体的な対応を検討している最中ですけど、これ1番難しいのかなというふうに思っています。あと最後になりますけども、トイレ、これも悩ましいと思います。今全国的にはですねトレーラートイレというものがあまして北海道でも1か所どこかの市町村が持っていて、車で引っ張っていきけるトイレなんです。それを今、能登の方に送っているは</p>

<p>自治会員A</p>	<p>ずですけども、そういう全国的に、持っている自治体は20数か所しかないと思いますけど、そういうところが協力しながら能登の方に全部トレーラートイレを運んでいるという、そういうような話も聞いておりますので、そのトレーラートイレ、確か2,000数百万するものですけども、うちの町では持ってないですけども、そういうときになったときには本当にもう全国的なネットワークの中で動かしているっていう状態ですので、ある程度そのネットワークづくりはできているのかなというふうに思っています。ただ、あれぐらいの被害が出た時にはそれが機能するまでには時間が必要なんです。だから、一時避難所、それから、一時避難所からどこかに移せるような状況というのはやはり基礎的自治体のところ、町の中を全部知っているところが責任を持ってやらなきゃならないということになりますので、特に地震津波の時には、役場職員中心でですね、あと自主防災組織もそうですし消防もそう、警察もそうですけどみんなの力で、一時的な対応はやっていかなきゃならないのかなというふうに思っています。心配すれば本当に切りはないですけども、最後は自分自身で、その場に応じた判断をしながら、立ち向かっていくしかないのかなというふうに思っています。以上です。</p> <p>どうもありがとうございます。今町長がおっしゃられた中で最後になりますけれども、トイレのことばかりこだわる訳ではありませんけれども、やはりそういう全国的なネットの支援体制、あるいは道の支援体制というものもありませんけれども、やはり道路の欠損であるとか、そういう状態も起きかねないということもありますんで、やはり、まず、その3日ぐらいは、避難する人の数にもよりますけれども、持ちこたえと、その避難民が苦勞しなくても済むような、最低限のところをそれぐらいはやっぱり、いろいろネットも良い製品もあります。そんなに高額でなくて非常用トイレだって、非常に何て言いますか、始末もしやすい、においなんかも出ないというようなものがありますので、そういうものもよく研究をされて口幅ったいですけども、検討された上で十分な備蓄をしておいていただければ、そのあと、支援等が届いてくれれば十分またそれ以上の対応ができるんだろうなと思いますけれども、まずはもう今回の地震のあれを見ましても、3日ぐらいでもうパンクしてしまう訳ですよ、3日もたたないうちに。そうするとやっぱり、これが1番大変だろうなとつくづくそう思ったもんですから、ちょっと口幅ったいですけども御意見として申し上げ、要望として申し上げました。</p>
<p>閉会挨拶 大野町長</p>	<p>●●さんのご心配、本当にもっともなところでございます。トイレも特に女性の方が1番大変ですよね。ですからその辺についてはご意見を伺いながら、私どももできる限り取り組んで参りたいというふうに思います。本当にまだこれからですね。災害いつ起こるか分からないということで、実は月曜日休みの、3連休の最後の日に東京に行きまして、次の日の火曜日、防災関係の道内の12の市町の町長、市長と、それから、道議会の議員の方と、それから北海道と、この防災関係の予算の関係で要請活動をしてきました。国会議員のとこ10名ぐ</p>

	<p>らいですね。あとは、国土交通省の方にも行きまして、特に、その予算の確保についてお願いをしてきたところでございますので、そういう動きも通じながら、この町で利用できる予算を、引き続き国の支援を受けながら進めていければなというふうに思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。本日は本当にありがとうございました。</p>
閉会	18:53 終了

令和6年まちづくり懇談会会議録

開催日時	令和6年2月27日(月) 16:00～17:06
会場	新ひだか町役場静内庁舎3階第1.2会議室
自治会名	未開催自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、田中副町長、久保田教育長、柴田総務部長、上田保健福祉部長、水谷産業建設部長、藤沢教育部長、中島地域振興部長、樋爪企画課長、田中広報広聴・統計係長主査、山下企画課主査、大谷企画課主事 13人</p> <p>【自治会側】 24人(男性23人、女性1人)</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	樋爪企画課長
町長挨拶	大野町長挨拶
職員紹介	樋爪企画課長
資料説明 上田保健福祉部長	<p>1. 静内地区ごみ収集日の一部変更について</p> <p>2. 東静内郵便局、本桐郵便局での住民票等証明書の交付サービスの終了について</p>
(質疑) 自治会員A 上田保健福祉部長	<p>ごみ収集日が変更となる自治会ですが、ごみ収集の曜日を書いた看板を設置しています。この看板の訂正は、役場のほうで対応してもらえるのか。</p> <p>はい。看板を設置してしまして、まだ使える看板でございましたら、こちらのほうでテプラ等を貼って、更新させていただきます。ただ、場所によっては、かなり古くなっている状況がございます。書かれている字が見えないような看板もございますので、そういった看板があるところにつきましては、役場の生活環境課にご連絡いただければ、全てというわけにはいきませんが、可能な部分で対応したいと思っておりますので、ご連絡いただければと思います。</p>
報告事項 樋爪企画課長 ・自治会アンケートの状況について	<p>昨年末に自治会長の皆さまにお願いしておりましたアンケートの関係について報告させていただきたいと思っております。アンケートの調査につきまして昨年の11月20日から開始し、聞き取りも一部あったことから1月に締め切らせていただきました。町内、161自治会ございますけれども、153自治会から回答いただき、9割を超える自治会からご回答いただきました。大変お忙しい中、ご回答</p>

	<p>いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>今回、回答いただきましたものを現在グラフ化したり、かなりのご意見を頂きましたので、それを分類したりと、まとめる作業をしてございます。その結果につきましては、3月の下旬を目指して、皆さまのお手元に届くようにしているところでございます。</p> <p>アンケート結果のことについて、少しお話しさせていただきますと、「自治会活動で特に重要と考える活動は何ですか」という問いに対して、1番多かったのが「回覧板や広報紙等による情報伝達」、これが約40%、2番目に多かったのが「親睦活動」で20%ということでした。また、「自治会の活動を行っていく上で課題となっていることは何ですか」という問いに対しては、1番多かったのが「役員の成り手不足」、これが約30%、次いで「会員の高齢化」これもほぼ30%ということでした。このほかアンケートの中で、行政等との関わりの中で困っていること、負担になっていることに対して500件以上、ご意見が寄せられました。例えば、ごみステーションの管理、草刈り、除排雪や集会施設の管理などの委託業務、自主防災組織のこと、広報紙や回覧板の配布、そのほかにも様々なご意見を頂いております。</p> <p>町としましては、役場が自治会にお願いしていること、負担をかけている部分について改善策を考え、できることから順次取組を進めていきたいと考えています。ただ、役員の成り手不足、高齢化、こちらにつきましては人口減少、少子高齢化が進む中で、これを解決していくということは困難であると思っています。運営体制や活動、これらをこれからの時代に合ったものに見直していくという必要性もあるというふうに考えていますが、まずは、町としましては、役場がお願いしている部分について見直しをかけて、進めてまいります。</p> <p>次の自治会長会議のときには、今取り組んでいること、これから取り組もうとしていること、それらについて、お示しできるように取り組んでまいりますので、ご理解いただきたいと思っております。</p> <p>また、アンケートの中に、「ちょっとした防災会議開いてほしい」とか、「ストーブがちょっと故障している」というようなものもございました。そのようなことにつきましては、直接担当課にすぐ言っていただくか、もしくは企画課へ言っていただければ、担当課にお繋ぎすることはできますので、ご連絡を頂ければと思います。</p>
<p>意見交換 自治会員A (中野地区)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真沼津川沿いの用水路について ・高速道路延長に泊津通り線の改良等について 	<p>先ほど、草刈りとかいろんな話がありましたけど、うちの自治会も真沼津川沿いに面しています、草刈り等をしています。その中で、真沼津川沿いに用水路があると思いますが、途中2か所ぐらい用水路のゲタみたいのを外した所とか、一部埋まっている所もあるんですけども、第3中学校近くの水門から清水丘の上がり口の端まで、清水丘1号橋っていうのかな、あそこまでの約1.4キロ、刈っているんですけども、今後ですね、使用してない用水路はこのままずっといくのか。総会のときに、会員のほうから「使っていないだったら取っちゃうとか、衛生上、ボウフラが湧いたり、汚いし、危険だからどうなのだろう」という話をいただいて、今の質問に至っています。今後、もし決まってい</p>

	<p>ることがあるのであれば、知りたい。</p> <p>それともう一つ、今、高規格道路、高速道路の関係で橋脚が1点、真沼津川のところにできたと思うんですけど、そこから真つすぐ山にわたってトンネルがちょうど出てくると。そのところを右にかけていくと泊津通りに行くんですけども、あそこは今後、例えば、トンネルができてきて、道路がどんな形になるのか、もし変更があるのだったら、道路が狭いので何とか広くしてくれないかとか、車が2台すれ違ふとちょっと大変な道なんですよね。それで泊津から下りてくるところの雨降ったときに、今も大分崩れていますけど、雨水の柵のところももう削れている状態で、結構危険なんですよ。それで、今後この高速道路がどんどん進むにあたって、道路がどんな形で変化していくのか、皆さん気になっていて、もし決まっていることが何かあれば教えていただきたい。その2点です。</p>
水谷産業建設部長	<p>2点、お話がありましたのでお答えします。</p> <p>まず、草刈の関係で真沼津川沿い、沿道のところにある改良区の用水路かと思いますが、今後どうなるのかということについては、今は用水としては使っていない部分がありますが、排水の機能もあわせて持っていますので、現在はこのままできかせていただきます。なので、土砂が埋塞しているとか、水が滞水しているような状況については、そのようなことのないように修繕などで対応していきたいと考えております。</p> <p>昨年は、確か周辺一部を掘削して、水の流れがよくなるような形をとっておりますが、行き渡らないところがあるかと思っておりますので、そういったところがあれば、担当は農政課のほうになりますので、ご連絡頂ければ、現地のほうを確認して対応を検討したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>2点目の日高道に係る橋脚の部分を今やっていて、新しくヤード(資材置き場)ができるというところで、ちょうど泊津線がどうなるのかと。今後というところで、新冠町から来る交通量のところについてはそう増えないだろうというところで、今現在は泊津線の改良などについての計画はございません。インターチェンジができますので、町内の主要道路については、今後改良だとか拡幅などを含めまして計画を進めています。</p>
自治会員A	<p>橋脚と関連づけて、ちょうど【・・・聴取不能・・・】。</p>
水谷産業建設部長	<p>あそこはですね、ボックスカルバートになるかな、予定ではボックスカルバートになるというふうに聞いて、ですね、橋脚ではなくて、四角いコンクリートのトンネル状の状態になるような、形というのを予定で聞いております。</p>
自治会員A	<p>道路幅も何も変わらないということでしょうか。</p>
水谷産業建設部長	<p>そうですね。</p>

<p>自治会員B (駒場地区) ・真沼津川の改修工 事について</p>	<p>今の自治会さんと関連がありますんで、真沼津川の工事関係についてお聞きしたいと思っております。現在の進捗状況と、もう一つ、工事が終わった真沼津川の国道側の方ですけれども、川の中に草や木がものすごく大きく茂っております、これ大雨があったときには水害の恐れがあると思っておりますので、町への要望書は提出しているんですが、今現在どのようになっているか、教えていただきたいと思っております。以上です。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>まず、真沼津川の改修について進捗状況というところで、今現在は山手小学校のところの歩道橋まで、歩道橋の架け替えと、国道側の牧場側のところの橋梁をやっているというところを上流側で改修が進んでいるような状況で、今現在の計画ではですね、柏台のところまで、令和9年度を目標としていたんですけども、今年度の工事が少し遅れていまして、その分1年ぐらいうるかなというようなことを北海道からは聞いております。</p> <p>あともう1点が、改修するところの草だとか、土砂だとかいうところなんですけれども、未改修部分も含めてですね、昨年、一昨年も、土砂掘削のほうは進めさせてもらって、一時ちょっと真沼津川の水位が上昇しやすいような状況があったので、北海道のほうへ町から要望いたしまして土砂除去を実施していただいているところです。で、今現在その国道側のほうが、私も現地確認しておりますが、今、聞かれているとおり、ちょっと草が茂っているという状況も確認しておりますので、今後も継続して、そういったところも含めて流下能力の向上というところで、北海道の方へ要望していきたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。</p>
<p>自治会員B</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>自治会員C (緑町地区)</p>	<p>緑町第2自治会なんですけど、静内小学校も、去年の4月から山手、東静内の子どもたちも来て、大きな学校になっているんですけど、あそこに緑町第2と緑町第3の間に生活道路っていうんですか、今、スクールバスが入ってちょっと狭い道路なんですけど、ここに街路樹が両側に植わっているんです。この街路樹、実はナナカマドとコブシの木、これが半分ぐらいはもう何も枯れてしまっていないんです。ある木がちょっと大きくなってスクールバスの邪魔になってきたりもしていますが、どっちにしても、街路樹があるのかないのか、どっちかにしないと。半分あって半分なくて、柵だけずっと残っているんですけど、これきれいに整備する計画があるのかどうか、それとも全部、木は撤去してしまおうのか。今ある木はナナカマドは咲いて、それからコブシの木も白い花咲かせて、子どもたち、私たちも見守りしているんですけど、花が咲いたら喜んで登校していますから、できれば私としてはあったほうが良いなと思っておりますけど、今後の計画を知りたいんですが、以上です。</p>
<p>水谷産業建設部長</p>	<p>はい、街路樹の関係のご質問ですけれども、生活道路周辺、市街地、街路と呼ばれている道路については、木植えというところ、街路樹の選定など</p>

<p>自治会員C</p> <p>水谷産業建設部長</p>	<p>もこれまでも行ってきてはいたんですけども、令和6年度については、もう少し力を入れて、標識などが見えづらいところだとか、あと信号機が見づらいところについては、交通安全上に問題あるので、そういったところを先行して進めるというところで考えております。実際その枯れているようなところについては、それについても倒れやすいというところなので、うちの町のほうでも点検して、そういうような木々があれば、伐採すると。いうようなところと、あと大きな木になると、根がかなり張っているので伐根するとなるとかなり大規模なものになってしまうので、そういったちょっと代替の木を植えるというようなところができるところについては、切った後、代替えの木を植えたりもするんですけども、大きくなると今言われているとおり、車両に枝がはってぶつかったりというところもあるので、その兼ね合いを見ながら、低木を入れたいだとか、そういったところも、現地のほう、状況を確認しながら、そういう対応していくようなところでいこうかと思えます。特に6年度については、そういった交通安全上、支障があるようなところを順次年次計画で街路樹の伐採とか、枝払いとか、そういったところの選定を進めていくよう。</p> <p>ちょっと補足したいんですけど、大体3分の1ぐらいもう木がないです。柵だけ。第3自治会と第2自治会に分かれてるんですけど、町のお世話になって花はもらって、花を植えているんです。街路樹は3分の1ぐらい無いんですけど、恰好はよくないんです。それで、植えるのか、それともさっき言ったようにやめるのか。確かにスクールバスが大きいので5台入ってますので、生活道路で狭いので、追加できないので、今後この木を全部切ってしまうのかなと思ったりもしてはるんですが、あるとすれば子どもたち喜んでますから、今言った木を選びながらでも、3分の1ぐらい無いですよ。ですから、きれいにするのか、現状でいくのか。本当これ、すぐできないと思えますけども、見て欲しいなど。</p> <p>今、その具体的な計画というものは持ってないんですけども、今後ピッチなども確認しながら、そういった今のご意見をいただきながら、計画等を進めていきたいと思えます</p>
<p>閉会の挨拶 大野町長</p>	<p>はい。どうもありがとうございました。1番最後の、木の話。実は僕の家の前にも、そういうところがありましてね、ツツジ生えているんですよ。雪降ると除雪が入って春になるとツツジの根っこが起きていることありましてね、駄目だったものは、こんなこと言ったらあれですけど、女房が「取っちゃって、うちの中にあるやつを植え替えるかい」言ってみたりしてそれ1個や2個だったらそこできますけど、その通りとしてそうなるとやっぱりどのようにしたらいいのかっていうのは現場見てですね。ご相談しながら対応したいというふうに思いますので。ちょっとしばらくお待ちください。真沼津川ですね大分ちょっと雨降ったらすぐ警報出たりしていたんですけども、上流というか中流というのかな、ちょうど●●●●さんの裏のほうからずっときれいに取ってし</p>

	<p>まいりましたんで、今、自治会員Bさんおっしゃるとおり、下の方はきれいだったんですけど、また木が生えてしまったという状況は私も確認しておりますので、建設管理部に行ったとき、それについてもお願いしたいというふうに思います。まだまだ寒い日が続いております。すごい高温になったり寒くなったり体調、悪い方がいると思いますけれども、インフルエンザとか、特にコロナは、ちょっと出ているように聞いておりますので、そんなに重篤化しているって話は聞きませんが、気をつけていただきたいというふうに思います。また何かありましたら、いつでもよろしいですので、気づいたことがあったらどんどん言っていただいて、できることとなります。できないことはこういう理由でできないと、ちょっと待ってくださいというお話を正直にさせていただきますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。お集まり頂きましてありがとうございました。</p>
閉会	17:06 終了